

資料編



骨董市でにぎわう中山の法華経寺境内

年 表

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1868(慶応4)閏4	市川・船橋戦争が起こり、民家が多数焼失	1	7	江戸が東京となる
			9	元号を明治に改元
1869(明治2)	市川の関所廃止	1	5	五稜郭の榎本武揚らが降伏し戊辰戦争が終結
	葛飾県・小菅県おかれ、市川はその所管となる	1	6	版籍奉還が行われ、藩知事が置かれる
1871(明治4)8	行徳の製塩業者73人が自普申請7000余円の借用を小菅県に嘆願	2	3	郵便切手が発行され、東京～京都～大阪間に新式郵便が開設
	葛飾県・小菅県が廃止され、印旛県が置かれる市川はその所管となり、一時県庁が徳願寺に置かれる	1	5	新貨条例制定(旧1両が1円となる)
			7	廃藩置県の詔書が出される
			7	日清修好条規調印
			11	岩倉具視らを欧米へ派遣
1872(明治5)	印旛県本行徳村仮庁を加村(流山市)へ移転	3	8	学制公布
			9	新橋～横浜間鉄道開通式
			12	3日を明治6年1月1日とする(太陽暦採用)
1873(明治6)2	行徳小学校が徳願寺を仮校舎として開校	214	1	徴兵令制定
	2 柏井学校(大柏小学校前身校のひとつ)が現在の唱行寺に開校	206	2	全国キリスト教禁制の高札を撤廃
	3 菅野村石渡七佐衛門居宅に国分小学校の前身校となる公立小学校を仮設	205	11	内務省を設置
	3 行徳小学校欠真間分校(南行徳小学校前身校のひとつ)が開校	217		
	3 八幡学校(現・八幡小学校)が開校	204		
	6 国分村宝珠院に菅野村小学校より分離して国分小学校の前身校となる小学校を仮設	205		
	7 大台学校(大柏小学校前身校のひとつ)が本光寺に開校	206		
	10 行徳小学校欠真間分校が拡智小学校(南行徳小学校前身校のひとつ)と改称	217		
	12 湊小学校(南行徳小学校前身校のひとつ)が開校	217		
	印旛県が廃止され、千葉県が誕生	1		
	行徳小学校原木分校(信篤小学校前身校のひとつ)が原木山妙行寺に開校	215		
1874(明治7)6	真間村に公立市川学校(現・市川小学校)が開校	201	2	佐賀の乱がおこる
	7 新井小学校(南行徳小学校前身校のひとつ)が新井村に開校	217	5	台湾出兵
1875(明治8)12	湊渡(南行徳村湊～瑞穂村前野間)営業許可	3	2	平民にかならず苗字を称するよう通達
	行徳小学校原木分校が原木小学校と改称し、同時に安養寺に高谷尋常小学校が開校(いずれも信篤小学校前身校)	215	5	ロシアと樺太・千島交換条約調印
	薪屋渡(南行徳村欠真間～瑞穂村当代島間)営業許可	3		
1876(明治9)	北方字溜にある法見寺を教室として中山小学校の前身校となる公立二子小学校の分校が開校	203	2	日朝修好条規調印
1877(明治10)5	東京～生井(栃木県小山市)間に内国通運の汽船「通運丸」が就航	71	3	廃刀令が出される

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1877(明治10)	千葉県警察市川分署ができる	1	2	西南戦争がおこる
1878(明治11) 3	拡智小学校・湊小学校・新井小学校が欠真間小学校に統合され、湊・新井小は分校となる	217		
	東京社が日本橋蛸殻町(東京都中央区)～下新宿間に汽船「東行丸」を就航	100		
1879(明治12) 1	三太渡(行徳町本行徳～篠崎村間)営業許可	3	9	学制を廃し教育令制定
	八幡学校が八幡小学校と改称	204		
	本行徳村の有力者らが滑川光亨らと提携し、浜町(中央区)～本行徳間に汽船「光通丸」を就航	100		
1881(明治14) 4	行徳町に大火が起こり、270余戸が焼失	3		
1882(明治15)			1	軍人勅諭発布
1883(明治16)	宮内省が皇室の交際機関として、江戸川筋に御猟場を開設	1		
	二子小学校北方分校が、分校が不便であることから北方606番地に北方小学校(中山小学校前身校のひとつ)として開校	203	11	鹿鳴館開館
	国分の山崎万之助によってブドウの栽培が導入される	1		
1885(明治18)	陸軍教導団が東京から国府台に移転	1		
1886(明治19)	北方・中山・若宮・高石神・鬼越を合わせ、村立北方尋常小学校(現・中山小学校)と改称	203	4	小学校令公布(小学校が尋常小学校と高等小学校となる)
	国府台が陸軍用地になったため六所神社が須和田の現在地に移転	1	4	師範学校令・中学校令公布
	行徳小学校が現在の本行徳4丁目に民家を購入し校舎とする	214	10	ノルマントン号事件おこる
	行徳小学校が行徳尋常小学校と改称	214		
1887(明治20) 3	八幡小学校が八幡尋常小学校と改称	204	5	私設鉄道条例公布
7	鬼越村出身の坪井玄道が田中盛業と共に『普通体操法』(文部省、中学校師範学校用教科書)を刊行	2	10	大同団結運動おこる
	真間の公立市川学校が市川尋常小学校(現・市川小学校)と改称し、国府台分校を開校	201		
	原木小と高谷小が合併して高谷尋常小学校(現・信篤小学校)が開校	215		
1888(明治21) 3	市川小学校に高等科設置	63	4	市制・町村制公布
1889(明治22) 4	市制・町村制が施行され、現在の市川市域に五常村(国分村)、市川町、八幡町、大柏村、中山村、行徳町、南行徳村が誕生	1	2	大日本帝国憲法公布
			7	東海道線が新橋～神戸間全通
1890(明治23) 3	市川小学校に高等科が設置される	63		
1891(明治24)			9	日本鉄道が上野～青森間全通
1892(明治25)			6	鉄道敷設法公布
1893(明治26)	南行徳に鴨場(新浜御猟場)がつくられる	1		
1894(明治27) 2	消防組設置規則(勅令第15号)公布施行と同時に市川町消防組が設置	4	7	日英新通商航海条約調印
7	県内初の鉄道として総武鉄道の市川～佐倉間が開通、市川・船橋・千葉・佐倉の各駅が開業	2	8	日清戦争がおこる
12	総武鉄道の本所(現・錦糸町)～市川間が開通し、本所～佐倉間が開業	2		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1894(明治27)	六合尋常小学校(行徳小学校前身校のひとつ)が開校	214		
1895(明治28) 2	内国通運・銚子汽船が利根運河経由での東京～銚子間汽船直航を開始	71	4	日清講和条約調印
	総武鉄道に中山(現・下総中山)・津田沼の二駅が開業	69		
1896(明治29) 7	高谷小学校が原木・高谷地区に校舎を新設し信篤尋常小学校が開校	215	4	河川法公布
	大師河原村より、新たな梨の品種(長十郎・独逸など)を栽植	101		
1897(明治30)	市川に憲兵隊が創設	1	3	足尾銅山鉱毒被害民上京、請願運動開始
	行徳町・南行徳村・浦安村で小作米の減額要求事件がおこる	2		
1898(明治31)	江戸川の低水工事が竣工	2		
1899(明治32) 10	国府台の軍用地に第1師団の野砲兵旅団として野砲兵第2旅団が創設	72		
11	陸軍教導団が廃止となり、野砲兵第16連隊が創設され、以後、砲兵連隊が国府台に駐屯	72※		
1900(明治33) 9	大野・柏井・大町の三学校を合併し、大柏尋常小学校が開校	206		
1902(明治35) 9	八幡尋常小学校が校舎新築し移転	204	1	日英同盟協約、ロンドンで調印、即日実施
1904(明治37) 2	法華経寺絹本著色十六羅漢像が国の重要文化財に指定される	2	2	日露戦争がおこる
			2	日韓議定書調印
1905(明治38) 9	江戸川筋御旗場内発銃禁止令が定められる	2	9	日露講和(ポーツマス)条約調印
	江戸川に木造の江戸川橋を架設	102		
1907(明治40) 3	市川郵便局が電信業務を開始	5		
9	総武鉄道が国有化	6		
	東葛人車鉄道が設立(翌年着工)	103		
1908(明治41) 4	市川尋常小学校が市川高等小学校と合併して市川尋常高等小学校となる	5	4	第1回ブラジル移民780人余が傘戸丸で出発
4	八幡尋常小学校が八幡尋常高等小学校となる	204		
10	総武線の両国橋～千葉間の複線化工事が完了	2		
10	中山村に千葉県農事試験場が創設	2		
1909(明治42) 9	東葛人車鉄道が鎌ヶ谷～中山間を新規開業	2	10	伊藤博文、ハルビンで暗殺される
10	国鉄線路名称制定により総武線は総武本線、房総線の支線大網～東金間は東金線、旧日本鉄道海岸線は常磐線となる。	2		
	北方尋常小学校が中山に校舎改築し移転	203		
	行徳町で海苔養殖場が始まる	5		
1910(明治43)			8	関東地方を中心に大水害が起こる
			8	韓国併合に関する日韓条約調印
1911(明治44) 8	国分寺薬師堂が落慶	5		
9	京成電気軌道が市川・船橋に発電所を設け付近に電気を供給。市川市内では国府台、真間付近の家庭に初めて電灯が点く	5※		
	東葛人車鉄道が旅客輸送を開始	103		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1912(大正1) 10	下江戸川橋(今井橋の前身)が竣工	77		
	行徳尋常小学校が行徳尋常高等小学校と改称	214		
	北方尋常小学校が中山尋常高等小学校と改称し、高等科併設の7学級編制となる	203		
	八幡町など6町村耕地整理事業が着工。後に10町村となる	2	7	明治天皇死去、嘉仁親王践祚。大正と改元
	東葛人車鉄道が深町～鬼越間を延伸	103		
1913(大正2)	東葛人車鉄道が鬼越～河原(行徳)間を延伸し、鬼越～中山駅前間の支線も敷設	103	8	文官任用令改正
	大野果物栽培組合結成	101		
1914(大正3) 8	京成電気軌道の江戸川～市川新田間が開通し、市川鴻の台(現・国府台)駅と市川新田(現・市川真間)駅が開業	5※	7	オーストリアがセルビアに宣戦布告し、第1次世界大戦がおこる
			8	日本がドイツに宣戦布告(第1次世界大戦に参戦)
			12	東京駅開業
1915(大正4) 9	中山駅を下総中山駅に改称	95	8	第1回全国中等野球大会開催
	10 京成電気軌道・市川真間駅前にあった本多貞次郎の邸宅の敷地を遊園地『菊花園』にする	104		
	11 京成電気軌道が中山まで延伸し、八幡駅と中山(現・京成中山)駅が開業	5※		
	葛飾八幡宮境内に川上翁遺徳碑建立	105		
	行徳・船橋方面にコレラ病患者が発生し、145人中106人が死亡	2		
1916(大正5) 2	京成電気軌道に菅野駅が開業	75		
	5 法華経寺の四足門・五重塔・法華堂が国の重要文化財に指定される	2		
	12 市川郵便局が県下で19番目に電話交換業務を開始	5		
	12 京成電気軌道の中山～船橋間が延伸し、葛飾(現・京成西船)駅と海神駅と船橋(現・京成船橋)駅が開業	2※		
	北原白秋が真間の亀井院に居住する	1		
	信篤尋常小学校が信篤尋常高等小学校と改称	215		
	行徳小学校稲荷木分教場(現・稲荷木小学校)が開校	216		
1917(大正6) 2	中山郵便局で公衆電話の取扱を開始	5	11	ロシアでソビエト政権成立(10月革命)
	5 東京湯島の小学校5年生が国府台への遠足の帰路、江戸川の渡りで船が転覆し3人が死亡。のちの地に三人地蔵が建てられる	94		
	高潮(「大正6年の大津波」)が起こる。校舎が倒壊した小学校もあり、六合尋常小学校は廃校、また行徳の塩田がほぼ壊滅する	5※		
1918(大正7) 10	市川で初めての町立市川幼稚園が開園	5		
	11 東京毛布株式会社(のちの市川毛織)が市川町に進出	2		
	東葛人車鉄道が全線廃止	103		
1919(大正8) 8	中山郵便局が廃止	5	1	パリ講和会議開催
	9 八幡町郵便局が開設	5	6	ベルサイユ条約調印

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1919(大正8) 10	飯沼喜一郎らが中心となって市川町に関東酒造会社を設立	2		
12	八幡町郵便局が移転し北八幡郵便局と改称	5		
12	東京世田谷の野砲兵第14連隊が国府台に移転	5		
12	内国通運が利根川水系汽船から撤退し東京通船に事業を譲渡	64		
	八幡町ほか9町村耕地整理事業が完成	63		
	大柏村塵芥汚物掃除組合規約ができる	117		
	遊園地・菊花園が東華園と改称し、京成の直営となる	106		
1920(大正9) 3	欠真間小と湊小が合併し、南行徳尋常小学校となる	217	1	国際連盟発足
12	北越製紙が行徳町大洲に工場を設置	1	5	東京上野公園で日本最初のメーデー
	江戸川放水路の開削工事が竣工	68		
	上毛モスリン(日本毛織中山工場の前身)が市川市域に工場を設立	107		
1921(大正10) 6	私立市川学館が設立認可される	2	11	原敬首相が東京駅で刺殺される
9	官営鉄道・北越製紙市川工場専用線の使用開始	69		
	葛飾乗合自動車が八幡～浦安間のバス路線開通	5		
	迎米(現・大野町2丁目)の石井兼吉が梨の品種改良に成功し、石井早生と命名	108※		
1922(大正11) 3	行徳橋開橋祝賀式挙行	5	2	ワシントン会議で海軍軍縮条約や中国に関する9カ国条約など調印
	国府台で野砲兵第2旅団が廃止になり、新たに野戦重砲兵第3旅団が編制、野戦重砲兵第1連隊が横須賀から移転し、第7連隊と騎砲兵大隊が新設	61	3	京都で全国水平社創立大会
	市川尋常高等小学校内に市川図書館開館	109		
1923(大正12) 6	いちご「千葉1号」の栽培に成功	5	9	関東地震(関東大震災)発生
8	行徳町消防組合を設置	117	12	摂政裕仁親王の狙撃未遂事件がおこる(虎の門事件、29日山本内閣総辞職)
9	関東大震災が起こり、船橋・市川・松戸・千葉警察署管内で11万5407人の震災避難者が確認される	2		
	渡邊乗合自動車商会(渡辺バス)が松戸駅～市川駅間に新規路線開通	110		
1924(大正13) 6	八幡町・中山町・市川町付近の農家が東京の三越百貨店で開かれた品評会にいちごを出品して好評を得る	2		
8	松戸・船橋・行徳で京成電気軌道に対し電気料金値下げ運動がおこる	2		
8	中山村に町制施行	5		
10	映画の常設館「三松館」が市川町三本松に開館	5		
	里見公園に八景園が開園	1		
	江戸川で初めて花火大会が開催される	1		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1924(大正13)	官営鉄道・上毛モスリン中山工場（のちの日本毛織中山工場）専用線の使用開始	69		
1925(大正14) 5	市川商工会が創立	5	3	東京放送局がラジオの試験放送を開始（7月12日本放送を開始）
5	市川市・船橋市などで電灯料金値下げ運動がおこる	2	3	衆議院が普通選挙法案を修正可決
6	船橋警察署市川分署が市川警察署に改称	5	3	衆議院が治安維持法案を修正可決
9	22～29日まで陸軍航空特別大演習が東京・千葉・茨城・埼玉で実施され、国府台練兵場で終了式が行われる	2		
	市川実業学校が宮田に開校	1		
1926(大正15) 1	市川町の帝国酒造株式会社で労働争議	2	12	大正天皇死去、摂政裕仁親王践祚。昭和と改元
4	国府台高等女学校が開校し、真間町東華園内友恒館にて入学式举行	82		
5	市川警察署の新庁舎が完成	5		
5	八幡町で小作争議	2		
9	市川町の小沢眼鏡工場で労働争議	2		
10	市川町の東京毛布会社で労働争議	2		
	ガス供給開始	6		
1927(昭和2) 1	大柏村で小作争議激化	2		
10	共立モスリン株式会社中山工場（元・上毛モスリン中山工場）が操業開始	58		
12	東京府との江戸川放水路の常時流水問題が円満解決	2		
	スウェーデンの皇太子が姥山貝塚を見学	1		
	市川橋が完成	1		
1928(昭和3) 2	中国の文学者郭沫若が日本に亡命し、国分村須和田に居住	2	1	モスクワで日ソ漁業条約調印
12	八幡学園が八幡町に設立	2	6	張作霖が関東軍の謀略で列車を爆破され死亡（張作霖爆殺事件）
	東葛乗合自動車が国府台～船橋間にバス路線開通	112※	11	ラジオ体操の放送開始
1929(昭和4) 7	市川金子オブラート工場で労働争議	2	10	ニューヨーク株式市場で大暴落（暗黒の木曜日）世界恐慌が始まる
12	10～17日にかけて、中山村・国分村ほか県下各地で電灯料金値下げ運動のため2200余戸が消灯	2		
	行徳、船橋地方の塩田が整理され製塩が禁止される	1		
1930(昭和5) 5	京成電気軌道が本多貞次郎を社長として系列会社である京成乗合自動車を設立	2	11	浜口雄幸首相が東京駅で狙撃されて重傷を負う
7	市川町の東京パイプ工場で労働争議	2		
1931(昭和6) 1	市川憲兵分隊舎が新築落成	5		
2	千本イチョウが国の天然記念物に指定される	2		
1932(昭和7)			2	前蔵相井上準之助が血盟団員に暗殺される（血盟団事件）
			5	海軍青年将校・陸軍士官学校生徒らが首相官邸などを襲撃し犬養首相を射殺（5・15事件）
			6	警視庁が特別高等警察部を設置

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1932(昭和7)			10	外務省がリットン調査団の報告書を公表
1933(昭和8)	3 総武線の両国～市川間が電化	6	2	国際連盟総会での対日勧告案採択に抗議して代表の松岡洋右が退場
	4 市川尋常小学校第2校舎（現・真間小学校）ができる	202		
	9 総武線の市川～船橋間が電化	6		
	12 京成電気軌道の日暮里～上野公園（現・京成上野）間開通、上野～成田間が全通	2		
	石塚寅吉が中山～大野間にバス路線を開通	112※		
1934(昭和9)	4 市川町に日出学園小学校開校	2		
	6 中山町の共立モスリン中山工場、行徳町の松柏友禅工場で労働争議	2		
	11 市川町、八幡町、中山町及び国分村の4ヵ町村が合併して市制を施行し、市川市となる	6		
	11 市制施行に伴い市川町消防組を市川市消防組と改称	4		
	11 市制施行後初の市会議員選挙	32		
	11 市川尋常小学校第2校舎から独立し、真間尋常小学校が開校	202		
	12 第1回市会召集	5		
	12 初代市会議長に岡田耕平が就任	5		
1935(昭和10)	3 市庁舎が完成する	6		
	5 京成電気軌道の新八幡（現・京成八幡）駅が開業	5		
	6 行徳町の松柏友禅工場の労働争議が暴動化	2		
	8 京成電気軌道の中山鬼越（現・鬼越）駅が開業	5		
	8 中山法華経寺の勤行がラジオで中継放送される	5		
	8 市川市商工会が市制1周年記念祝賀祭を開催し、花自動車200台を運転、抽選売出しなどを行う	5		
	9 総武線に本八幡駅が開業	5		
	12 県会議員の選挙区・定員などが定められ、市川市が独立選挙区となる	2		
	渡辺乗合自動車商会在京成電気軌道に引き継がれる	75		
1936(昭和11)	4 市川市電灯電力料金値下促進期成同盟会設立	2	2	日本職業野球連盟結成（7チーム、9日巨人軍・金鯱軍による初のプロ野球試合）
	7 県下に先駆けて消防組内に常備消防部を設置	4	2	皇道派青年将校が兵士1,400余人を率いて反乱（2・26事件）
	11 県営水道の市川市域での工事が始まる	2	11	日独防共協定をベルリンで調印
	11 国府台に式場病院が開院	57		
1937(昭和12)	3 市川市の紋章が決まる	6	7	北京郊外の盧溝橋付近で日中両軍が衝突（盧溝橋事件）
	4 南行徳村が町制を施行し南行徳町となる	19		
	4 真間尋常小学校が真間尋常高等学校になる	202		
	7 郭沫若が亡命先の市川市から中国に脱出	2		
	7 市営火葬場が完成	6		
	9 市域に水道が敷設される	6		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1937(昭和12) 10	26～28日にかけて、日本軍の大場鎮占領の報を受け、市川市ほか、千葉市・佐倉町（現・佐倉市）・船橋市などで祝賀会が行われる	2		
12	南京陥落の報を受け、市川市ほか、千葉市・成田町（現・成田市）・佐原町（現・香取市）・野田町（現・野田市）・船橋市など県内各地で祝賀行事が行われる	2		
	市川学園中学校が開校	1		
1938(昭和13) 10	都市計画法に基づき、国府台周辺一帯・葛飾八幡宮周辺一帯・法華経寺周辺一帯を風致地区指定	5	4	国家総動員法公布
	里見公園にあった八景園が閉園	1	11	近衛首相が東重新秩序建設を声明
1939(昭和14) 2	市川市・船橋市で商業報国会結成	2		
3	市立授産所が開所	6		
4	警防団令公布施行と同時に、消防組と自主的に設置されていた防護団とを統合して警防団を組織	4		
1940(昭和15) 4	市川、八幡、中山および国分の各小学校に青年学校併設	6		
1941(昭和16) 4	国民学校令施行により、小学校が国民学校に改称	80	3	国民学校令公布
7	日本毛織中山工場が設立	2	3	改正治安維持法公布
7	台風により真間川が氾濫し浸水被害	5	4	6大都市で米穀配給通帳・外食券制が実施
11	千葉県機械工養成所が市川市八幡に設置	2	4	モスクワで日ソ中立条約調印
			12	日本軍がマレー半島に上陸、ハワイ真珠湾を攻撃、対米英宣戦布告
1942(昭和17) 1	京成乗合自動車が東葛乗合自動車などの経営権を継承し、西新井～八幡～浦安～今井間でバス営業を開始	5※	2	衣料の点数切符制・味噌醤油切符制を実施
1	京成電気軌道が行徳馬車自動車を買収し、行徳～船橋間でバス営業を開始	75		
1	利根運河事業廃止	2	6	山陽本線関門トンネルが竣工
2	陸上交通事業調整法により京成電気軌道が葛飾乗合自動車を合併	75		
4	中央国民学校が認可	6		
5	都市計画公園が決定	6		
8	京成電気軌道の八幡駅が廃止	106		
10	国府台野戦重砲兵第7連隊第2中隊がガダルカナル島に上陸（のちに壊滅）	2		
10	京成電気軌道の新八幡駅が京成八幡駅に改称	106		
1943(昭和18) 3	千葉合同銀行市川支店が千葉銀行市川支店となる	5		
3	市域全体が都市計画空地地区の指定を受ける	6		
4	市川市八幡に市立工業学校（夜間甲種工業学校／現・県立市川工業高等学校）が開校	87		
4	市立中央国民学校内（現・平田小）に市立中学校（県立国府台高等学校前身校のひとつ）が開校	88		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1943(昭和18) 4	中央国民学校の開設により国民学校の高等科を分離し併合	19		
6	市川・中山・八幡・国分の青年学校を廃止・統合し、市川青年学校を設立	117		
12	市川市と大柏村との合併申請を内務省に提出したが、内務省の方針で却下	117		
	京成学園が設立され市川に京成工業学校が開校	1		
	市川に女子消防隊結成	1		
	須和田の諸貝塚上に忠霊塔建立（のちに忠霊殿建立）	1		
1944(昭和19) 6	国府台の野戦重砲兵第1連隊が第32軍の指揮のもと沖縄戦に参加（翌1945年に全滅）	2	3	閣議で国民学校学童給食・空地利用・疎開促進の3要綱を決定
10	市川保健所が開所	41		
11	B29による東京方面への空襲がはじまり、市川市も被害を受ける（太平洋戦争下においては少なくとも13回の空襲被害）	61		
	東京通船による行徳航路が廃止	64		
	中山～大野間などのバス路線を運営していた共立乗合自動車を京成電気軌道が買収、南八幡に営業所を開設	106		
1945(昭和20) 2	市川市最大の空襲で、新田・中山・菅野・国分・八幡・鬼高に被害	42	2	アメリカ・イギリス・ソ連がヤルタ会談
6	京成電気軌道が京成電鉄と社名を変更	5	3	東京大空襲で東京都区部の東側が壊滅的な被害を受ける
12	旧国府台陸軍病院が国立国府台病院となる	42	8	戦争終結の詔書を放送（玉音放送）
12	東練兵場跡で入植楢入式が行われ、この日が開拓記念日となる	73	11	全国一斉に人口調査を実施
1946(昭和21) 3	東部188隊跡に市立中学校（現・国府台高等学校）が移転	114	4	新選挙法で初となる第22回衆議院議員選挙
4	市立中学校跡（市川市宮田）に市立高等女学校が開校	88	5	極東国際軍事裁判（東京裁判）が開廷
9	オランダ人のジェラート・グロード神父が国府台に日本考古学研究所を開所	115	7	公民館の設立が通達される
11	市川郵便局が平田町の新築局舎へ移転	5	7	農地改革が実施される
	不二洋裁学院が開校	78	8	全国中等学校優勝野球大会が復活
	幸田露伴が菅野に仮寓	1	11	日本国憲法公布
1947(昭和22) 1	2・1ゼネストを目前にした市川国民学校に父兄が大挙押しかけ父兄大会を開き、教員組合の動きを牽制	5	1	新皇室典範公布
1	市立中学校が市立国府台中学校と改称	88	3	教育基本法・学校教育法公布
4	学制改革により、国府台高等女学校が国府台学院女子中学校・女子高等学校と改称	82	4	第1回統一地方選挙（知事・市町村長選挙）
4	勤労署を労政事業所と改称（千葉・市川・銚子・館山・松戸・成田・茂原・木更津）	2	4	労働基準法公布
4	戦後最初の市川市議会議員選挙及び市川市長選挙が行われ、浮谷竹次郎が新市長となる	20※	4	地方自治法公布
4	学校教育法施行により市域でも国民学校が廃止、名称が小学校に改められ、中学校の開校に備える	81	4	第1回参議院議員選挙

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1947(昭和22) 4	アメリカ人のエーネ・パウラスが野戦重砲兵第18連隊跡地の兵舎を用いて、一階に保育施設、二階に母子世帯の収容施設を開設	115	8	最高裁判所が発足
5	消防団令公布施行により警防団を消防団に改称	4	8	古橋広之進が水泳400m自由形で世界新記録を樹立
5	真間小学校の一部を借用して、第二中学校が開校	241		
5	須和田の元防空本部兵舎の一部を仮校舎に第三中学校が開校	242		
5	市川市立高等女学校の一部を借用して、第四中学校が開校	243		
5	大柏小学校の校舎の一部を借用し、大柏村立大柏中学校が開校	244		
5	市川小学校の校舎の一部を借用し、第一中学校が開校	240		
6	京成電鉄が、東京駅～市川駅間で都バスと共同でバスの運行を開始	5		
6	市役所の出張所を市内6ヶ所に設置	20		
6	エーネ・パウラスが東練兵場の開拓地（現・中国分）に、入植者用の東台保育園を開園	115		
8	日本毛織中山工場に労働組合係争事件発生（串田事件）	58		
9	カスリーン台風により市域に被害	117		
	市川小学校にPTAが発足	201		
	日出学園中学校の設置が認可される	85		
	市川学園・新制市川中学校の設置が認可される	83		
	昭和学院中学校の設置が認可される	84		
1948(昭和23) 3	市立工業学校に私立京成工業学校が合併	87	3	新警察制度発足
3	市川学園に市川高等学校の設置が認可され、開校	83	4	新制高等学校が発足
3	和洋国府台女子高等学校の設置が許可される	86	5	厚生省が母子手帳の配布を開始
4	市立工業学校が県に移管され、学制改革のため高等学校に改編、千葉県立市川工業高等学校となる	87		
4	市立国府台中学校が、市立国府台高等学校となる	88		
4	昭和学院高等学校が開校	84		
6	第四中学校が市川市八幡の旧京成工業学校跡に移転	243		
7	第一中学校が市川市立高等女学校の敷地内に移転	240		
8	旧東練兵場への入植者等により、東台開拓農業協同組合が設立	73		
9	第二中学校が須和田に校舎を新築し移転	241		
10	市川小学校・真間小学校・中山小学校・八幡小学校・国分小学校で学校給食が開始	19		
11	商工会議所が創設	6		
12	消防組織法の公布施行に伴い、警察行政より分離して消防本部を設置し自治体消防として発足	4		
12	市立第一及び第二保育所が開所	19		
1949(昭和24) 3	和洋女子大学が開校	2	6	日本国有鉄道が発足

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1949(昭和24)	4 市川商工会議所が電話番号簿を発行	5	11	湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞
	4 第三中学校の全生徒が曾谷の新校舎に移転	242		
	4 学制改革により廃校となった市立高等女学校を市立国府台高等学校に合併	88		
	6 市川電報電話局が郵便局庁舎共用で発足	5		
	6 第一中学校が国府台に移転	240		
	8 キティ台風により浦安から船橋に至る海岸堤防が決壊	5		
	8 キティ台風により市川小学校のプラタナスが倒れる	201		
	8 陸軍軍医学校中山出張所を前身とする千葉県血清製造所が千葉県血清研究所と改称	116		
	11 市川市が大柏村を編入し、県内での戦後最初の市町村合併となる	2		
	11 大柏村と市川市の合併により大柏村立大柏中学校が、市川市立第五中学校と改称	244		
	11 市川毛織株式会社が設立	2		
	和洋国府台女子中学校が開校	86		
1950(昭和25)	2 市川分遣所が開所（消防）	4	5	文化財保護法公布
	2 和洋国府台女子高等学校が和洋女子大学附属国府台女子高等学校と改称	86	8	警察予備隊令公布
	2 市内に初めての市立母子寮が完成	19		朝鮮戦争で特需景気
	3 日出学園高等学校の設置が認可される	85		
	3 市営球場が完成	6		
	4 国府台運動公園が開園	5		
	4 千葉商科大学が開校	2		
	4 市川小学校から分離し宮田小学校が開校、市川市立高等女学校の校舎を利用して授業開始	207		
	4 市立国府台高等学校が県に移管され県立国府台高等学校となる	88		
	7 ヘリー台風によって真間川が氾濫	117		
	8 陸上競技大会、軟式庭球連盟、卓球連盟、籠球協会（バスケットボール）、排球協会（バレーボール）、小中学校体育連盟、連合青年団の七団体により市川市体育協会が組織される	60		
	9 市立図書館が市川小学校の2教室を使い開館	59		
	9 真間小学校において県内で初めて認可された特殊学級が授業を開始	2		
	9 国鉄市川駅前広場を造成	6		
	10 第五中学校が大野の新校舎に移転	244		
	11 第四中学校が中山町の新校舎に移転	243		
	11 真間小学校が千葉県教育委員会より県下最優秀校として表彰される	202		
	12 中山分遣所・根本分遣所が開所（消防）	4		
	12 行徳可動堰の建設工事に着工	68		
1951(昭和26)	1 今井橋が竣工	79	5	北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州の9電力が発足

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1951(昭和26) 1	第一回市川市元旦マラソン開催	1	6	土地収用法公布
3	初の市営住宅25戸建設	6		
4	八幡小学校から分離し、富貴島小学校が開校	208		
4	県立国府台高等学校が南行徳小学校内に葛南分校を開校	88		
6	市川市内にパチンコ店第1号が開店	5		
6	市営浴場が開設	19		
7	市立第三保育所が開所	19		
11	広小路分遣所が開所（消防）	4		
12	市川市が町名変更を実施	5		
12	広聴活動の一環として市広報を刊行	6		
	国府台女子学院高等学校が国府台女子学院高等部と改称	78		
	千葉商科大学附属第一商業高等学校（現・千葉商科大学付属高等学校）が開校	78		
	市川善行会ができる	118		
1952(昭和27) 3	行徳町で北越製紙工場の汚水公害問題をめぐり町長・農業委員・農民らが協議	2	7	ヘルシンキオリンピック開催、戦後日本初参加
3	市立公民館が葛飾八幡宮境内に竣工	5		
3	法華経寺の日蓮筆観心本尊抄・立正安国論が国宝に指定される	2		
3	銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、野田市及び佐原市で市川市外六市自転車競技施行組合を設立し、市川市長が初代組合管理者となる	33		
4	真間小学校より分離し、国府台小学校が開校	210		
4	中山小学校より分離し、若宮小学校が開校	209		
5	市川市消防音楽隊を結成	4		
7	浄光院の絹本著色日蓮聖人像が国の重要文化財に指定される	2		
7	国府台小学校が現在地へ移転	210		
7	ヘルシンキオリンピック体操で市川市在住の上迫忠夫が徒手（ゆか）2位、跳馬3位に入賞し、石井庄八がレスリング・バンタム級で金メダルを獲得	2		
11	永井荷風（市域に居住）が文化勲章を受章	2		
11	市川市教育委員会が設置	41		
11	国鉄本八幡駅南口が開設	6		
	大柏小学校柏井分校廃止	206		
	行徳小学校稲荷木分教場の校舎が完成し、移転	216		
1953(昭和28) 1	市川市外六市自転車競技施行組合に茂原市が加入し、千葉県八市競輪組合と改称	28※	2	NHK東京テレビ局が東京地区での放送を開始
2	市川ロータリークラブが発足	5	12	熊本県水俣市で原因不明の脳症状の初発症例（後に水俣病公式認定患者第1号）
3	市立第四保育所が開所	19		
3	真間川が一級河川に指定される	42		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1953(昭和28) 4	市川小・八幡小・宮田小学校から分離し、同三校の校舎を借用して、平田小学校が開校	211		
4	日本毛織中山工場に県立船橋高等学校定時制日毛分教室が開室	119		
8	平田小学校の校舎が落成し、移転	211		
11	消防署に救急車を配置し、救急業務を開始	4		
11	三本松商店街にアーケードを設置	5		
11	市立図書館で館外貸出を開始	59		
	市川市体育協会の事務局が教育委員会社会教育課に移転	60		
	市営陸上競技場ができる	60		
1954(昭和29) 2	「市川市企業誘致条例」を制定	5	3	第5福竜丸がビキニ環礁水域でのアメリカの水爆実験により被爆
7	警察制度改革により千葉県市川警察署が発足	41	6	新警察法公布
9	大柏を除き市役所の出張所が廃止	6	7	防衛庁・自衛隊が発足
	行徳小学校が校舎の移転を開始	214		
1955(昭和30) 2	柏井に塵芥焼却場が完成	32	7	日本住宅公団が発足
3	行徳町と市川市が合併し、行徳支所を開所	6		神武景気始まる
5	市川市長選挙が行われ、織田智が新市長となる	19※		
7	浦安町（浦安市）の元漁協組合長泉沢三四郎らが町の干拓計画に反対して浦安第一漁業組合を設立	2		
9	行徳分遣所が開所（消防）	4		
9	市川市立図書館だより『まつかぜ』創刊（1973年3月、58号まで刊行）	59		
	行徳町と市川市の合併により、行徳町立小学校が市川市立行徳小学校と改称し、校舎完成落成式を挙行	214		
1956(昭和31) 3	市川市長選挙が行われ、浮谷竹次郎が新市長となる	6	7	経済企画庁が経済白書『日本経済の成長と近代化』を発表（もはや戦後ではない）
4	行徳小学校から独立して、稲荷木小学校が開校	216		
6	東洋一を誇るローリングダム式可動堰と行徳橋が完成	42		
6	江戸川に流された黒い水をめぐって700人超の漁民らが本州製紙本社江戸川工場になだれ込み流血の惨事となる	120		
10	南行徳町と市川市が合併し、南行徳支所を開所。また、浦安町南行徳病院組合葛南病院が浦安町市川市病院組合葛南病院に改組	6		
10	国府台公園が開園	67		
10	須和田公園が開園	67		
	中山小学校より分離し、鬼高小学校が開校	212※		
	市城南東部海面の埋立地造成計画を県知事に免許申請	121		
1957(昭和32) 3	国府台分遣所が開所（消防）	4	1	第1次南極観測隊がオングル島に上陸し、昭和基地を設営
4	真間小学校から分離し、菅野小学校が開校	213		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1957(昭和32) 4	京成電鉄バスが市川～松戸間にワンマンカー運転を開始	5		
4	市川市立養護学校（現・須和田の丘支援学校）が開校	258		
5	市立図書館が葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館	59		
10	京成バスが市内循環バスを運行	9		
10	南行徳支所の所轄区域を行徳支所に統合し南行徳支所を廃止	33		
11	市川市が京葉臨海工業地帯開発第1次海面埋立事業の免許を受ける	5		
1958(昭和33) 3	市川電報電話局建築現場地下4メートルからイワシクジラ（のちにコククジラに訂正）の骨が発見される	5※	4	東京都江戸川区の本州製紙工場の廃水で浦安海岸から葛西沖までの海水が変色し魚介類が死滅
3	中山分遣所を中山町3丁目から北方町3丁目に移転（消防）	4	12	日本銀行が1万円札（聖徳太子の肖像）を発行
4	市川商工会館が完成	6	12	東京タワーが竣工
4	東京医科歯科大学が医学及び歯学進学課程を国府台に設置（国府台分校）	99	12	国民健康保険法公布
7	南行徳地区連絡所が開所	6		
9	狩野川台風（台風22号）により真間川が氾濫	5		
9	狩野川台風の被害を受け、県下で初めての災害救助法の適用を受ける	20		
9	里見公園が都市計画公園として整備されることが決まる	19		
10	市立図書館にお母さんの本棚を開設	123		
10	市営国府台浴場が民営化	122		
	葛飾八幡宮境内に市民会館建設	1		
1959(昭和34) 4	鬼高小学校の校舎一部を借用し、第六中学校が開校	245	4	国民年金法公布
4	永井荷風が八幡町の仮寓居で死去（79歳）	5		
6	市川電報電話局の新庁舎完成移転し、市内局番新設	5		
6	市立養護老人ホームが完成	19		
6	市庁舎が完成し、仮庁舎としていた市民会館より移転	19		
10	市立伝染病院を開院	19		
12	市川市が二俣新町から上妙典地先約159haの埋立工事に着手（第1次埋立事業第2工区）	2※		
12	国鉄市川駅南口開設	6		
	市制施行25周年を記念した市民体育大会開催	60		
	真間川水害対策として放水路新設工事着工	124		
1960(昭和35) 4	京葉有料高速道路の東京都江戸川一之江橋～船橋海神間が開通	2	1	日米新安保条約・地位協定調印
6	市立図書館で幼児用・児童用図書を件名配列にする。母と子の部屋および少年室を設置し、全館の使用を開始	59	9	カラーテレビ本放送開始

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1960(昭和35)	第1次埋立事業第1工区建設に着手	5	10	社会党委員長浅沼稻次郎が3党 主立会演説会で右翼少年に刺 殺される
11	市川市読書会連絡協議会設立	125		
1961(昭和36)	1 うずしお読書会ができる	59		四日市でぜん息患者が多発
7	市川市ロータリークラブがカリフォルニア州ガーデ ナ市ロータリークラブと姉妹縁組	5		
11	公共下水道事業に着手	6		
	第13回関東八都県対抗陸上競技大会開催	60		
1962(昭和37)	行徳中・南行徳中学校を統合し第七中学校が開 校	246	8	堀江謙一が日本人初の小型ヨット による単独の太平洋横断に成功
	市立図書館で19時30分までの夜間開館を実施	59		
	公有水面埋立事業の第2工区が竣工し、917,957 ㎡の工業用地造成	19		
	市川市で『俳句女園』が創刊	2		
	初代市川市消防団長・福地新作より、財団法人 市川警防会館及び市川分遣所の土地が消防署 建設用地として市川市に寄贈される	4		
	塵芥焼却場を増設	19		
	第二保育所を廃止し第三保育所を第二保育所 に、第四保育所を第三保育所と改称	19		
	市営霊園が完成	19		
	海面埋立地を正式に市川市に編入、高谷新町と 命名	6		
	米国カリフォルニア州ガーデナ市と姉妹都市提携 を締結	6		
	この年から1969年にかけて、大町第一出荷組合・ 下貝塚梨業組合・市川市農協・殿台梨組合の 共同選果場を設置	121		
1963(昭和38)	4 県立国府台高等学校葛南分校が同校葛南校舎 となり分校を解消	88	4	消防法の一部改正により、救急 業務が法制化される
	4 塵芥収集を容器による混合収集に切替	6	10	新潟水俣病が発症
	4 住居表示に関する法律の制定に伴い新住居表 示実施の準備に着手	6	11	日本銀行が新千円札（伊藤博文 の肖像）を発行
	4 農協合併助成法により、市川・行徳・大柏・南 行徳の4農協が合併し、市川市農業協同組合を 設立	19		
	5 市川分遣所に広小路分遣所を吸収統合（消防）	4		
	6 公有水面埋立事業の第1工区が竣工し、677,090 ㎡の工業用地造成	6		
	9 八幡に京成百貨店開店	75		
	10 埋立地を正式に市川市に編入し二俣新町と命名	6		
	12 「安全都市」を宣言	6		
1964(昭和39)	3 「市川市立図書館設置条例」を制定	59	10	東海道新幹線が開通（東京～ 大阪間を「ひかり」で4時間）
	4 県立国府台高等学校葛南校舎が本校に併合さ れ、再び葛南分校となる	88	10	東京オリンピック開催
	4 国分小学校旧校舎（市川市曾谷町）を仮校舎と して、県立国分高等学校が開校	89		
	4 第1期住居表示整備事業に着手	12		
	6 市立図書館の行徳分館が徳願寺境内に開館	59		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1964(昭和39) 6	第2次公有水面埋立事業として330,674.5㎡の工業用地造成に着手	6		
7	堀之内貝塚が国の史跡に指定される	2		
7	市川橋の下り千葉方面が開通	96		
9	市川分遣所跡地に消防庁舎を建設し消防本部・消防署を移転、旧庁舎を八幡分遣所と改称	4		
	第1回日本体操祭市川大会が行われる	60		
1965(昭和40) 1	市川市長選挙が行われ、浮谷元吉が新市長となる	117	7	名神高速道路(小牧～西宮間)が全線開通
2	県立国分高等学校の管理棟・普通教室棟など第1期工事が竣工	89	10	朝永振一郎がノーベル物理学賞を受賞
3	新田分遣所が開所(消防)	4		
3	塵芥焼却場に50t炉を増設	6		
3	市域最後の渡船、三太の渡が廃止	65		
4	真間川が1級河川に指定される	5		
4	市立勤労青少年ホームが開館	24		
4	市制施行30周年記念事業の一環として市史編さんに着手	24		
4	市立母子寮が完成	6		
4	心身障害児福祉手当支給制度を実施	13		
4	第四保育所を開所	6		
6	市川駅南口にアーケード商店街開設	19		
11	市川の電話市内局番2数字化実施	5		
12	総武線東京～津田沼間複々線化に着手	5		
	大野に伝わる「おびしゃ」が市の文化財に指定される	1		
	市川市農協が迎米共同選果場を開く	121		
1966(昭和41) 1	市川市長選挙が行われ、富川進が新市長となる	7		
1	江戸川河川敷緑地が開園	67		
2	公共下水道事業に係る受益者負担金制度を実施	6		
3	須和田公園内に郭沫若詩碑の建立を決定	6		
3	肢体不自由児の訓練施設として簡易マザーズ・ホームの設置を決定	6		
3	真間川改修の一環として真間川樋門が完成	6		
3	国鉄本八幡駅前が防災建築街区の指定を受ける	6		
4	衛生処理場(処理能力250kl/d)が二俣新町に完成	32※		
4	市川市奨学資金貸付制度を実施	6		
4	県の事業として葛南工業用水道事業に着手	6		
4	県の事業として真間川改修事業に着手	6		
4	東浜地先埋立事業として173,996㎡の工業用地造成に着手	6		
5	市川小学校内に市内で初めて留守家庭児童会ができる	20		
6	台風4号により真間川、境川が氾濫、県下最大の被害となる	5		
7	市川市・船橋市・千葉市の水道で赤水が発生し5万戸に影響	2		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1966(昭和41) 9	市川青年会議所が設立	6		
10	第五保育所が開所	6		
12	県の事業により大野町と北方4丁目地先十字路を結ぶ市川有料道路の建設計画が決定	6		
12	埋立地を正式に市川市に編入、千鳥町と命名	6		
12	市川橋の上り東京方面が開通	96		
1967(昭和42) 2	大柏小学校に新校舎落成し移転	206		
3	公益質屋を廃止	7		
4	市川市立第一中学校から分離し、同校舎の一部を借用し、第八中学校が開校	247		
4	宮田小学校内で、鶴指小学校が開校	218		
4	若宮小学校内に留守家庭児童会ができる	12		
6	高谷分遣所が開所(消防)	4		
6	法華経寺の日蓮自筆遺文が国の重要文化財に指定される	2		
7	市川市立新舞子海の家を千葉県君津郡大佐和町地先に開設	7		
8	姥山貝塚が国の史跡に指定される	2		
10	交通災害共済制度を実施	7		
11	し尿汲取り業務が許可制度から委託制度に切替	7		
12	下総国分寺跡・下総国分尼寺跡が国の史跡に指定される	2		
1968(昭和43) 3	第八中学校が大和田の新校舎に移転	247	3	イタイタイ病患者・遺族が三井金属鉱業に損害賠償を提訴
3	鶴指小学校の新校舎が完成し移転	218	4	小笠原諸島返還協力調印
3	市川駅東地区が防災建築街区の指定を受ける	9	5	十勝沖地震発生
4	姥山貝塚を公有化	12	6	大気汚染防止法・騒音規制法公布
4	市立青少年補導センターができる	19	6	東大で青年医師連合70人が安田講堂などを占拠(東大紛争)
4	児童手当支給制度を実施	8	7	郵便番号制度がスタート
4	富貴島小学校敷地内に宮久保小学校が開校	219	10	川端康成がノーベル文学賞を受賞
5	千葉陸運事務所習志野支所が発足し、習志野ナンバー開始	76		
5	市立図書館新館を葛飾八幡宮境内本館隣の敷地に開館	59		
6	市川市小学校校庭開放実施要項ができる	117		
7	埋立地を正式に市川市に編入し高浜町と命名	8		
7	埋立地を正式に加藤新田字沖場の区域に編入	8		
10	市川～松戸間の有料道路第一期工事が完成(若宮～大野間2.9km)	1※		
11	中国分、北国分電話交換局ができる	5		
12	鶴指小学校および第八中学校で市内初めての共同調理場方式による学校給食実施	19		
1969(昭和44) 1	千葉県八市競輪組合が解散し、新たに市川市ほか18市によって千葉県競輪組合が設置され、市川市が組合管理者となる	8	5	東名高速道路が名神高速と直結し、東京～西宮間で全通

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1969(昭和44) 3	騒音防止規制法に基づき市川市ほか近隣市において騒音規制地域が指定される	2	6	新都市計画法が施行される
3	東西線の東陽町～西船橋間が開通し、行徳駅(市川市)、原木中山駅(船橋市)が開業	5	11	千葉県が「交通安全県」を宣言する
3	交通事故貸付金制度を実施	24		
3	勤労福祉会館が開館	24		
4	市川駅西地区を防災建築街区に指定	9		
4	奨学資金貸付制度を廃し、支給制度に切替	8		
4	第六保育所が開所	8		
4	宮久保小学校の新校舎が竣工し移転	219		
4	京葉港地区土地造成事業のうち市川地区土地造成事業について県より委託を受け工事に着手	8		
5	国鉄・市川駅の貨物取扱が廃止	66		
6	稲荷木小学校内に留守家庭児童会ができる	11		
9	第1期住居表示整備事業が完了	12		
11	東山魁夷が文化勲章を受章	2		
12	第七保育所が開所	9		
	紫烟草舎(北原白秋旧宅)を里見公園内に移築	9		
1970(昭和45) 1	第2期住居表示整備事業に着手	12	3	大阪府吹田市の千里丘陵で日本万国博覧会開催
4	八幡分遣所を改築し、東消防署とし、従来の市川市消防署を市川市西消防署と改称	4	3	日航機よど号ハイジャック事件がおこる
4	災害見舞金交付要綱施行	117	11	三島由紀夫らが東京市ヶ谷の陸上自衛隊東部方面総監部でクーデタを訴え失敗、自殺
4	交通遺児手当支給制度を実施	9	12	海洋汚染防止法・水質汚濁防止法公布
4	新浜御狩猟場の周辺約83haが行徳近郊緑地特別保全地区に指定される	24		
4	戸籍事務関係の日曜窓口を開設	24		
4	二俣小学校が開校	220		
4	第八保育所が開所	9		
7	国鉄総武線小岩～西船橋間の高架線完成	19		
7	平田小学校内に留守家庭児童会ができる	11		
8	新都市計画法に基づき市街化及び市街化調整区域を決定	20		
8	市川児童交通公園が開園	67		
9	京葉道路の東京都江戸川区と市川市に架かる新江戸川大橋が完成	2		
10	葛南工業用水道事業が完成し、一部送水を開始	10		
11	市川の電話が5万加入を突破	5		
12	市の木としてクロマツを指定	13		
12	堀之内貝塚を公有化	12		
	香取郡下総町七沢地区で梨の栽植が行われ、通勤耕作が行われる	126		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1971(昭和46) 2	臨海部の工業地域に進出した企業114社と市が公害防止協定を締結	12	6	沖縄返還協定調印
3	南行徳公園が開園	67	7	環境庁が発足
4	各種機器を備えた公害測定車を配置し環境保全体制を強化	10		
4	信篤、稲荷木の入学前指導所を廃止	10		
4	市川市医師会館が完成	10		
4	初の市立幼稚園を二俣、信篤及び稲荷木に開園	33		
4	第九保育所が開所	10		
4	南行徳小学校内に留守家庭児童会ができる	12		
7	第二市庁舎が完成	11		
7	市立稲荷木幼稚園内に言語治療教室ができる	10		
8	内陸部の企業183社と公害防止協定を締結	12		
9	市川市議会内に東京外郭環状線道路問題協議会を設置	70		
12	市川市・松戸市外環道路対策協議会連合が結成され外環反対運動が本格化	70		
	市川松戸有料道路第二期工事が完成(4.9km、第一期工事と併せて全長7.8km)	1		
1972(昭和47) 2	成田新幹線通過予定の9市町村(浦安町・市川市・船橋市・鎌ヶ谷市・白井町・印西町・本埜村・印旛村・成田市)に対する第1回説明会が開かれ、各市町村が反対表明	2	2	札幌冬季オリンピック開催
3	「市川市公害防止条例」を制定	11	2	連合赤軍5人が軽井沢浅間山荘に人質を取り籠城(浅間山荘事件)
4	国分小学校の規模過大化により、同校敷地内に曾谷小学校が開校	222	3	新幹線が新大阪～岡山間で開通
4	下水道終末処理場が完成、操業開始	11	3	奈良県明日香村の高松塚古墳で極彩色の壁画発見
4	浸水住宅地盛土嵩上げ工事借入資金に対する利子補給制度を実施	11	9	田中首相が中国を訪問、周恩来首相と会談し国交正常化達成に合意
4	市川市立養護学校(現・須和田の丘支援学校の前身校)に高等部が開校	258	11	東京の上野動物園で中国政府寄贈のパンダ公開
4	中国分小学校が開校	221		
4	第十保育所が開所	11		
5	市川市地方卸売市場が営業を開始	19		
6	鶴指小学校内に留守家庭児童会ができる	11		
7	船橋・市川港が関税法上の開港(国際貿易港)に指定	2		
7	総武本線の錦糸町～津田沼間で複々線化が完成し快速電車運転を開始	2		
10	市川市公害研究所ができる	12		
10	市川市水質研究所ができる	19		
11	堀之内貝塚に隣接して市立市川博物館が開館	1		
11	曾谷分遣所が開所(消防)	4		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1972(昭和47) 12	市川市などを対象とした江戸川流域にかかわる公害防止計画が閣議承認	2		
	新行徳橋有料道路が開通	1		
	東葛地区工業用水道の建設開始	301		
1973(昭和48) 1	埋立地の一部を正式に市川市に編入、塩浜1丁目と命名	12	1	70歳以上の老人医療無料化を実施
3	市有墓地を市営霊園に移転	12	4	国民の祝日法改正公布、祝日が日曜日と重なる場合は月曜日を振替休日
3	大野町4丁目に大町自然公園を開園	19	10	江崎玲於菜がノーベル物理学賞を受賞
4	県立市川工業高等学校定時制第1学年の募集が停止され、同校内に県立葛南工業高等学校(定時制)が開校	87	11	オイルショックの影響で各地でトイレーパー・洗剤・砂糖の買いだめ騒ぎがおこる
4	環境保全の一環として市内の山林所有者と緑地保全協定を締結	12		
4	結婚、出生の記念として市の木クロマツの苗木の配布開始	19		
4	市川市立養護学校(現・須和田の丘支援学校)に小学部が開校	258		
4	鬼越・鬼高青少年館が開館	20		
4	第十一保育所が開所	12		
4	大柏小学校に併設して、大町小学校が開校	223		
5	緑化推進啓蒙の施策として50,000本の苗木を各戸に配布	12		
8	駅前公園が開園	67		
8	『市議会だより』創刊号を市広報の号外として発行	43		
9	国府台のスポーツセンター内に市民体育館が開館	1※		
10	若潮国体において、準硬式野球を国府台公園野球場で開催	5		
10	県道市川松戸線の一部にバス優先レーンを設置	13		
10	原木に東京エアカーゴ・シティ・ターミナルが完成	74		
12	埋立地の一部を正式に市川市に編入、塩浜2,3,4丁目と命名	13		
1974(昭和49) 1	市川市長選挙が行われ、鈴木忠兵衛が新市長となる	19※	10	前首相佐藤栄作がノーベル平和賞を受賞
1	移動市長室を開設	24		
3	行徳中央公園が開園	67		
3	国府台分遣所を改築し根本分遣所を廃止(消防)	4		
4	千葉県が中央・船橋・市川・木更津・市原の5保健所に環境衛生課を設置	2		
4	富貴島小・宮久保小・中山小・若宮小学校から分離し、北方小学校が開校	224		
4	県立行徳高等学校が開校	2		
4	千葉商科大学附属第一商業高等学校が千葉商科大学付属高等学校と改称	78		
4	老人いこいの家ができる	13		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1974(昭和49) 4	社会福祉法人国分学園(苑)を市に移管し、精神薄弱者通園更正施設として新たに松香園が開園	19※		
5	点字広報を発行	13		
8	第一清掃工場が完成	23		
8	市の人口が30万人をこえる	14		
9	大洲幼稚園が開園	13		
9	公害モニター制度が発足	14		
9	自治会防火部が「市民防火の日」を制定	62		
10	樹木の病気、害虫等の異常について診断を行うための樹木病院を開設	19		
11	西部公民館が開館し、既存の公民館を中央公民館と改称	14		
11	日量450t炉を備えた西浜清掃工場が完成	19		
11	老人つどいの家ができる	14		
	市川市芸術文化団体協議会が設立	127		
1975(昭和50) 1	市川青少年館が開館	14	3	東海道・山陽新幹線が東京～博多間で全通
1	住宅資金融資制度が発足	14	7	沖縄国際海洋博覧会開催
2	市川市・千葉市などの14校で公立高校の入学者総合選抜制を実施	2		
3	長野県管平に「山の家」の用地を取得	14		
3	市川市史7巻(8冊)が完成	14		
3	堀之内貝塚公園が開園	67		
4	平田青少年館が開館し、同館に留守家庭児童会ができる	14		
4	南行徳小学校より分離し、新浜小学校が開校	225		
4	低所得世帯の精神障害者に対する医療扶助制度が発足	14		
4	保育所の名称が保育園に改められるとともに曾谷保育園および行徳保育園が開園	14		
4	南行徳幼稚園、百合台幼稚園が開園	42		
5	70才以上の老人に対するバス料金助成制度が発足	14		
6	財団法人市川清掃公社が発足	14		
6	福祉タクシー制度開始	14		
7	市民の花がバラに決定	5		
7	市川市外環問題審議会(市)・外環道路建設反対特別委員会(市議会)・外環連合(住民)の三者による市川市外環反対協議会が発足	70		
8	南行徳公園、三町畑公園、子の神中央公園にミニ・プールができる	16		
8	日本化学工業小松川工場による市川市と浦安町への六価クロムの埋立が問題化し、県が六価クロム汚染対策協議会を設置	2		
8	市川の電話が10万加入を突破	5		
9	移動図書館みどり号の運行開始	59		
11	北方2丁目の東部公園内にいこいの家ができる	15		
	市川博物館友の会ができる	128		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1976(昭和51) 1	埋立地の一部を正式に市域に編入し東浜1丁目と命名	26		
3	大町診療所が開所	15		
3	県立市川工業高等学校定時制課程が廃止	87		
4	市川南保育園、本北方保育園が開園	15		
5	3日連続の降雹で市川市・市原市・松戸市・鎌ヶ谷市と一ノ宮町・長柄町・大原町(いすみ市)・袖ヶ浦町(袖ヶ浦市)にナシを中心に6億円の被害	2		
5	市川市と日本毛織中山工場との間に県下で初めて自治体独自の緑化要綱に基づいて緑化協定を調印	5		
8	千葉県が市川市ほか多くの自治体に大気汚染防止法にもとづく硫黄酸化物総量規制基準などを告示	2		
9	稲荷木消防訓練場ができる	4		
10	市民の鳥にうぐいすが決定	5		
10	市民の虫にすず虫が決定	5		
11	第1回市民まつりを開催	16※		
11	湊地区に青少年館が開館	16		
11	移動図書館第2みどり号が運行	59		
12	菅平高原に「いちかわ村」ができる	16		
	ヒメアカネ、ヒメマイトトンボが市の天然記念物に指定される	1		
	「市川市なし赤星病防止条例」が施行され、梨畑より2km以内のビャクシン類の植栽を禁止	129		
1977(昭和52) 4	百合台小学校が開校	226	2	日米漁業協定調印(初の200海里漁業水域協定)
4	県立市川東高等学校が開校	90		
4	南沖公園が開園	67		
4	一般家庭のし尿汲取料が無料化	16		
4	夜間急病診療所が開所	17		
4	国分福祉作業所が開所	41		
4	宮久保保育園、平田第二保育園が開園	17		
7	国府台の市営球場に夜間照明設備が完成	16		
9	本八幡ビル内に健康増進センターができる	16		
10	消費生活センターができる	17		
11	市民憲章を制定	17		
12	市川市長選挙が行われ、高橋國雄が新市長となる	17※		
12	夜間急病診療所を旧市川警察署跡に移転	17		
1978(昭和53) 1	社会教育会館が開館	17	5	新東京国際空港(成田空港)開港式を挙行
2	市川市付近で竜巻が発生し、荒川鉄橋では営団地下鉄東西線が脱線横転する事故発生	2	6	宮城県沖地震発生
4	県立国府台高等学校葛南分校の生徒募集が停止され、県立行徳高等学校定時制が開校	91	8	日中平和友好条約調印
4	不二女子高等学校が開校	78		
4	南消防署を設置し南行徳分遣所を廃止	4		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1978(昭和53) 4	菅野保育園、欠真間保育園が開園	17		
4	南行徳小・新浜小学校から分離し、富美浜小学校が開校	227		
4	市立新浜幼稚園が開園	40		
4	市川4丁目に毎秒15トンの排水能力をもつ排水機場が完成	17		
5	『広報いちかわ』が月2回の発行となり新聞折込みとなる	17		
5	『市議会だより』を広報から独立して単独で発行し新聞折込みとなる	41		
8	道路狭隘地域及び高層建物対策として先行消防車を東消防署および中山分遣所に配置	4		
9	行徳公民館が開館	17		
9	行徳支所が本行徳から末広1丁目に移転	17		
9	信篤小学校が高谷から、原木の新校舎に移転	215※		
10	西消防署所属の曾谷分遣所が北消防署に昇格	4		
10	鬼高公民館が開館	18		
10	武蔵野線の新松戸～西船橋間が開通し、市川大野駅が開業	17※		
12	市議会議員の定数を44人とする「市川市議会の議員の定数を減少する条例」を制定	42		
1979(昭和54) 2	信篤図書館が開館し、行徳分館を行徳図書館と改称	59	12	ソ連軍がアフガニスタンに侵攻
2	富美浜青少年館が開館	18		
2	高校・大学入学準備金貸付制度が発足	18		
3	日本毛織中山工場が1982年3月を目処に全面閉鎖することを発表	58		
3	姥山貝塚公園が開園	67		
3	「真間川の桜並木を守る市民の会(さくらの会)」結成	130		
4	県立市川北高等学校が開校	92		
4	第六中学校の規模過大化に対処し、高谷中学校が開校	249		
4	第三中・第四中学校区再編成により、下貝塚中学校が開校	248		
4	市川小・宮田小・鶴指小学校から分離し、大洲小学校が開校	229		
4	大柏小学校より分離し、柏井小学校が開校	228		
4	東部公民館が開館し、休日急病歯科診療所を併設	25		
4	行徳小・新浜小学校から分離し、幸小学校が本行徳の仮校舎に開校	230		
4	塩焼保育園および稲荷木保育園が開園	18		
4	八幡青少年館が開館	18		
4	第七中学校から分離し、福栄中学校が開校	250		
5	第3庁舎が完成し、市民課、税、国保及び議会関係が移転	19		
7	火災共済制度が発足	18		
8	小塚山公園が開園	67		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1979(昭和54) 11	東海面公園が開園	67		
	第30回記念大会の市民体育大会を開催	60		
	今井橋がやや下流側に改設	131		
	真間川が総合治水対策特定河川の指定を受ける	132		
1980(昭和55) 1	第30回記念大会の元旦マラソン大会を開催	60	1	アメリカ大統領カーターがソ連のアフガニスタン介入に対する報復措置を発表
	幸小学校の全校児童と職員が新校舎に移る	230	5	JOC臨時総会でモスクワオリンピックへの不参加を決定
	野鳥観察舎が新装開館	42		
	斎場を大町に移転	33		
	県立市川北高等学校の本校舎が完成し移転	92		
	本行徳公民館および柏井公民館が開館	25		
	国鉄本八幡駅北口十字路角に市民談話室ができる	19		
	南沖児童交通公園（行徳地区）を開園	25		
	南行徳老人いきいの家ができる	25		
	新田第二保育園、塩焼第二保育園を開園	25		
	新井青少年館および行徳青少年館が開館	25		
	大柏小学校から分離し、大野小学校が開校	233		
	新浜小・富美浜小学校から分離し、南新浜小学校が開校	232		
	市の総務部に中山工場開発準備室を設置	58		
	南行徳小学校と富美浜小学校の規模過大化に対処するため新井小学校が開校	231		
	行徳図書館、移動図書館が本行徳公民館図書室に移転	59		
	第一中・第二中・第三中学校から分離し、東国分中学校が開校	251		
	視覚障害者ガイドヘルパー制度が発足	19		
	第1回中学生模擬議会を開催	19		
1981(昭和56) 1	塩焼中央公園が開園	67	10	防火基準適合表示制度が発足
	地下鉄東西線に南行徳駅が開業	20	10	福井謙一がノーベル化学賞を受賞
	平田周辺の約7,000㎡が「平田緑地保全地区」に指定される	20		
	県立国府台高等学校葛南分校、最終学年卒業により閉校	88		
	じゅん菜池緑地が開園	67		
	塩浜小学校が開校	236		
	曾谷小学校から分離し、稲越小学校が開校	235		
	県立市川南高等学校が開校	93		
	江戸川左岸流域下水道が南八幡・南行徳の一部地域で供用開始	20		
	塩浜保育園および大野保育園が開園	20		
	田尻老人いきいの家ができる	20		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1981(昭和56) 4	市内50か所に防災広報無線の子局を設置し、放送を開始	20		
5	総合福祉センターが開館し、市川市駅南公民館を併設	20		
7	保健センターが開館し、東部公民館内に併設されていた休日歯科診療所を移設	20		
9	大柏出張所を南大野2丁目に移転し、大野公民館を併設	41		
10	行徳図書館新館が行徳支所の4、5階に開館	59		
10	台風24号で真間川水系が氾濫、大きな被害が出る	42		
10	中国・四川省楽山市と友好都市提携を締結	21		
	行徳小学校、幸小学校から分離し、塩焼小学校が開校	234		
1982(昭和57) 3	日本毛織中山工場が生産を全面停止	58	4	500円硬貨発行
3	弁天池公園が開園	67	6	東北新幹線の大宮～盛岡間が開通
3	『市川の文学』が刊行される	254	11	上越新幹線の大宮～新潟間が開通
4	日本毛織中山工場跡地開発の「日本毛織中山工場再生計画」を関係官庁等へ提出	58		
4	鬼高小学校の校舎を使用して、大洲中学校が開校	252		
4	大洲中学校の夜間学級が開級	253		
4	東関東自動車道・市川潮来線の市川～千葉間と首都高速道路高速湾岸線の浦安～市川間が開通	2		
4	塩焼幼稚園が開園	41		
4	行徳第二保育園が開園	21		
4	福栄中学校から分離し、塩浜中学校が開校	254		
4	信篤公民館が開館	21		
4	精神薄弱者授産施設明松園が開園	21		
4	市長を団長とする市川市楽山友好代表团が、四川省楽山市を公式訪問	23		
4	本八幡青少年館および奉免青少年館が開館	21		
5	日本毛織中山工場が閉鎖	58		
5	勤労福祉センターが開館し、分館に南八幡福祉作業所が開所	21		
7	少年自然の家ができる	22		
7	北方町4丁目に市民プールができる	22		
10	真間川改修のための桜並木伐採が始まる	134		
11	市川考古博物館が開館	24		
11	市川歴史博物館が開館	22		
12	東部公民館におもちゃの病院ができる	2		
	本行徳プールができる	60		
	東関東自動車道の市川～宮野木間が首都高速道路湾岸線の浦安～市川間と同時に開通し、市川ジャンクションで双方が接続	135		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1982(昭和57)	この年から1983年まで市川市行徳漁業組合と南行徳漁業組合が塩浜地先に約10ヘクタールの人工干潟をつくる	136		
1983(昭和58) 3	葛南警察署開署	22	5	日本海中部地震発生
4	大和田小学校が開校	237		
4	香取保育園が開園	22		
4	建設省関東地方建設局、千葉県と流域関係四市(市川市・松戸市・鎌ヶ谷市・船橋市)で構成する真間川流域総合治水対策協議会が「真間川流域整備計画」を策定	137		
5	曾谷公民館が開館	22		
5	勤労福祉センターに南八幡体育館を併設	23		
5	浦安市・市川市病院組合葛南病院の増築工事が完成	22		
10	南行徳図書館が開館	59		
10	北方小学校の創立10周年記念事業として相撲場屋形が完成	224		
11	教育研究所を教育センターと改称し、勤労福祉センター分館隣りに移転	23		
1984(昭和59) 1	住民票関係事務をオンライン化	23	9	長野県西部地震発生
1	高石神老人いこいの家ができる	23	11	1万円(福沢諭吉)・5,000円(新渡戸稲造)・1,000円(夏目漱石)の新札発行
4	県立市川養護学校(現・県立市川特別支援学校)が開校	97		
5	福栄老人いこいの家ができる	23		
10	市制施行50周年を記念し、市内小中学生3,500人が参加して「花とみどり・音楽の祭典」を開催	24		
11	「核兵器廃絶平和都市」を宣言	24		
1985(昭和60) 2	日之出老人いこいの家ができる	24	3	国際科学技術博覧会(科学万博つくば'85)が筑波研究学園都市で開幕
4	県立市川西高等学校が開校	92	4	日本電信電話株式会社(NTT)・日本たばこ産業株式会社(JT)が発足
4	福栄中学校から分離し、南行徳中学校が開校	255	6	男女雇用機会均等法公布
4	富美浜小学校から分離し、福栄小学校が開校	238		
4	市民活動災害保障保険制度「ふれあい保険」が発足	25		
5	法華経寺祖師堂が国の重要文化財に指定される	2		
5	信篤市民体育館が開館	24		
7	消防局・東消防署が合同庁舎に移転	4		
8	市民納涼花火大会が復活する	42		
9	東京湾で千葉市から市川市沖まで青潮が発生し、アサリが全滅	2		
10	市の人口が40万人を超える	42		
11	5つの市立図書館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行	59		
11	市川市文化会館が開館	25		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1986(昭和61) 3	千葉の干潟を守る会が富津岬(富津市)から江戸川河口までの海岸の自然調査を開始	2	4	消防法の一部改正により、救助業務が法制化される
4	第七中学校から分離し、妙典中学校が開校する	256	4	ソ連ウクライナ共和国のチェルノブイリ原子力発電所で大規模事故が発生
4	日本毛織に中山開発事業本部が設置される	58	11	伊豆大島三原山が209年ぶりに大噴火
4	保育クラブ・児童ルーム・老人いこいの家・防災倉庫などの機能をもつ塩浜多目的施設ができる	25		
5	心身障害者福祉センター・行徳福祉作業所ができる	25		
6	文化振興基金を設立	26		
8	台風10号により真間川が氾濫	2		
9	青潮で船橋市・市川市沖のアサリが大量酸欠死	2		
10	財団法人市川市緑の基金が設立	26		
	真間川水系の改修事業が激特事業の指定を受ける	138		
	水田を維持する農家との遊水機能保全協定制度が発足	139		
	千葉県企業庁が市川二期基本計画案および京葉港二期地区基本計画案を提示	136		
1987(昭和62) 5	若宮公民館が開館	26	10	利根川進がノーベル医学生理学賞を受賞
7	市内在住の著名な学者・作家・芸術家などと市民の交流をはかる文化サロンを開始	27		
8	動植物園が開園	27		
8	国府台スポーツセンター陸上競技場を全天候型に改修	27		
9	千葉県が地価高騰に対応するため市川市など7市を監視区域に指定	2		
10	平田図書室が開室	59		
10	在宅老人福祉対策としてデイ・サービス事業を開始	27		
12	日本毛織中山工場跡地にニッケコルトンプラザの建設着手	58		
12	市議会十二月定例会において東京外郭環状道路対策特別委員会を設置	140		
1988(昭和63) 1	消防出初式開催場所を稲荷木消防訓練所に変更	4	3	青函トンネルが開通
4	国分福祉作業所を新築移転	27	4	瀬戸大橋が開通
4	妙典中学校の本校舎が落成し、下妙典に移転	28※	8	イラン・イラク戦争停戦協定
4	青少年国際交流基金を設置	28		
10	「市川市名誉市民条例」が施行され、東山魁夷と浮谷竹次郎が最初の名誉市民となる	33※		
10	中央図書館等建設準備室を職員4名で仮設置	59		
11	ニッケコルトンプラザが営業開始	58		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1988(昭和63) 12	JR京葉線が開通し、市川塩浜駅・二俣新町駅が開業	28		
1989(平成1) 3	都営地下鉄新宿線が本八幡(仮設駅)まで延伸	28※	1	昭和天皇死去、明仁親王践祚。 平成と改元
4	行徳図書館新館が行徳支所隣に開館	59	2	佐賀県の吉野ヶ里遺跡で大規模な環濠集落を発見
5	幸公民館が開館	29	4	消費税(3%)スタート
6	万葉植物園が開園	29	11	東西ドイツの「ベルリンの壁」解体開始
7	動植物園内にバラ園が開園	29		
7	中央図書館等建設準備室を管理部に設置	59		
8	毎月第2・第4土曜日を閉庁日とする	29		
8	夜間急病診療所を保健センター内に移転	29		
8	ナイト・ケア(夜間介護)事業を開始	29		
9	精神薄弱者通所更生施設として梨香園が開園	29		
10	塩浜市民体育館が開館	29		
10	市川自然博物館が開館	29		
11	インドネシア共和国北スマトラ州メダン市と姉妹都市提携を締結	29		
12	菅平高原いちかわ村を増改築	29		
1990(平成2) 1	第40回記念大会の元旦マラソン大会を開催	60	3	国土庁が1990年地価公示価格を公表。地価高騰が全国に波及
2	東京湾臨海地域に立地する県内主要企業と県および関係6市町が公害防止協定の新細目協定を締結	2		
2	19t級消防艇「ちどり」を沿岸及び海上等の災害に対応するため東消防署高谷分遣所(市川港)に配置	4		
3	京葉線の東京～新木場間が開通し、東京～蘇我間が全線開通	2		
4	市民談話室を建替え開室	29		
5	南行徳公民館が開館	30		
5	中央公民館を増改築し、開館	30		
	市川市洋上教室を北海道標茶町を訪問地として開催	30		
10	寝たきりのお年寄り対象に訪問歯科診療を開始	30		
1991(平成3) 3	北総開発鉄道が全線開通し、大町駅・北国分駅・松飛台(松戸市)駅が開業	30	6	長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流発生
5	市川公民館が開館	30	6	東北・上越新幹線の上野～東京間が開通
9	都営新宿線の本八幡駅が本開業	141		
11	市川市・船橋市沖の浅瀬・三番瀬の埋立て問題を考えるシンポジウムが開かれる	2		
11	女性センターができる	31		
1992(平成4) 3	真間川が千葉県から生活排水対策重点地域に指定される	142	9	国公立小中高校など、第2土曜日が休校になる

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1992(平成4)4	和洋女子大学附属国府台女子高等学校が和洋国府台女子高等学校と改称	86	11	救急救命士が誕生する
4	独居老人民間賃貸住宅家賃等助成事業を開始	31		
4	いちかわケーブルネットワークが開局	42		
1993(平成5)3	高齢者福祉住宅が完成	42	7	北海道南西沖地震発生
4	三番瀬の大規模開発について審議する県環境会議の初会合が開かれる	2		法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)、姫路城(兵庫県)が、世界文化遺産に登録
6	市川市長が県知事に東京外環状道路建設計画の受け入れを表明	33		屋久島(鹿児島県)、白神山地(青森県・秋田県)が世界自然遺産に登録
6	市川市役所が完全週休二日制を導入	32		
6	「自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例」を施行し、一部駐輪場を登録有料制にする	33		
7	「市川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の施行により、市川市廃棄物減量等推進審議委員会を設置	33		
10	動植物園に観賞植物園を開園	33		
	信篤市民体育館トレーニング棟が完成	60		
1994(平成6)2	地震対策の見直しにともない、臨時消防署を4ヶ所増設し19ヶ所とする	4	6	長野県松本市の住宅地で有毒ガスがまかれる(松本サリン事件)
3	香取デサービスセンターができる	33	9	関西国際空港が開港
3	国分川分水路の供用開始	143	10	大江健三郎がノーベル文学賞を受賞
4	一時介護料助成制度を開始	33		古都京都の文化財(京都府)が世界文化遺産に登録
4	市川クリーンセンターの開設に伴い、ゴミ分別収集の方法を変更	33		
4	青少年補導センターを少年センターと改称	33		
4	通年で不法看板撤去作業を開始	33		
6	県立現代産業科学館が市川市に開館	2		
7	建設省・千葉県・松戸市・市川市の四者による「東京外かく環状道路計画調整協議会」を設置	144		
7	菅野に外かん相談所(後の外環市川相談所)開設	144		
9	市川図書館友の会ができる	59		
11	生涯学習センター(メディアパーク市川)が開館し、市川市中央図書館、こどもとしょかんが1階に開館	59		
11	「クリーン・グリーン都市」を宣言	34		
1995(平成7)3	行徳警察署開署	34	1	兵庫県南部地震〔阪神・淡路大震災〕発生
4	千葉・松戸・船橋・市川・柏の県北西部5都市が災害時などにゴミ処理を分担し合う県内初の広域的相互支援実施協定を締結	2	3	東京の営団地下鉄内で猛毒のサリンがまかれる(地下鉄サリン事件)
6	市川リサイクルプラザができる	34		白川郷・五箇山の合掌造り集落(富山県・岐阜県)が世界文化遺産に登録
9	中央図書館第1回リサイクルブック市を開催	59		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1996(平成8) 1	県が印旛沼・手賀沼・江戸川左岸の県内3流域下水道を連絡幹線で結ぶ計画を発表	2		原爆ドーム(広島県)、厳島神社(広島県)が世界文化遺産に登録
3	公共下水道の併用開始に伴い不要となった浄化槽を、震災対策として災害時の防火水槽として使用するため、民間のマンションなどの所有者と協定を締結	4		
3	市川市読書会連絡協議会が解散	59		
4	東葉高速鉄道の西船橋～東葉勝田台間が開通し、東西線と相互乗り入れが開始	2		
4	急病診療所の夜間診療を365日体制で実施	35		
6	南八幡および中山デイサービスセンターができる	36		
10	し尿くみ取り有料化	36		
10	中央図書館が第12回日本図書館協会建築賞を受賞	59		
	学校週5日制スポーツ教室開始	60		
1997(平成9) 3	北消防署大野分遣所が開所	4	3	秋田新幹線開業
4	コンビニエンスストアでの住民票受け渡しサービスを開始	2	10	長野新幹線(北陸新幹線・大宮～長野間)開業
4	斎場分館塩浜式場が開場	36	11	北海道拓殖銀行が破綻
4	容器包装リサイクル法に基づく資源回収を開始	36	11	山一証券が破綻
4	市図書館と千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業を開始	59		
4	葛南病院が浦安市川市民病院と改称	37		
5	市川市にある県血清研究所がインフルエンザ予防の新型接種法を開発	2		
7	要介護の高齢者・障害者のため24時間巡回型ホームヘルプサービスのモデル事業を開始	2		
9	市川市ホームページを開設	59		
11	市川市長選挙が行われ、千葉光行が新市長となる	37※		
11	南行徳市民センターを開設	37		
1998(平成10) 2	「市川市公文書公開条例」を制定	37	2	長野冬季オリンピック開催
4	『広報いちかわ』の発行を月2回から月4回に変更	37	4	明石海峡大橋が開通し、本四連絡橋神戸～鳴門ルート全線開通
6	国府台小学校の1階にデイサービスセンターができる	210		古都奈良の文化財(奈良県)が世界文化遺産に登録
9	保健医療福祉センター(リハビリパーク)ができる	38		
1999(平成11) 3	県主催の三番瀬シンポジウムが市川市で開催される	2		日光の社寺(栃木県)が世界文化遺産に登録
3	市立伝染病隔離病舎を廃止	38		
6	図書館の夜間開館を試行	59		
10	家庭ゴミの指定袋制・大型ゴミ収集の有料化を開始	39		
10	いちかわファミリー・サポート・センター事業を開始	39		
	行徳小・塩焼小学校から分離し、妙典小学校が開校	239※		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
1999(平成11)	行徳可動堰の改修問題を話し合う行徳可動堰懇談会が発足	145		
2000(平成12)	1 第50回元旦マラソン記念大会を開催	60	4	介護保険制度スタート
	1 東西線に妙典駅が開業	39	9	三宅島の火山活動活発化、全島民に避難指示発令
	3 千葉県競輪組合が解散	42	10	白川秀樹がノーベル化学賞を受賞
	4 消防防災体制の一元化を図るため、市長部局にあった防災課を消防局に移管し、2部7課4署6出張所となる	4		琉球王国のグスク及び関連遺産群(沖縄県)が世界文化遺産に登録
	4 新衛生処理場ができる	41		
	4 市の人口が45万人を超える	42		
	9 消防の4署6出張所の計10か所で住民票の取次業務を開始	4		
	10 福栄・塩焼・大柏・稲越の4つの市民図書室と大野・西部の2つの公民館図書室に、図書館システムのパソコンを設置し予約図書の貸出を開始	59		
2001(平成13)	3 市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催	59	1	中央省庁再編、1府12省庁スタート
	4 江戸川サイクリングロードが開通	42	9	アメリカで同時多発テロ発生
	5 広報いちかわ日曜版『フォーラムアイ』を創刊	41	10	野依良治がノーベル化学賞を受賞
	5 中山文化村が開園	42		
	8 三番瀬保全の新しい計画策定に向け、県が地元住民らの意見を聞く第1回三番瀬シンポジウムを市川市で開催	2		
	9 千葉県が三番瀬埋立て中止を正式に表明	2		
	9 市川全域を対象とするまちの相談直行便を設置	41		
2002(平成14)	4 湊新田保育園が開園	42	1	EUの共通通貨ユーロ流通開始
	5 いちかわ情報プラザができる	41	4	学習指導要領改訂によりゆとり教育がスタート
	5 水木洋子市民サポーターの会ができる	146	5	サッカー日韓ワールドカップが開幕
	6 市議会のインターネット中継を開始	42	8	健康増進法公布
	8 住民基本台帳ネットワークを開始	42	8	住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)稼働
	9 千葉県が市川市にある血清研究所を閉所	2	10	小柴昌俊がノーベル物理学賞を、田中耕一がノーベル化学賞を受賞
	9 うずしお読書会が社会法人読書推進運動協議会より、2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される	59		
	10 ごみの12分別収集を開始	42		
	11 市議会議員の定数を42人とする「市川市議会議員定数条例」を制定	42		
	11 図書館が図書・雑誌のインターネットからの予約受付を開始	59		
	12 「市川市男女平等基本条例」を制定	43		
	12 妙典公園が開園	67		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
2003(平成15) 2	市川市開発協会が解散	42	4	郵政三事業を国営から公社化、日本郵政公社発足
	4 妙典保育園が開園	42	5	個人情報の保護に関する法律公布
	9 県内初の「市川市市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例（通称・市民マナー条例）」を制定	43	5	健康増進法が施行され、県内では京成・東武・新京成・北総の私鉄各線の駅で喫煙が完全に禁止される
	12 「市川市工業地域等における大型マンション等建築事業の施行に係る事前協議の手続等の特例に関する条例」を制定	43	7	成田国際空港株式会社法公布
	大町の道路に公募で梨街道という名称がつけられる	302		
	東京エアカーゴターミナル（TACT）が解散	147		
2004(平成16) 1	三番瀬再生計画検討会議（三番瀬円卓会議）が三番瀬再生計画案をまとめ、県に提出	2	3	九州新幹線の新八代～鹿児島中央間開通
	4 消防局の防災課を市長部局に移管し、2部6課4署6出張所となる	4	4	営団地下鉄が民営化、東京地下鉄（東京メトロ）発足
	4 大洲防災公園が開園	43	10	新潟県中越地震発生
	6 路上禁煙の罰金徴収を開始	2	11	1万円(福沢諭吉)・5,000円(樋口一葉)・1,000円(野口英世)の新札発行
	6 中央公民館菅野分館（菅野公民館の前身）が開館	44	12	スマトラ沖地震発生
	7 2004年度の市川市職員採用試験から、1人あたり1,000円の受験料を導入すると発表	2		紀伊山地の霊場と参詣道（三重県・奈良県・和歌山県）が世界文化遺産に登録
	7 ドイツ連邦共和国バイエルン州ローゼンハイム市とパートナーシティを締結	44		
	9 第七中学校に併設する行徳ふれあい施設が竣工	246		
	9 芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー・郭沫若記念館が開館	44		
	10 大洲防災公園の隣接地に西消防署新田出張所を移設し、西消防署大洲出張所として開所	4		
	10 大洲防災公園に隣接して急病診療所・ふれあいセンターができる	44		
	10 市川市行徳公会堂（行徳文化ホールI&I）・市川七中行徳ふれあい施設が開館	44		
	11 「WHO憲章の精神を尊重した『健康都市いちかわ』」を宣言	44		
2005(平成17) 4	こども発達センターができる	44	2	中部国際空港が愛知県常滑市沖に開港
	4 「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞	59	3	万国博覧会「愛・地球博」が愛知県で開催
	4 市民（納税者）が選ぶ市民活動団体支援制度（1％支援制度）を開始	44	10	日本道路公団など道路関係四公団民営化

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
2005(平成17) 7	第1回健康都市連合日本支部大会を開催	45		知床(北海道)が世界自然遺産に登録
8	2005千葉きらめき総体(全国高等学校総合体育大会)、市川市では女子ハンドボール競技が行われる	45		
9	千葉商科大学で全国地下水サミット2005を開催	45		
10	「市川市防犯カメラの適正な設置及び利用に関する条例」に基づき駅周辺の街頭などに防犯カメラを設置	45		
10	千葉商科大学と協定を締結し、市立図書館の予約図書を受取を同大学付属図書館で開始	59		
10	教育センターのまなびの広場を改修し、文学プラザとして開館	59		
10	コミュニティバス社会実験運行を開始	45		
11	東山魁夷記念館が開館	45		
11	松の実学園を改修し、市川こども館として開館	45		
2006(平成18) 4	千葉県立高等学校再編計画により県立市川工業高等学校と県立葛南工業高等学校が統合、全日制課程と定時制課程を併置する千葉県立市川工業高等学校となる	87		
4	総合型地域スポーツクラブである市川スポーツガーデン国府台(ISG)が開館	45		
4	青葉少年スポーツ広場が開場	45		
5	いちかわ景観100選が決まる	46		
8	青少年館を地域ふれあい館としてリニューアル	46		
12	「市川市男女共同参画社会基本条例」を制定	46		
2007(平成19) 4	市川スポーツガーデン塩浜が開館	46	7	新潟県中越沖地震発生
4	学校教育法一部改正に伴い市川市立養護学校を市川市立特別支援学校(現・須和田の丘支援学校)に、千葉県立市川養護学校を千葉県立市川特別支援学校と改称	258※	10	郵政民営化により、日本郵政公社が解散し、日本郵政グループ各社が発足
6	大柏川第一調節池緑地が開園	47		石見銀山遺跡とその文化的景観(島根県)が世界文化遺産に登録
8	「市川の梨」および「市川のなし」が地域団体商標登録を受ける	303		
9	クリーンスバ市川ができる	47		
2008(平成20) 4	市川市立特別支援学校が須和田の丘支援学校に名称を改め、小学部が稲越小学校内に移転し、稲越校舎を開校する	235※	6	東京地下鉄副都心線の池袋～渋谷間開通
7	和洋女子大学の資料を市立図書館で貸借可能とする相互協力を締結	59	9	リーマンブラザーズ経営破綻
10	第1回の還暦式を開催	48	10	下村脩がノーベル化学賞を受賞
10	第3回健康都市連合国際大会が開催され、健康都市市川宣言を発信	48	10	岐阜県に、国内最大級となるダム(徳山ダム)が完成
12	市川駅行政サービスセンターを開設	48	12	小林誠・益川敏秀・南部陽一郎がノーベル物理学賞を受賞
2009(平成21) 4	鬼越老人いこいの家ができる	48	8	裁判員制度による初の裁判が始まる

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
2009(平成21) 4	中央図書館および行徳図書館の祝日開館などを実施	59	9	国際宇宙ステーションで日本が担当する実験棟「きぼう」が24年かけて完成
4	市川駅南口図書館が開館	49		
4	浦安市川市民病院が民営化、東京ベイ・浦安市川医療センターとなる	48		
8	国道298号東京外かく環状道路国道部（外環）の稲荷木2丁目～高谷間が暫定2車線で開通	49		
10	アイ・リンクタウンいちかわ展望施設ができる	49		
11	いちかわ観光・物産案内所を開所	49		
11	平和市長会議に加盟	49		
12	市川市長選挙が行われ、大久保博が新市長となる	49		
2010(平成22) 2	コンビニエンスストアでの住民票の写し、印鑑証明書取得サービスを開始	50	1	日本年金機構が発足
3	アイ・リンクタウンいちかわ街開き	50	6	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
4	南消防署広尾出張所が開所	4		各地で猛暑、熱中症患者相次ぐ
4	広尾防災公園が開園	49	10	鈴木章・根岸英一がノーベル化学賞を受賞
5	市長目安箱を設置	49	10	新国際ターミナルが併用開始、羽田空港国際ターミナル駅が開業
7	市内経済活性化のため経済対策担当理事を公募により採用	50	12	東北新幹線の八戸～新青森間開通
9	第65回国民大会「ゆめ半島千葉国体」開催、市川市ではハンドボール競技が行われる	50		
10	市政戦略会議を設置し、本市初の事業仕分けを実施	50		
	大和田に外環相談所ができる	133		
2011(平成23) 1	市民マナー条例キャラクターを「マナりん」と命名	50	3	東北地方太平洋沖地震「東日本大震災」発生
3	東日本大震災が発生し、災害対策本部および被災地・被災者支援対策本部を設置	50	6	小笠原諸島（東京都）が世界自然遺産に登録
4	県立市川北高等学校と県立市川西高等学校が統合し、旧市川西高等学校校舎に県立市川北高等学校が開校	92	7	FIFA女子ワールドカップドイツ大会で、サッカー日本女子代表が初優勝
4	菅野公民館が開館	54	7	テレビ放送が地上デジタル放送に完全移行
6	「ガーデニングシティいちかわ」を開始	50		平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群（岩手県）が世界文化遺産に登録
6	市川市公式ツイッターを配信開始	50		
7	節電避暑地キャンペーン開始	51		
9	ローズいちかわ商品券を販売	51		
10	「ガーデニングコンテスト」および「まちなかガーデニングフェスタ（オープンガーデン）」を開催	51		
11	国府台小学校が「優れた地域による支援活動」文部科学大臣表彰を受賞	210		
12	北消防署を大野消防訓練場用地に新築移転	4		

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
2011(平成23) 12	旧北消防署を北消防署曾谷出張所と改称、大野出張所を廃止	4		
12	アイ・リンクタウンいちかわ展望施設の来場者が50万人を突破	51		
2012(平成24) 3	震災がれき受け入れを表明	51	5	東京スカイツリーが開業
4	県立特別支援学校市川大野高等学園が開校	98	10	山中伸弥がノーベル生理学・医学賞を受賞
4	コンビニエンスストアで新たに戸籍の証明書、税の各種証明書取得サービスを開始	51		
5	葛飾区と防災協定を締結	51		
9	ロンドン五輪フェンシング男子フルーレ団体が銀メダルを獲得した市川市出身の三宅諒選手に市民栄誉賞を授与	52		
10	フランス共和国イッシー・レ・ムリノー市とパートナーシティを締結	52		
11	市民の花であるバラをモチーフにした和洋菓子いichかわバラ物語を発表	52		
11	行徳水辺の杜公園が開園	67		
2013(平成25) 2	市川市公式フェイスブックの運用を開始	52	9	2020年オリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定する
4	クレジットカードでの市川市の税金・料金納付を開始	52	11	小笠原諸島西之島付近で海底火山が噴火し新島が出現
4	市川市初の女性副市長が誕生	53		富士山―信仰の対象と芸術の源泉（静岡県・山梨県）が世界文化遺産に登録
7	公設文学館として県内2番目となる文学ミュージアムが開館	53		
9	本八幡再開発A地区の住居棟と業務棟が完成	53		
11	ガーデニングシティいichかわのオリジナルキャラクターの名称が「クロロ」と「バララ」に決定	53		
11	コンビニ防犯ボックスが南大野にできる	53		
	市川市ガーデニング・ボランティアを創設	111		
2014(平成26) 1	雷下遺跡で国内最古、約7,500年前の丸木舟が発見される	54	9	御嶽山が噴火
3	市立稲荷木幼稚園が開園	216	10	赤崎勇、天野浩、中村修二がノーベル物理学賞を受賞
4	市立小中学校55校で校内塾・まなびくらぶを新設	54		富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県）が世界文化遺産に登録
9	国分川調節池緑地が開園	67		
10	中村家住宅が市内で6番目の国登録有形文化財となる	54		
10	市川市のシンボルマークとキャッチフレーズが決定	54		
11	市制施行80周年を迎え、市川市写真図録『この街に生きる、暮らす』を刊行	54		
	堤防整備と併せて行徳橋の架け替え工事に着工	113		
2015(平成27) 3	市川市道ネーミングライツパートナー契約の締結により「アーセナル通り」「ニッケルコルトンプラザ通り」が誕生	55	3	北陸新幹線の長野～金沢間開通
4	塩浜小学校・塩浜中学校を再編し、小中一貫校・塩浜学園が開校	257※	9	安全保障関連法が成立

西暦(和暦)月	市川市域のできごと	出典	月	世の中の主なできごと
2015(平成27) 10	東山魁夷記念館が開館10周年、来館者30万人を達成	55	10	大村智がノーベル生理学・医学賞、梶田隆章がノーベル物理学賞を受賞
11	市川駅・妙典駅・北国分駅でイルミネーションによる光の景観を創出	55		明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（岩手県・静岡県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県）が世界文化遺産に登録
2016(平成28) 1	スマートフォン・タブレット端末用アプリ「i広報紙」（のちに「マチイロ」に改称）での『広報いちかわ』の配信開始	56	1	日銀、マイナス金利の初導入を決定
3	パートナーシティを締結しているフランスのイッシー・レ・ムリノー市に、市川市が技術指導した日本式庭園が完成	56	3	北海道新幹線の新青森～新函館北斗間開業
4	小中一貫校の塩浜学園が県内初の義務教育学校・市川市立塩浜学園となる	257	4	熊本地震発生
6	市川市公式インスタグラムを運用開始	56	10	大隅良典がノーベル生理学・医学賞を受賞
7	市川市パスポートセンターができる	56		ル・コンピュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献（東京都・ほか海外）が世界文化遺産に登録
11	都市計画道路3・4・18号（浦安鎌ヶ谷線）が全線開通	56		

※は記載資料のほかに、複数の資料の情報を出典としている。

本年表は、資料編としての性格を考慮し、本書に関わる事項を中心に採録しました。そのため、必ずしも網羅的な内容とはなっていないことをお断りいたします。

出典一覧

出典番号	出典資料
1	市川市教育委員会編『市川―市民読本〔改訂版〕』、市川市教育委員会、1979年
2	財団法人 千葉県史料研究財団編『千葉県の歴史』、千葉県、2009年
3	市立市川市歴史博物館編『行徳レポート その(1)』、市立市川市歴史博物館、1989年
4	市川市消防局『消防年報 2017年版』、市川市消防局、2018年
5	日本電信電話公社市川電報電話局編『市川の電信電話のあゆみ』、日本電信電話公社市川電報電話局、1977年
6	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和42年版』、市川市議会事務局、1967年
7	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和43年版』、市川市議会事務局、1968年
8	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和44年版』、市川市議会事務局、1969年
9	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和45年版』、市川市議会事務局、1970年
10	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和46年版』、市川市議会事務局、1971年
11	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和47年版』、市川市議会事務局、1972年
12	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和48年版』、市川市議会事務局、1973年
13	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和49年版』、市川市議会事務局、1974年
14	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和50年版』、市川市議会事務局、1975年
15	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和51年版』、市川市議会事務局、1976年
16	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和52年版』、市川市議会事務局、1977年
17	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和53年版』、市川市議会事務局、1978年
18	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和54年版』、市川市議会事務局、1979年
19	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和55年版』、市川市議会事務局、1980年
20	市川市議会事務局編『市勢概要 昭和56年版』、市川市議会事務局、1981年
21	市川市議会事務局編『市政概要 昭和57年版』、市川市議会事務局、1982年
22	市川市議会事務局編『市政概要 昭和58年版』、市川市議会事務局、1983年
23	市川市議会事務局編『市政概要 昭和59年版』、市川市議会事務局、1984年
24	市川市議会事務局編『市政概要 昭和60年版』、市川市議会事務局、1985年
25	市川市議会事務局編『市政概要 昭和61年版』、市川市議会事務局、1986年
26	市川市議会事務局編『市政概要 昭和62年版』、市川市議会事務局、1987年
27	市川市議会事務局編『市政概要 昭和63年版』、市川市議会事務局、1988年
28	市川市議会事務局編『市政概要 平成元年版』、市川市議会事務局、1989年
29	市川市議会事務局編『市政概要 平成2年版』、市川市議会事務局、1990年
30	市川市議会事務局編『市政概要 平成3年版』、市川市議会事務局、1991年
31	市川市議会事務局編『市政概要 平成4年版』、市川市議会事務局、1992年
32	市川市議会事務局編『市政概要 平成5年版』、市川市議会事務局、1993年
33	市川市議会事務局編『市政概要 平成6年版』、市川市議会事務局、1994年
34	市川市議会事務局編『市政概要 平成7年版』、市川市議会事務局、1995年
35	市川市議会事務局編『市政概要 平成8年版』、市川市議会事務局、1996年
36	市川市議会事務局編『市政概要 平成9年版』、市川市議会事務局、1997年
37	市川市議会事務局編『市政概要 平成10年版』、市川市議会事務局、1998年
38	市川市議会事務局編『市政概要 平成11年版』、市川市議会事務局、1999年
39	市川市議会事務局編『市政概要 平成12年版』、市川市議会事務局、2000年
40	市川市議会事務局編『市政概要 平成13年版』、市川市議会事務局、2001年
41	市川市議会事務局編『市政概要 平成14年版』、市川市議会事務局、2002年
42	市川市議会事務局編『市政概要 平成15年版』、市川市議会事務局、2003年
43	市川市議会事務局編『市政概要 平成16年版』、市川市議会事務局、2004年
44	市川市議会事務局編『市政概要 平成17年版』、市川市議会事務局、2005年
45	市川市議会事務局編『市政概要 平成18年版』、市川市議会事務局、2006年
46	市川市議会事務局編『市政概要 平成19年版』、市川市議会事務局、2007年
47	市川市議会事務局編『市政概要 平成20年版』、市川市議会事務局、2008年
48	市川市議会事務局編『市政概要 平成21年版』、市川市議会事務局、2009年
49	市川市議会事務局編『市政概要 平成22年版』、市川市議会事務局、2010年
50	市川市議会事務局編『市政概要 平成23年版』、市川市議会事務局、2011年
51	市川市議会事務局編『市政概要 平成24年版』、市川市議会事務局、2012年
52	市川市議会事務局編『市政概要 平成25年版』、市川市議会事務局、2013年
53	市川市議会事務局編『市政概要 平成26年版』、市川市議会事務局、2014年
54	市川市議会事務局編『市政概要 平成27年版』、市川市議会事務局、2015年
55	市川市議会事務局編『市政概要 平成28年版』、市川市議会事務局、2016年

出典番号	出典資料
56	市川市議会事務局編『市政概要 平成29年版』、市川市議会事務局、2017年
57	社会福祉法人八幡法人八幡学園六十周年記念誌編『社会福祉法人八幡学園創立六十周年記念誌』、八幡学園、1988年
58	百年史編纂室編『日本毛織百年史』、日本毛織、1997年
59	市川市立図書館編『市川市の図書館 2016』、市川市立図書館、2016年
60	市川市体育協会編『市川市体育協会五十年史』、市川市体育協会、2000年
61	市立市川歴史博物館編『戦時下の市川市域』、市立市川歴史博物館、1997年
62	企画部広報広聴課編『広報いちかわ』276号（昭和49年10月1日付）、市川市、1974年
63	市川市史編纂委員会編『市川市史 第3巻』、市川市、1975年
64	浦安市教育委員会編『浦安市文化財報告第9集・水に囲まれたまち』浦安市教育委員会、1996年
65	江戸川区編『江戸川区史』、江戸川区、1976年、
66	市川市総務部庶務課編『市川市統計年鑑 昭和46年版』、市川市総務部庶務課、1971年
67	市川市水と緑の部公園緑地課資料「都市公園一覧（平成29年4月1日現在）」
68	建設省関東地方建設局江戸川工事事務所企画制作『江戸川改修の記録工写真集』、建設省関東建設局江戸川工事事務所、1985年
69	千葉鉄道管理局編『千葉鉄道管理局史』、千葉鉄道管理局、1963年
70	市川市・市川市議会・外環連合編『外環道路反対運動十年の記録』、市川市・市川市議会・外環連合、1981年
71	川蒸気合同展実行委員会編『川の上の近代』、川蒸気合同展実行委員会、2007年
72	高橋功『解説 陸軍国府台部隊』、高橋功、2005年
73	東台開拓三十年誌編纂委員会編『東台開拓三十年誌』、東台開拓三十年誌編纂委員会、1977年
74	全日空30年史編纂委員会編『限りなく大空へ・全日空の30年 資料編』、全日本空輸、1983年
75	京成電鉄株式会社総務部編『京成電鉄85年の歩み』、京成電鉄株式会社、1996年
76	『千葉日報』（1968年5月9日付）
77	鈴木和明『行徳郷土史事典』、文芸社、2003年
78	声の教育社編集部『2019年度用 千葉県高校受験案内』、声の教育社、2018年
79	鈴木和明『明解行徳の歴史大事典』、文芸社、2005年
80	歴史学研究会編『日本史年表』、岩波書店、1966年
81	高柳光寿・竹内理三編『角川日本史辞典 第二版』、角川書店、1966年
82	『2015 SCHOOL GUIDE 国府台女子学院』、国府台女子学院、2014年
83	市川学園五十年の歩み編纂委員会編『市川学園五十年の歩み』、市川学園、1987年
84	昭和学院七十年史編纂委員会編『昭和学院七十年史』、学校法人昭和学院、2010年
85	日出国園五十年誌編纂委員会編『日出国園五十年誌』、日出国園、1984年
86	和洋国府台女子中学校高等学校創設五十周年記念誌編纂委員会編『和洋国府台女子中学校高等学校創設五十周年記念誌』和洋国府台女子高等学校・和洋国府台女子中学校、2000年
87	千葉県立市川工業高等学校編『平成28年度学校要覧 千葉県立市川工業高等学校』、千葉県立市川工業高等学校、2016年
88	『平成28（2016）年度学校要覧 千葉県立国府台高等学校』、千葉県立国府台高等学校、2016年
89	『平成30年度学校要覧 千葉県立国分高等学校』、千葉県立国分高等学校、2018年
90	『平成30年度学校要覧 千葉県立市川東高等学校』、千葉県立市川東高等学校、2018年
91	千葉県立行徳高等学校編『平成28（2016）年度定時制課程普通科（学校要覧 千葉県立行徳高等学校）』、千葉県立行徳高等学校、2016年
92	『平成30年度学校要覧 千葉県立市川昂高等学校』、千葉県立市川昂高等学校、2018年
93	『平成30年度学校要覧 千葉県立市川南高等学校』、千葉県立市川南高等学校、2018年
94	下総国分寺 江戸川三体地藏由来碑
95	三好好三『総武線120年の軌跡』、JTBパブリッシング、2014年
96	江戸川区編『江戸川区二十年』、江戸川区、1969年
97	『平成30年度学校要覧 千葉県立市川特別支援学校』、千葉県立市川特別支援学校、2018年
98	『平成29年度学校要覧 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園』、千葉県立特別支援学校市川大野高等学園、2017年
99	東京医科歯科大学創立50年記念誌編纂委員会編『東京医科歯科大学創立50年記念誌』、東京医科歯科大学、1978年
100	村越博茂「近代移行期における蒸気船就航に伴う「行徳船」の終焉」『交通史研究』91号、2017年
101	「大柏青年団報」第二号、大柏青年団、1920年（板橋稔夫氏蔵）
102	『東京朝日新聞』（1905年1月22日付）
103	佐藤信之「人が汽車を押した頃」、崙書房、1986年
104	市立市川歴史博物館編『松井天山の鳥瞰図と市川市域』、市立市川歴史博物館、2015年
105	市立市川歴史博物館編『市川市の石造図』、市立市川歴史博物館、2008年
106	京成電鉄社史編纂委員会編『京成電鉄五十五年史』、京成電鉄、1967年
107	日本毛織社史編纂室編『日本毛織六十年史』、日本毛織、1957年
108	市川市農業共同組合編『いちかわの梨』、市川市、1968年

出典番号	出典資料
109	『市川市学事要覧 昭和15年度』市川市役所、1940年
110	鉄道省編『全国乗合自動車総覧』、鉄道公論社、1934年
111	「市川市ガーデニングボランティアに関する要項」
112	鉄道省編『全国乗合自動車総覧』、鉄道公論社、1934年
113	国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所江戸川河口出張所『江戸川河口だより』第58号、2017年
114	千葉県立国府台高等学校校史編纂係編『創立四十周年記念誌』、千葉県立国府台高等学校、1985年
115	田中由紀子『幻の大学から軍都への記憶-国府台の地域誌-』、萌文社、2017年
116	『千葉血清のあゆみ』、千葉県血清研究所、1977年
117	市川市史年表編集委員会編『市川市史年表』、市川市、1977年
118	『市川善行会なづな』、市川善行会、2019年3月31日付
119	小川信雄「船橋高校の歴史(12)－定時制課程日毛分教室－」『千葉県立船橋高等学校同窓会だより』第18号、2005年
120	石川好数編『日本漁民闘争史年表』、漁民研究会、1972年
121	市川市史編纂委員会編『市川市史 第4巻』、市川市、1975年
122	『市川市広報』第85号(1958年11月1日号)
123	山岡寛章編「まつかぜ」第10号、市川市立図書館、1959年
124	野口雪雄編著『私たちの真間川－改修促進期成会の歩み』、京葉市民新聞社、1976年
125	うずしお読書会編『うずしお1000回記念誌』、うずしお読書会、2003年
126	渡辺新「都市近郊農業と果樹園経営の展開－市川市域における 苺・蓮根・梨栽培の展開」『国府台経済研究』第15巻3号、千葉商科大学、2004年
127	市川市芸術文化団体協議会編『市川市芸術文化団体要覧』、市川市芸術文化団体協議会、2003年
128	南條信義「市川博物館友の会とその活動」『MUSEUMちば 千葉県博物館協会研究紀要』、32号、2001年
129	市川市議会編『市川市議会定例会会議録 平成29年2月』、市川市、2017年
130	真間川流域研究会編『真間川界隈』第1号、真間川流域研究会、1982年
131	企画部広報広聴課編『広報いちかわ』350号(昭和54年8月15日付)、市川市、1979年
132	千葉県土木部都市河川課編『真間川－いつまでも愛される真間川』、千葉県土木部都市河川課・千葉県真間川改修事務所、1999年
133	建設省関東地方建設局首都国道事務所編『みどりの道』45号、建設省関東地方整備局首都国道事務所、2010年
134	『京葉市民新聞』1305号(1982年10月25日付)
135	千葉県土木史編纂作業部会編『千葉県土木史』、千葉県土木整備部県土整備政策課、2007年
136	市川市編『三番瀬の再生に向けて』、市川市、2003年
137	真間川流域総合治水対策協議会編『真間川流域整備計画』、真間川流域総合治水対策協議会、2004年
138	『事業概要 平成7年度』、千葉県真間川改修事務所、1995年
139	田渕俊雄「水田と環境問題」『農業土木学会誌』59巻11号、社団法人農業農村工学会、1991年
140	『市議会だより』72号(1988年2月2日付)
141	東京都交通局編『都営交通100年のあゆみ』、東京都交通局、2011年
142	『第三次市川市生活排水対策推進計画』、市川市、2013年
143	『一級河川利根川水系国分川分水路 坂川(下流)』、千葉県・松戸市
144	建設省関東地方建設局首都国道事務所編『みどりの道』16号、建設省関東地方建設局首都国道事務所、1994年
145	市川市議会事務局編『市川市議会定例会会議録 平成13年9月』、市川市、2001年
146	市川市水木洋子市民サポーターの会編『水木洋子とともに 市民サポーターの会10年のあゆみ』、市川市水木洋子市民サポーターの会、2014年
147	『朝日新聞』(2003年11月26日付)

◆市川市教育センター所蔵資料(№201－258)

201	「平成30年度 学校要覧(市川小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
202	「平成30年度 学校要覧(真間小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
203	「平成30年度 学校要覧(中山小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
204	「平成30年度 学校要覧(八幡小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
205	「平成30年度 学校要覧(国分小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
206	「平成30年度 学校要覧(大柏小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
207	「平成30年度 学校要覧(宮田小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
208	「平成30年度 学校要覧(富貴島小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
209	「平成30年度 学校要覧(若宮小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
210	「平成30年度 学校要覧(国府台小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
211	「平成30年度 学校要覧(平田小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
212	「平成30年度 学校要覧(鬼高小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年
213	「平成30年度 学校要覧(菅野小学校)」	『(綴)平成30年度学校要覧』所収、2018年

出典番号	出典資料
214	「平成30年度 学校要覧（行徳小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
215	「平成30年度 学校要覧（信篤小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
216	「平成30年度 学校要覧（稲荷木小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
217	「平成30年度 学校要覧（南行徳小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
218	「平成30年度 学校要覧（鶴指小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
219	「平成30年度 学校要覧（宮久保小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
220	「平成30年度 学校要覧（二俣小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
221	「平成30年度 学校要覧（中国分小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
222	「平成30年度 学校要覧（曾谷小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
223	「平成30年度 学校要覧（大町小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
224	「平成30年度 学校要覧（北方小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
225	「平成30年度 学校要覧（新浜小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
226	「平成30年度 学校要覧（百合台小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
227	「平成30年度 学校要覧（富美浜小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
228	「平成30年度 学校要覧（柏井小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
229	「平成30年度 学校要覧（大洲小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
230	「平成30年度 学校要覧（幸小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
231	「平成30年度 学校要覧（新井小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
232	「平成30年度 学校要覧（南新浜小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
233	「平成30年度 学校要覧（大野小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
234	「平成30年度 学校要覧（塩焼小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
235	「平成30年度 学校要覧（稲越小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
236	「平成25年度 学校要覧（塩浜小学校）」『（綴）平成25年度学校要覧』所収、2013年
237	「平成30年度 学校要覧（大和田小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
238	「平成30年度 学校要覧（福栄小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
239	「平成30年度 学校要覧（妙典小学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
240	「平成30年度 学校要覧（第一中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
241	「平成30年度 学校要覧（第二中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
242	「平成30年度 学校要覧（第三中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
243	「平成30年度 学校要覧（第四中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
244	「平成30年度 学校要覧（第五中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
245	「平成30年度 学校要覧（第六中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
246	「平成30年度 学校要覧（第七中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
247	「平成30年度 学校要覧（第八中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
248	「平成30年度 学校要覧（下貝塚中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
249	「平成30年度 学校要覧（高谷中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
250	「平成25年度 学校要覧（福栄中学校）」『（綴）平成25年度学校要覧』所収、2013年
251	「平成30年度 学校要覧（東国分中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
252	「平成30年度 学校要覧（大洲中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
253	「平成30年度 学校要覧（大洲中学校夜間学級）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
254	「平成25年度 学校要覧（塩浜中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
255	「平成30年度 学校要覧（南行徳中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
256	「平成30年度 学校要覧（妙典中学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
257	「平成30年度 学校要覧（塩浜学園）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
258	「平成30年度 学校要覧（須和田の丘支援学校）」『（綴）平成30年度学校要覧』所収、2018年
◆ウェブサイト	
301	千葉県庁ホームページ「工業用水道事業の沿革と発展」 https://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/kykanri/kougyouyousui/gaiyou/enkaku.html (2019.09.22最終閲覧)
302	大町梨業組合ホームページ「大町梨街道とは？」 http://o-pear.net/what_road.html (2019.09.19最終閲覧)
303	市川市ホームページ「地域ブランド『市川の梨』」 http://www.city.ichikawa.lg.jp/res08/1111000053.html (2019.09.19最終閲覧)

統計

1. 町丁別人口

(1)1964(昭和39)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	62,549	195,907
国府台町	3,792	8,664
国府台町 1 丁目	2,140	3,468
国府台町 2 丁目	763	2,438
国府台町 3 丁目	889	2,758
根本町	527	1,795
市川町	7,822	21,518
市川町 1 丁目	1,797	4,212
市川町 2 丁目	641	2,077
市川町 3 丁目	873	2,957
市川町 4 丁目	1,710	4,061
市川町 5 丁目	2,801	8,211
真間町	3,280	10,202
真間町 1 丁目	1,061	3,185
真間町 2 丁目	1,036	3,342
真間町 3 丁目	628	2,039
真間町 4 丁目	555	1,636
新田町	3,754	10,586
新田町 1 丁目	697	2,163
新田町 2 丁目	1,494	3,926
新田町 3 丁目	713	2,213
新田町 4 丁目	850	2,284
平田町	1,987	6,467
平田町 1 丁目	654	2,036
平田町 2 丁目	708	2,373
平田町 3 丁目	625	2,058
大洲町	2,188	6,133
八幡町	8,417	24,716
八幡町 1 丁目	1,505	4,629
八幡町 2 丁目	1,103	3,520
八幡町 3 丁目	1,292	4,405
八幡町 4 丁目	1,004	3,546
八幡町 5 丁目	959	2,243
八幡町 6 丁目	1,653	4,011
八幡町 7 丁目	901	2,362
菅野町	5,108	16,081
菅野町 1 丁目	697	2,548
菅野町 2 丁目	860	2,805
菅野町 3 丁目	1,571	4,919
菅野町 4 丁目	324	765
菅野町 5 丁目	557	1,813
菅野町 6 丁目	1,099	3,231
宮久保町	1,074	3,677
鬼越町	1,381	4,451
鬼越町 1 丁目	733	2,224
鬼越町 2 丁目	648	2,227
鬼高町	2,601	4,261
高石神町	956	3,154
中山町	1,825	6,097
中山町 1 丁目	574	1,947
中山町 2 丁目	772	2,406
中山町 3 丁目	479	1,744
若宮町	2,367	8,554
若宮町 1 丁目	324	1,147
若宮町 2 丁目	520	1,607
若宮町 3 丁目	1,523	5,800
北方町	2,696	9,935
北方町 1 丁目	692	2,444

1964.12.31 現在

町 名	世帯数	人口
北方町 2 丁目	752	2,623
北方町 3 丁目	910	3,513
北方町 4 丁目	342	1,355
国分町	1,014	3,452
中国分町	319	1,135
北国分町	663	2,493
須和田町	1,322	4,408
須和田町 1 丁目	549	1,907
須和田町 2 丁目	773	2,501
稲越町	83	465
曾谷町	1,286	4,117
下貝塚町	192	729
本行徳	1,441	5,308
関ヶ島	197	875
伊勢宿	183	792
下新宿	192	748
河原	600	1,968
大和田	339	1,163
稲荷木	566	2,123
下妙典	150	740
上妙典	184	874
田尻	154	742
高谷	139	763
原木	251	1,173
二俣	168	663
上下妙典	10	40
高谷新町	6	14
押切	228	1,149
湊	248	1,076
湊新田	204	939
香取	226	988
欠真間	201	841
相之川	609	2,368
新井	339	1,630
島尻	43	170
当代島飛地	1	4
大野町	487	2,231
大野町 1 丁目	90	331
大野町 2 丁目	126	564
大野町 3 丁目	145	701
大野町 4 丁目	126	635
柏井町	400	1,924
柏井町 1 丁目	152	662
柏井町 2 丁目	163	792
柏井町 3 丁目	37	206
柏井町 4 丁目	48	264
大町	289	1,286
奉免町	40	225

『市川市統計年鑑 昭和40年版』より作成

(2)1974(昭和49)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	95,174	301,952
国府台	2,315	8,525
国府台 1 丁目	341	1,876
国府台 2 丁目	269	677
国府台 3 丁目	505	1,596
国府台 4 丁目	356	1,071
国府台 5 丁目	605	1,990
国府台 6 丁目	239	1,315
市川	4,369	12,937
市川 1 丁目	930	2,920
市川 2 丁目	1,110	3,475
市川 3 丁目	1,646	4,759
市川 4 丁目	683	1,783
市川南	3,618	10,285
市川南 1 丁目	949	2,558
市川南 2 丁目	383	1,139
市川南 3 丁目	1,267	3,800
市川南 4 丁目	906	2,371
市川南 5 丁目	113	417
真間	3,463	9,531
真間 1 丁目	648	1,663
真間 2 丁目	955	2,846
真間 3 丁目	480	1,394
真間 4 丁目	656	1,614
真間 5 丁目	724	2,014
新田	4,913	13,282
新田 1 丁目	757	2,196
新田 2 丁目	1,611	4,139
新田 3 丁目	969	2,927
新田 4 丁目	1,021	2,351
新田 5 丁目	555	1,669
平田	3,083	8,823
平田 1 丁目	664	1,811
平田 2 丁目	655	2,010
平田 3 丁目	1,079	2,961
平田 4 丁目	685	2,041
大洲	3,378	9,934
大洲 1 丁目	860	2,468
大洲 2 丁目	772	2,560
大洲 3 丁目	831	2,561
大洲 4 丁目	915	2,345
大和田	2,915	8,934
大和田 1 丁目	341	1,037
大和田 2 丁目	337	1,085
大和田 3 丁目	1,121	3,164
大和田 4 丁目	806	2,622
大和田 5 丁目	310	1,026
東大和田	1,245	3,306
東大和田 1 丁目	817	2,174
東大和田 2 丁目	428	1,132
稲荷木	1,489	5,393
稲荷木 1 丁目	857	3,068
稲荷木 2 丁目	302	1,237
稲荷木 3 丁目	330	1,088
八幡	3,934	12,817
八幡 1 丁目	888	2,476
八幡 2 丁目	437	1,469
八幡 3 丁目	829	2,607

町 名	世帯数	人口
八幡 4 丁目	608	1,807
八幡 5 丁目	527	1,915
八幡 6 丁目	645	2,543
南八幡	4,892	12,717
南八幡 1 丁目	1,692	3,841
南八幡 2 丁目	464	1,391
南八幡 3 丁目	1,022	3,154
南八幡 4 丁目	777	1,750
南八幡 5 丁目	937	2,581
菅野	3,164	11,025
菅野 1 丁目	649	2,246
菅野 2 丁目	448	1,539
菅野 3 丁目	554	1,754
菅野 4 丁目	441	1,421
菅野 5 丁目	525	2,383
菅野 6 丁目	547	1,682
東菅野	3,528	11,141
東菅野 1 丁目	971	3,020
東菅野 2 丁目	731	2,183
東菅野 3 丁目	1,049	3,306
東菅野 4 丁目	730	2,444
東菅野 5 丁目	47	188
宮久保	2,920	9,947
宮久保 1 丁目	820	2,744
宮久保 2 丁目	420	1,475
宮久保 3 丁目	762	2,557
宮久保 4 丁目	461	1,569
宮久保 5 丁目	238	865
宮久保 6 丁目	219	737
宮久保町	—	—
鬼越	1,218	3,622
鬼越 1 丁目	485	1,538
鬼越 2 丁目	733	2,084
鬼高	2,449	8,510
鬼高 1 丁目	255	1,429
鬼高 2 丁目	1,344	4,150
鬼高 3 丁目	816	2,868
鬼高 4 丁目	34	63
高石神	688	2,435
中山	1,857	6,210
中山 1 丁目	613	2,107
中山 2 丁目	337	1,307
中山 3 丁目	375	1,152
中山 4 丁目	532	1,644
若宮	2,377	8,104
若宮 1 丁目	390	1,217
若宮 2 丁目	518	1,787
若宮 3 丁目	1,469	5,100
北方	2,135	6,947
北方 1 丁目	781	2,323
北方 2 丁目	768	2,548
北方 3 丁目	586	2,076
北方町 4 丁目	646	2,366
本北方	1,826	6,364
本北方 1 丁目	803	2,545
本北方 2 丁目	672	2,448
本北方 3 丁目	351	1,371
国分	1,879	5,990
国分 1 丁目	345	949

町 名	世帯数	人口
国分 2 丁目	390	1,064
国分 3 丁目	308	1,102
国分 4 丁目	243	825
国分 5 丁目	267	930
国分 6 丁目	214	704
国分 7 丁目	112	416
中国分	1,605	5,621
中国分 1 丁目	193	685
中国分 2 丁目	312	1,133
中国分 3 丁目	300	932
中国分 4 丁目	337	1,161
中国分 5 丁目	463	1,710
北国分	1,379	4,727
北国分 1 丁目	375	1,340
北国分 2 丁目	511	1,767
北国分 3 丁目	238	762
北国分 4 丁目	255	858
北国分町	259	875
東国分	375	1,090
東国分 1 丁目	155	473
東国分 2 丁目	213	603
東国分 3 丁目	7	14
稲越町	545	2,154
須和田	1,687	5,555
須和田 1 丁目	835	2,838
須和田 2 丁目	852	2,717
曾谷	3,372	12,028
曾谷 1 丁目	551	2,189
曾谷 2 丁目	399	1,513
曾谷 3 丁目	571	2,075
曾谷 4 丁目	268	921
曾谷 5 丁目	478	1,557
曾谷 6 丁目	315	797
曾谷 7 丁目	551	1,994
曾谷 8 丁目	239	982
下貝塚町	733	2,646
大野町	2,049	7,646
大野町 1 丁目	793	2,702
大野町 2 丁目	486	1,963
大野町 3 丁目	411	1,521
大野町 4 丁目	359	1,460
柏井町	1,407	4,585
柏井町 1 丁目	718	2,039
柏井町 2 丁目	419	1,541
柏井町 3 丁目	155	584
柏井町 4 丁目	115	421
大町	1,249	4,854
奉免町	129	510
田尻	1,800	4,301
田尻 1 丁目	97	199
田尻 2 丁目	236	584
田尻 3 丁目	107	282
田尻 4 丁目	623	1,536
田尻 5 丁目	737	1,700
田尻	18	66
高谷	900	2,763
高谷新町	5	20
二俣	1,791	6,018
二俣新町	3	4

1974.10.1 現在		
町 名	世帯数	人口
原木	1,216	3,930
本行徳	1,245	4,567
河原	235	819
大和田	4	20
上妙典	227	995
下妙典	260	1,045
下新宿	157	573
加藤新田	4	14
儀兵衛新田	—	—
関ヶ島	246	890
伊勢宿	322	1,110
千鳥町	35	50
高浜町	5	20
塩浜	1	3
塩浜 1 丁目	1	3
塩浜 2 丁目	—	—
塩浜 3 丁目	—	—
塩浜 4 丁目	—	—
押切	565	1,842
湊	1,327	3,795
湊新田	322	812
湊新田 1 丁目	200	542
湊新田 2 丁目	122	270
湊新田	320	1,201
行徳駅前 4 丁目	—	—
香取	84	231
香取 1 丁目	30	89
香取 2 丁目	54	142
香取	508	1,737
福栄	628	1,382
福栄 1 丁目	73	189
福栄 2 丁目	240	479
福栄 3 丁目	234	629
福栄 4 丁目	81	85
欠真間	286	860
欠真間 1 丁目	45	165
欠真間 2 丁目	241	695
欠真間	332	1,207
相之川	218	684
相之川 2 丁目	156	480
相之川 3 丁目	55	179
相之川 4 丁目	7	25
相之川	843	2,981
南行徳	170	428
南行徳 1 丁目	20	52
南行徳 2 丁目	70	176
南行徳 3 丁目	75	183
南行徳 4 丁目	5	17
広尾	161	442
広尾 1 丁目	161	442
新井	537	1,352
新井 2 丁目	227	686
新井 3 丁目	310	666
新井	698	2,339
烏尻	98	332
当代島飛地	177	554
外国人	336	1,129

『市川市統計年鑑 昭和50年版』より作成

(3)1984(昭和59)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	141,452	393,748
国府台	2,333	7,503
国府台1丁目	496	1,612
国府台2丁目	99	532
国府台3丁目	483	1,306
国府台4丁目	341	1,015
国府台5丁目	598	1,700
国府台6丁目	316	1,338
市川	4,927	11,476
市川1丁目	1,220	2,896
市川2丁目	1,254	2,998
市川3丁目	1,810	4,034
市川4丁目	643	1,548
市川南	5,152	11,301
市川南1丁目	1,220	2,680
市川南2丁目	512	1,054
市川南3丁目	2,272	4,933
市川南4丁目	1,013	2,279
市川南5丁目	135	355
真間	3,441	8,452
真間1丁目	706	1,604
真間2丁目	919	2,267
真間3丁目	519	1,199
真間4丁目	550	1,418
真間5丁目	747	1,964
新田	5,569	12,797
新田1丁目	754	1,898
新田2丁目	1,722	3,828
新田3丁目	1,238	3,221
新田4丁目	1,170	2,216
新田5丁目	685	1,634
平田	3,393	8,548
平田1丁目	617	1,506
平田2丁目	683	1,834
平田3丁目	1,205	2,889
平田4丁目	888	2,319
大洲	3,306	8,840
大洲1丁目	758	2,068
大洲2丁目	846	2,503
大洲3丁目	863	2,306
大洲4丁目	839	1,963
大和田	3,227	9,152
大和田1丁目	402	1,155
大和田2丁目	393	990
大和田3丁目	1,127	2,963
大和田4丁目	906	2,870
大和田5丁目	399	1,174
東大和田	1,587	3,438
東大和田1丁目	1,030	2,159
東大和田2丁目	557	1,279
稲荷木	2,004	5,921
稲荷木1丁目	998	2,941
稲荷木2丁目	436	1,317
稲荷木3丁目	570	1,663
八幡	4,347	11,781
八幡1丁目	835	2,001
八幡2丁目	478	1,230
八幡3丁目	878	2,264

町 名	世帯数	人口
八幡4丁目	642	1,741
八幡5丁目	689	2,032
八幡6丁目	825	2,513
南八幡	5,722	12,228
南八幡1丁目	1,616	3,122
南八幡2丁目	672	1,773
南八幡3丁目	1,380	2,728
南八幡4丁目	1,044	2,352
南八幡5丁目	1,010	2,253
菅野	3,947	10,587
菅野1丁目	707	2,141
菅野2丁目	577	1,691
菅野3丁目	508	1,466
菅野4丁目	551	1,668
菅野5丁目	1,000	2,132
菅野6丁目	604	1,489
東菅野	3,839	10,646
東菅野1丁目	941	2,654
東菅野2丁目	919	2,262
東菅野3丁目	1,092	2,970
東菅野4丁目	826	2,545
東菅野5丁目	61	215
宮久保町	-	-
宮久保	3,468	11,133
宮久保1丁目	889	2,675
宮久保2丁目	504	1,616
宮久保3丁目	898	2,874
宮久保4丁目	474	1,454
宮久保5丁目	404	1,461
宮久保6丁目	299	1,053
鬼越	1,253	3,073
鬼越1丁目	624	1,534
鬼越2丁目	629	1,539
鬼高	3,885	9,913
鬼高1丁目	361	920
鬼高2丁目	2,191	5,743
鬼高3丁目	1,291	3,175
鬼高4丁目	42	75
高石神	734	2,006
中山	1,963	5,667
中山1丁目	642	1,921
中山2丁目	351	1,380
中山3丁目	389	1,021
中山4丁目	581	1,345
若宮	2,335	6,889
若宮1丁目	404	1,125
若宮2丁目	552	1,474
若宮3丁目	1,379	4,290
北方	2,104	6,113
北方1丁目	686	1,873
北方2丁目	833	2,399
北方3丁目	585	1,841
本北方	2,314	7,021
本北方1丁目	1,045	2,775
本北方2丁目	810	2,598
本北方3丁目	459	1,648
北方町4丁目	887	2,907
国分	2,275	7,303

町 名	世帯数	人口
国分1丁目	645	2,109
国分2丁目	476	1,380
国分3丁目	302	1,050
国分4丁目	256	822
国分5丁目	256	822
国分6丁目	214	695
国分7丁目	126	425
中国分	2,121	7,031
中国分1丁目	293	1,015
中国分2丁目	333	1,101
中国分3丁目	424	1,418
中国分4丁目	455	1,447
中国分5丁目	616	2,050
北国分町	354	947
北国分	1,470	4,935
北国分1丁目	398	1,343
北国分2丁目	481	1,549
北国分3丁目	294	1,083
北国分4丁目	297	960
須和田	2,058	5,677
須和田1丁目	1,121	3,088
須和田2丁目	937	2,589
稲越町	728	2,580
曾谷	4,593	15,489
曾谷1丁目	584	1,881
曾谷2丁目	534	1,794
曾谷3丁目	801	2,693
曾谷4丁目	548	1,974
曾谷5丁目	706	2,431
曾谷6丁目	275	758
曾谷7丁目	772	2,651
曾谷8丁目	373	1,307
下貝塚町	1	7
下貝塚	1,024	3,417
下貝塚1丁目	399	1,340
下貝塚2丁目	421	1,403
下貝塚3丁目	204	674
東国分	369	1,168
東国分1丁目	158	501
東国分2丁目	198	642
東国分3丁目	13	25
東浜1丁目	-	-
田尻	17	56
田尻	2,081	5,209
田尻1丁目	45	78
田尻2丁目	134	383
田尻3丁目	210	603
田尻4丁目	801	1,933
田尻5丁目	891	2,212
高谷	15	28
高谷	1,249	3,350
高谷1丁目	443	1,015
高谷2丁目	638	1,841
高谷3丁目	168	494
高谷新町	-	-
原木	12	54
原木	2,174	6,285
原木1丁目	758	2,037

統 計

町 名	世帯数	人口
原木 2 丁目	597	1,513
原木 3 丁目	670	2,244
原木 4 丁目	149	491
二俣	1,420	4,645
二俣 1 丁目	470	1,134
二俣 2 丁目	439	1,128
二俣新町	7	14
大野町	4,135	14,873
大野町 1 丁目	1,019	3,496
大野町 2 丁目	1,843	6,714
大野町 3 丁目	626	2,226
大野町 4 丁目	647	2,437
柏井町	1,922	6,547
柏井町 1 丁目	906	2,956
柏井町 2 丁目	611	2,195
柏井町 3 丁目	214	821
柏井町 4 丁目	191	575
大町	1,321	4,830
奉免町	312	1,112
本行徳	852	2,652
加藤新田	7	10
千鳥町	33	38
高浜町	—	—
関ヶ島	467	1,339
伊勢宿	543	1,465
下新宿	403	1,307
河原	309	972
下妙典	23	32
上妙典	1	2
妙典	733	2,598
妙典 1 丁目	356	1,340
妙典 2 丁目	55	158
妙典 3 丁目	322	1,100
押切	504	1,372
湊	501	1,434
湊新田	301	843
湊新田	1,259	3,104
湊新田 1 丁目	728	1,762
湊新田 2 丁目	531	1,342
香取	1,499	4,178
香取 1 丁目	707	1,990
香取 2 丁目	792	2,188
欠真間	2,015	5,950
欠真間 1 丁目	652	2,051
欠真間 2 丁目	1,363	3,899
相之川	2,751	7,655
相之川 1 丁目	1,357	4,105
相之川 2 丁目	523	1,408
相之川 3 丁目	574	1,496
相之川 4 丁目	297	646
新井	2,948	7,881
新井 1 丁目	1,164	3,316
新井 2 丁目	505	1,335
新井 3 丁目	1,279	3,230
島尻	149	379
広尾	543	1,596
広尾 1 丁目	529	1,570

1984.10.1 現在

町 名	世帯数	人口
広尾 2 丁目	14	26
南行徳	2,786	6,795
南行徳 1 丁目	459	1,183
南行徳 2 丁目	683	1,756
南行徳 3 丁目	1,303	2,834
南行徳 4 丁目	341	1,022
塩浜	2,124	5,458
塩浜 1 丁目	—	—
塩浜 2 丁目	1	1
塩浜 3 丁目	—	—
塩浜 4 丁目	2,123	5,457
福栄	3,882	11,013
福栄 1 丁目	1,020	2,845
福栄 2 丁目	1,337	3,370
福栄 3 丁目	848	2,774
福栄 4 丁目	677	2,024
行徳駅前	3,761	9,543
行徳駅前 1 丁目	627	1,609
行徳駅前 2 丁目	1,053	2,321
行徳駅前 3 丁目	678	1,720
行徳駅前 4 丁目	1,403	3,893
新浜	988	2,731
新浜 1 丁目	985	2,723
新浜 2 丁目	3	8
新浜 3 丁目	—	—
入船	371	880
日之出	826	2,357
末広	1,104	2,811
末広 1 丁目	546	1,357
末広 2 丁目	558	1,454
本塩	601	1,909
富浜	1,468	4,151
富浜 1 丁目	129	376
富浜 2 丁目	709	2,136
富浜 3 丁目	630	1,639
塩焼	2,640	7,760
塩焼 1 丁目	240	566
塩焼 2 丁目	1,067	3,295
塩焼 3 丁目	404	1,002
塩焼 4 丁目	645	2,122
塩焼 5 丁目	284	775
宝	979	2,600
宝 1 丁目	410	1,087
宝 2 丁目	569	1,513
幸	1,777	5,722
幸 1 丁目	670	2,169
幸 2 丁目	1,107	3,553

『市川市統計年鑑 昭和60年版』より作成

(4)1994 (平成6)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	181,568	444,468
国府台	2,354	6,990
国府台 1 丁目	431	1,473
国府台 2 丁目	170	561
国府台 3 丁目	445	1,091
国府台 4 丁目	378	1,024
国府台 5 丁目	571	1,526
国府台 6 丁目	359	1,360
市川	5,126	10,815
市川 1 丁目	1,287	2,666
市川 2 丁目	1,510	3,189
市川 3 丁目	1,697	3,574
市川 4 丁目	632	1,386
市川南	5,436	10,967
市川南 1 丁目	1,258	2,442
市川南 2 丁目	585	1,168
市川南 3 丁目	2,335	4,775
市川南 4 丁目	1,124	2,273
市川南 5 丁目	139	309
真間	3,431	7,890
真間 1 丁目	767	1,591
真間 2 丁目	910	2,048
真間 3 丁目	471	1,097
真間 4 丁目	512	1,272
真間 5 丁目	771	1,882
新田	6,379	13,649
新田 1 丁目	802	1,901
新田 2 丁目	1,955	4,111
新田 3 丁目	1,562	3,399
新田 4 丁目	1,192	2,406
新田 5 丁目	868	1,832
平田	3,847	8,793
平田 1 丁目	718	1,538
平田 2 丁目	749	1,733
平田 3 丁目	1,525	3,385
平田 4 丁目	855	2,137
大洲	3,468	8,227
大洲 1 丁目	938	2,051
大洲 2 丁目	893	2,370
大洲 3 丁目	834	2,045
大洲 4 丁目	803	1,761
大和田	3,602	9,113
大和田 1 丁目	501	1,194
大和田 2 丁目	512	1,216
大和田 3 丁目	1,096	2,723
大和田 4 丁目	970	2,609
大和田 5 丁目	523	1,371
東大和田	1,741	3,566
東大和田 1 丁目	1,052	2,121
東大和田 2 丁目	689	1,445
稲荷木	2,272	6,154
稲荷木 1 丁目	1,148	2,989
稲荷木 2 丁目	486	1,449
稲荷木 3 丁目	638	1,716
八幡	4,521	10,984
八幡 1 丁目	938	2,023
八幡 2 丁目	464	1,004
八幡 3 丁目	932	2,155

町 名	世帯数	人口
八幡 4 丁目	674	1,598
八幡 5 丁目	689	1,903
八幡 6 丁目	824	2,301
南八幡	7,001	14,074
南八幡 1 丁目	1,784	3,309
南八幡 2 丁目	1,083	2,665
南八幡 3 丁目	1,696	3,077
南八幡 4 丁目	1,342	2,764
南八幡 5 丁目	1,096	2,259
菅野	4,209	10,489
菅野 1 丁目	764	1,979
菅野 2 丁目	705	1,816
菅野 3 丁目	521	1,367
菅野 4 丁目	679	1,915
菅野 5 丁目	1,022	2,190
菅野 6 丁目	518	1,222
東菅野	3,976	10,568
東菅野 1 丁目	1,035	2,649
東菅野 2 丁目	770	2,059
東菅野 3 丁目	1,129	2,926
東菅野 4 丁目	871	2,432
東菅野 5 丁目	171	502
宮久保	4,131	11,884
宮久保 1 丁目	1,048	2,769
宮久保 2 丁目	495	1,337
宮久保 3 丁目	1,168	3,296
宮久保 4 丁目	446	1,342
宮久保 5 丁目	580	1,904
宮久保 6 丁目	394	1,236
鬼越	1,353	2,944
鬼越 1 丁目	524	1,297
鬼越 2 丁目	829	1,647
鬼高	4,077	9,468
鬼高 1 丁目	418	1,004
鬼高 2 丁目	2,253	5,345
鬼高 3 丁目	1,276	2,870
鬼高 4 丁目	130	249
高石神	907	2,179
中山	1,959	5,261
中山 1 丁目	616	1,677
中山 2 丁目	382	1,368
中山 3 丁目	411	972
中山 4 丁目	550	1,244
若宮	2,417	6,588
若宮 1 丁目	442	1,061
若宮 2 丁目	595	1,506
若宮 3 丁目	1,380	4,021
北方	2,224	5,836
北方 1 丁目	669	1,674
北方 2 丁目	1,028	2,645
北方 3 丁目	527	1,517
本北方	2,565	7,101
本北方 1 丁目	1,119	2,719
本北方 2 丁目	947	2,785
本北方 3 丁目	499	1,597
北方町 4 丁目	1,528	4,667
国分	2,488	7,332
国分 1 丁目	712	2,203

町 名	世帯数	人口
国分 2 丁目	501	1,362
国分 3 丁目	395	1,148
国分 4 丁目	273	822
国分 5 丁目	262	805
国分 6 丁目	215	636
国分 7 丁目	130	356
中国分	2,389	7,265
中国分 1 丁目	347	1,088
中国分 2 丁目	360	1,066
中国分 3 丁目	547	1,623
中国分 4 丁目	441	1,305
中国分 5 丁目	694	2,183
北国分町	252	825
北国分	1,900	5,781
北国分 1 丁目	515	1,563
北国分 2 丁目	543	1,643
北国分 3 丁目	390	1,205
北国分 4 丁目	452	1,370
須和田	2,085	5,486
須和田 1 丁目	1,194	3,133
須和田 2 丁目	891	2,353
稲越町	892	2,881
曾谷	5,351	16,195
曾谷 1 丁目	740	2,187
曾谷 2 丁目	596	1,816
曾谷 3 丁目	887	2,665
曾谷 4 丁目	749	2,323
曾谷 5 丁目	848	2,540
曾谷 6 丁目	333	839
曾谷 7 丁目	822	2,593
曾谷 8 丁目	376	1,232
下貝塚	1,276	3,830
下貝塚 1 丁目	500	1,434
下貝塚 2 丁目	547	1,667
下貝塚 3 丁目	229	729
東国分	692	2,137
東国分 1 丁目	246	719
東国分 2 丁目	423	1,357
東国分 3 丁目	23	61
東浜 1 丁目	0	0
田尻	2	2
田尻	3,348	7,262
田尻 1 丁目	34	46
田尻 2 丁目	211	532
田尻 3 丁目	543	1,303
田尻 4 丁目	1,242	2,421
田尻 5 丁目	1,318	2,960
高谷	57	123
高谷	1,747	4,101
高谷 1 丁目	611	1,298
高谷 2 丁目	1,017	2,470
高谷 3 丁目	119	333
高谷新町	1	1
原本	29	92
原本	4,085	9,856
原本 1 丁目	1,937	4,352
原本 2 丁目	728	1,551
原本 3 丁目	1,225	3,435

町 名	世帯数	人口
原本 4 丁目	195	518
二俣	1,321	4,030
二俣	1,516	3,402
二俣 1 丁目	703	1,591
二俣 2 丁目	813	1,811
二俣新町	1	2
南大野	3,151	9,999
南大野 1 丁目	1,050	3,313
南大野 2 丁目	1,518	4,970
南大野 3 丁目	583	1,716
大野町	3,840	11,437
大野町 1 丁目	838	2,522
大野町 2 丁目	829	2,360
大野町 3 丁目	1,147	3,345
大野町 4 丁目	1,026	3,210
柏井町	2,532	7,672
柏井町 1 丁目	1,273	3,552
柏井町 2 丁目	829	2,532
柏井町 3 丁目	267	882
柏井町 4 丁目	163	706
大町	1,404	4,412
奉免町	430	1,365
本行徳	1,078	2,881
加藤新田	5	5
千鳥町	41	45
高浜町	40	52
関ヶ島	664	1,736
伊勢宿	739	1,528
下新宿	583	1,674
河原	499	1,285
下妙典	19	30
上妙典	5	8
妙典	1,008	2,897
妙典 1 丁目	484	1,454
妙典 2 丁目	64	172
妙典 3 丁目	460	1,271
押切	652	1,474
湊	668	1,460
湊新田	268	644
湊新田	1,921	3,919
湊新田 1 丁目	1,056	2,265
湊新田 2 丁目	865	1,654
香取	2,311	4,828
香取 1 丁目	889	2,058
香取 2 丁目	1,422	2,770
欠真間	3,569	7,623
欠真間 1 丁目	947	2,408
欠真間 2 丁目	2,622	5,215
相之川	5,016	10,475
相之川 1 丁目	1,668	4,170
相之川 2 丁目	890	1,887
相之川 3 丁目	1,600	2,789
相之川 4 丁目	858	1,629
新井	4,519	9,782
新井 1 丁目	1,601	3,750
新井 2 丁目	822	1,764
新井 3 丁目	2,096	4,268
島尻	225	514

1994.10.1 現在

町 名	世帯数	人口
広尾	882	1,920
広尾 1 丁目	861	1,876
広尾 2 丁目	21	44
南行徳	5,784	11,577
南行徳 1 丁目	1,545	3,019
南行徳 2 丁目	1,234	2,394
南行徳 3 丁目	1,963	3,739
南行徳 4 丁目	1,042	2,425
塩浜	2,879	7,307
塩浜 1 丁目	13	14
塩浜 2 丁目	0	0
塩浜 3 丁目	16	24
塩浜 4 丁目	2,850	7,269
福栄	6,172	14,012
福栄 1 丁目	1,907	3,798
福栄 2 丁目	1,646	3,548
福栄 3 丁目	1,909	4,678
福栄 4 丁目	710	1,988
行徳駅前	5,435	10,940
行徳駅前 1 丁目	1,198	2,233
行徳駅前 2 丁目	1,370	2,638
行徳駅前 3 丁目	941	1,893
行徳駅前 4 丁目	1,926	4,176
新浜	1,485	3,465
新浜 1 丁目	1,483	3,458
新浜 2 丁目	2	7
新浜 3 丁目	0	0
入船	615	1,419
日之出	1,016	2,686
末広	2,328	4,604
末広 1 丁目	875	1,788
末広 2 丁目	1,453	2,816
本塩	966	2,581
富浜	2,283	5,412
富浜 1 丁目	238	579
富浜 2 丁目	1,133	2,847
富浜 3 丁目	912	1,986
塩焼	4,469	11,362
塩焼 1 丁目	598	1,292
塩焼 2 丁目	1,486	3,970
塩焼 3 丁目	938	2,048
塩焼 4 丁目	898	2,599
塩焼 5 丁目	549	1,453
宝	1,748	3,962
宝 1 丁目	777	1,999
宝 2 丁目	971	1,963
幸	2,363	6,666
幸 1 丁目	988	2,668
幸 2 丁目	1,375	3,998

『市川市統計年鑑 平成7年版』より作成

(5)2004(平成16)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	206,963	464,873
国府台	2,308	6,457
国府台 1 丁目	428	1,189
国府台 2 丁目	56	310
国府台 3 丁目	403	1,025
国府台 4 丁目	396	1,027
国府台 5 丁目	674	1,698
国府台 6 丁目	351	1,208
市川	5,668	10,639
市川 1 丁目	1,611	2,774
市川 2 丁目	1,606	3,037
市川 3 丁目	1,799	3,536
市川 4 丁目	652	1,292
市川南	6,810	13,470
市川南 1 丁目	1,224	2,085
市川南 2 丁目	1,049	2,225
市川南 3 丁目	3,097	6,396
市川南 4 丁目	1,299	2,486
市川南 5 丁目	141	278
真間	3,793	7,721
真間 1 丁目	1,012	1,821
真間 2 丁目	919	1,821
真間 3 丁目	500	1,043
真間 4 丁目	624	1,353
真間 5 丁目	738	1,683
新田	6,680	13,360
新田 1 丁目	788	1,721
新田 2 丁目	1,829	3,531
新田 3 丁目	1,778	3,841
新田 4 丁目	1,313	2,517
新田 5 丁目	972	1,750
平田	3,707	7,845
平田 1 丁目	780	1,574
平田 2 丁目	615	1,244
平田 3 丁目	1,657	3,571
平田 4 丁目	655	1,456
大洲	3,780	8,477
大洲 1 丁目	916	1,993
大洲 2 丁目	874	2,028
大洲 3 丁目	1,083	2,519
大洲 4 丁目	907	1,937
大和田	3,489	8,070
大和田 1 丁目	430	894
大和田 2 丁目	497	1,109
大和田 3 丁目	1,035	2,346
大和田 4 丁目	980	2,331
大和田 5 丁目	547	1,390
東大和田	1,952	3,798
東大和田 1 丁目	1,238	2,296
東大和田 2 丁目	714	1,502
稲荷木	1,876	4,650
稲荷木 1 丁目	761	1,842
稲荷木 2 丁目	502	1,233
稲荷木 3 丁目	613	1,575
八幡	5,225	11,388
八幡 1 丁目	994	2,022
八幡 2 丁目	664	1,234
八幡 3 丁目	1,309	2,698

町 名	世帯数	人口
八幡 4 丁目	704	1,507
八幡 5 丁目	697	1,776
八幡 6 丁目	857	2,151
南八幡	7,941	15,391
南八幡 1 丁目	1,685	3,105
南八幡 2 丁目	1,118	2,570
南八幡 3 丁目	2,120	3,781
南八幡 4 丁目	1,441	2,797
南八幡 5 丁目	1,577	3,138
菅野	4,191	9,718
菅野 1 丁目	789	1,940
菅野 2 丁目	751	1,638
菅野 3 丁目	424	1,036
菅野 4 丁目	781	2,137
菅野 5 丁目	961	1,913
菅野 6 丁目	485	1,054
東菅野	4,028	10,002
東菅野 1 丁目	1,018	2,358
東菅野 2 丁目	713	1,844
東菅野 3 丁目	1,157	2,771
東菅野 4 丁目	922	2,476
東菅野 5 丁目	218	553
宮久保	4,405	11,525
宮久保 1 丁目	1,087	2,576
宮久保 2 丁目	547	1,324
宮久保 3 丁目	1,189	3,040
宮久保 4 丁目	438	1,210
宮久保 5 丁目	642	1,877
宮久保 6 丁目	502	1,498
鬼越	1,424	2,872
鬼越 1 丁目	601	1,337
鬼越 2 丁目	823	1,535
鬼高	5,283	12,188
鬼高 1 丁目	549	1,266
鬼高 2 丁目	2,355	4,821
鬼高 3 丁目	1,996	5,017
鬼高 4 丁目	383	1,084
高石神	859	1,917
中山	1,965	4,862
中山 1 丁目	611	1,521
中山 2 丁目	378	1,240
中山 3 丁目	430	920
中山 4 丁目	546	1,181
若宮	2,459	6,204
若宮 1 丁目	443	1,006
若宮 2 丁目	649	1,541
若宮 3 丁目	1,367	3,657
北方	2,435	5,927
北方 1 丁目	692	1,613
北方 2 丁目	982	2,359
北方 3 丁目	761	1,955
本北方	2,628	7,090
本北方 1 丁目	1,061	2,771
本北方 2 丁目	1,049	2,712
本北方 3 丁目	518	1,607
北方町 4 丁目	1,882	5,172
国分	2,392	6,470
国分 1 丁目	540	1,491

2004.10.1 現在

町 名	世帯数	人口
国分 2 丁目	526	1,356
国分 3 丁目	526	1,455
国分 4 丁目	381	972
国分 5 丁目	235	652
国分 6 丁目	83	261
国分 7 丁目	101	283
中国分	2,529	6,978
中国分 1 丁目	318	849
中国分 2 丁目	408	1,104
中国分 3 丁目	565	1,600
中国分 4 丁目	502	1,361
中国分 5 丁目	736	2,064
北国分	2,002	5,489
北国分 1 丁目	449	1,161
北国分 2 丁目	583	1,611
北国分 3 丁目	461	1,241
北国分 4 丁目	509	1,476
須和田	1,991	4,961
須和田 1 丁目	1,120	2,802
須和田 2 丁目	871	2,159
稲越町	1,055	2,839
曾谷	5,750	15,276
曾谷 1 丁目	857	2,242
曾谷 2 丁目	688	1,766
曾谷 3 丁目	946	2,566
曾谷 4 丁目	859	2,372
曾谷 5 丁目	899	2,375
曾谷 6 丁目	273	668
曾谷 7 丁目	818	2,147
曾谷 8 丁目	410	1,140
下貝塚	1,597	4,219
下貝塚 1 丁目	657	1,736
下貝塚 2 丁目	664	1,747
下貝塚 3 丁目	276	736
東国分	762	1,979
東国分 1 丁目	264	650
東国分 2 丁目	498	1,329
東国分 3 丁目	—	—
堀之内	1,037	2,741
堀之内 1 丁目	40	101
堀之内 2 丁目	35	97
堀之内 3 丁目	623	1,609
堀之内 4 丁目	265	704
堀之内 5 丁目	74	230
東浜 1 丁目	—	—
田尻	—	—
田尻	4,527	9,933
田尻 1 丁目	267	694
田尻 2 丁目	242	503
田尻 3 丁目	1,238	3,005
田尻 4 丁目	1,602	3,176
田尻 5 丁目	1,178	2,555
高谷	15	119
高谷	2,057	4,012
高谷 1 丁目	740	1,307
高谷 2 丁目	1,126	2,330
高谷 3 丁目	191	375
高谷新町	16	16

町 名	世帯数	人口
原木	45	97
原木	4,301	9,528
原木 1 丁目	2,208	4,592
原木 2 丁目	708	1,377
原木 3 丁目	1,213	3,110
原木 4 丁目	172	449
二俣	1,269	2,761
二俣	1,916	4,003
二俣 1 丁目	874	1,900
二俣 2 丁目	1,042	2,103
二俣新町	—	—
上妙典	1	1
南大野	3,922	10,942
南大野 1 丁目	1,647	4,733
南大野 2 丁目	1,641	4,542
南大野 3 丁目	634	1,667
大野町	4,840	12,661
大野町 1 丁目	944	2,507
大野町 2 丁目	1,149	2,948
大野町 3 丁目	1,589	4,048
大野町 4 丁目	1,158	3,158
柏井町	3,087	8,936
柏井町 1 丁目	1,703	4,651
柏井町 2 丁目	946	2,566
柏井町 3 丁目	299	874
柏井町 4 丁目	139	845
大町	1,669	4,430
奉免町	549	1,617
本行徳	1,180	2,853
加藤新田	—	—
千島町	1	1
高浜町	2	2
関ヶ島	679	1,580
伊勢宿	951	1,872
下新宿	596	1,447
河原	590	1,331
下妙典	—	—
妙典	5,161	12,513
妙典 1 丁目	607	1,607
妙典 2 丁目	771	2,106
妙典 3 丁目	935	2,065
妙典 4 丁目	793	1,996
妙典 5 丁目	1,138	2,782
妙典 6 丁目	917	1,957
押切	727	1,440
湊	714	1,370
湊新田	311	606
湊新田	1,973	3,845
湊新田 1 丁目	1,140	2,311
湊新田 2 丁目	833	1,534
香取	2,447	4,912
香取 1 丁目	986	2,038
香取 2 丁目	1,461	2,874
欠真間	3,696	7,189
欠真間 1 丁目	1,020	2,334
欠真間 2 丁目	2,676	4,855
相之川	5,573	10,568
相之川 1 丁目	1,841	4,234

町 名	世帯数	人口
相之川 2 丁目	991	1,898
相之川 3 丁目	1,697	2,773
相之川 4 丁目	1,044	1,663
新井	4,883	9,728
新井 1 丁目	1,662	3,577
新井 2 丁目	820	1,635
新井 3 丁目	2,401	4,516
島尻	907	2,191
広尾	1,187	2,578
広尾 1 丁目	1,163	2,516
広尾 2 丁目	24	62
南行徳	6,809	12,909
南行徳 1 丁目	1,846	3,383
南行徳 2 丁目	1,672	3,179
南行徳 3 丁目	1,992	3,700
南行徳 4 丁目	1,299	2,647
塩浜	2,914	6,496
塩浜 1 丁目	11	11
塩浜 2 丁目	—	—
塩浜 3 丁目	16	21
塩浜 4 丁目	2,887	6,464
福栄	6,796	14,040
福栄 1 丁目	2,138	3,807
福栄 2 丁目	1,750	3,522
福栄 3 丁目	2,040	4,550
福栄 4 丁目	868	2,161
行徳駅前	6,101	10,795
行徳駅前 1 丁目	1,598	2,519
行徳駅前 2 丁目	1,611	2,571
行徳駅前 3 丁目	1,086	2,035
行徳駅前 4 丁目	1,806	3,670
新浜	1,451	3,197
新浜 1 丁目	1,449	3,192
新浜 2 丁目	2	5
新浜 3 丁目	—	—
入船	850	1,814
日之出	1,232	3,192
末広	2,886	5,915
末広 1 丁目	1,145	2,360
末広 2 丁目	1,741	3,555
本塩	1,152	2,819
富浜	3,029	6,246
富浜 1 丁目	539	1,121
富浜 2 丁目	1,435	2,987
富浜 3 丁目	1,055	2,138
塩焼	5,582	12,133
塩焼 1 丁目	832	1,609
塩焼 2 丁目	1,755	3,839
塩焼 3 丁目	1,107	2,200
塩焼 4 丁目	1,133	2,720
塩焼 5 丁目	755	1,765
宝	1,991	4,151
宝 1 丁目	912	2,106
宝 2 丁目	1,079	2,045
幸	2,475	6,389
幸 1 丁目	1,021	2,593
幸 2 丁目	1,454	3,796

『市川市統計年鑑 平成17年版』より作成

(6)2014平成26)年の世帯数および人口

町 名	世帯数	人口
総数	227,605	472,387
国府台	2,563	5,567
国府台 1 丁目	394	723
国府台 2 丁目	123	210
国府台 3 丁目	483	1,126
国府台 4 丁目	430	947
国府台 5 丁目	731	1,734
国府台 6 丁目	402	827
市川	6,268	10,993
市川 1 丁目	2,031	3,379
市川 2 丁目	1,708	2,985
市川 3 丁目	1,869	3,408
市川 4 丁目	660	1,221
市川南	8,141	15,717
市川南 1 丁目	2,304	4,264
市川南 2 丁目	1,145	2,388
市川南 3 丁目	3,119	6,212
市川南 4 丁目	1,395	2,542
市川南 5 丁目	178	311
真間	3,737	7,282
真間 1 丁目	923	1,662
真間 2 丁目	927	1,762
真間 3 丁目	513	999
真間 4 丁目	619	1,230
真間 5 丁目	755	1,629
新田	7,085	13,257
新田 1 丁目	827	1,688
新田 2 丁目	1,987	3,623
新田 3 丁目	1,809	3,697
新田 4 丁目	1,300	2,305
新田 5 丁目	1,162	1,944
平田	3,806	7,427
平田 1 丁目	843	1,603
平田 2 丁目	608	1,073
平田 3 丁目	1,705	3,472
平田 4 丁目	650	1,279
大洲	3,906	8,330
大洲 1 丁目	945	1,874
大洲 2 丁目	852	1,839
大洲 3 丁目	1,031	2,401
大洲 4 丁目	1,078	2,216
大和田	3,805	8,224
大和田 1 丁目	485	986
大和田 2 丁目	495	1,018
大和田 3 丁目	1,088	2,302
大和田 4 丁目	1,094	2,441
大和田 5 丁目	643	1,477
東大和田	1,992	3,705
東大和田 1 丁目	1,285	2,304
東大和田 2 丁目	707	1,401
稲荷木	2,120	4,610
稲荷木 1 丁目	794	1,698
稲荷木 2 丁目	637	1,387
稲荷木 3 丁目	689	1,525
八幡	6,456	12,833
八幡 1 丁目	1,144	2,088
八幡 2 丁目	947	1,723
八幡 3 丁目	1,877	3,550

町 名	世帯数	人口
八幡 4 丁目	803	1,641
八幡 5 丁目	821	1,840
八幡 6 丁目	864	1,991
南八幡	8,663	16,019
南八幡 1 丁目	1,778	3,166
南八幡 2 丁目	1,239	2,652
南八幡 3 丁目	2,203	3,970
南八幡 4 丁目	1,678	2,971
南八幡 5 丁目	1,765	3,260
菅野	4,563	10,247
菅野 1 丁目	876	1,908
菅野 2 丁目	864	1,824
菅野 3 丁目	438	980
菅野 4 丁目	881	2,129
菅野 5 丁目	911	2,037
菅野 6 丁目	593	1,369
東菅野	4,577	10,383
東菅野 1 丁目	1,178	2,481
東菅野 2 丁目	867	1,956
東菅野 3 丁目	1,259	2,820
東菅野 4 丁目	1,011	2,457
東菅野 5 丁目	262	669
宮久保	5,419	12,733
宮久保 1 丁目	1,402	3,137
宮久保 2 丁目	666	1,485
宮久保 3 丁目	1,421	3,271
宮久保 4 丁目	545	1,291
宮久保 5 丁目	756	1,927
宮久保 6 丁目	629	1,622
鬼越	1,556	2,959
鬼越 1 丁目	719	1,456
鬼越 2 丁目	837	1,503
鬼高	5,536	12,184
鬼高 1 丁目	588	1,239
鬼高 2 丁目	2,502	4,903
鬼高 3 丁目	2,030	4,849
鬼高 4 丁目	416	1,193
高石神	944	1,809
中山	2,177	4,549
中山 1 丁目	589	1,367
中山 2 丁目	503	1,021
中山 3 丁目	469	959
中山 4 丁目	616	1,202
若宮	2,725	6,113
若宮 1 丁目	497	1,026
若宮 2 丁目	709	1,590
若宮 3 丁目	1,519	3,497
北方	2,702	6,014
北方 1 丁目	770	1,639
北方 2 丁目	1,065	2,388
北方 3 丁目	867	1,987
本北方	3,113	7,424
本北方 1 丁目	1,242	2,995
本北方 2 丁目	1,178	2,693
本北方 3 丁目	693	1,736
北方町 4 丁目	2,223	5,455
国分	2,682	6,311
国分 1 丁目	592	1,393

町 名	世帯数	人口
国分 2 丁目	564	1,269
国分 3 丁目	615	1,513
国分 4 丁目	397	934
国分 5 丁目	290	676
国分 6 丁目	100	248
国分 7 丁目	124	278
中国分	2,963	7,289
中国分 1 丁目	381	997
中国分 2 丁目	462	1,141
中国分 3 丁目	667	1,706
中国分 4 丁目	608	1,454
中国分 5 丁目	845	1,991
北国分	2,297	5,527
北国分 1 丁目	573	1,328
北国分 2 丁目	629	1,514
北国分 3 丁目	530	1,266
北国分 4 丁目	565	1,419
須和田	2,239	4,925
須和田 1 丁目	1,267	2,796
須和田 2 丁目	972	2,129
稲越町	1,289	3,063
曾谷	6,664	15,704
曾谷 1 丁目	974	2,306
曾谷 2 丁目	799	1,873
曾谷 3 丁目	1,083	2,645
曾谷 4 丁目	1,048	2,464
曾谷 5 丁目	990	2,275
曾谷 6 丁目	364	906
曾谷 7 丁目	911	2,120
曾谷 8 丁目	495	1,115
下貝塚	1,945	4,622
下貝塚 1 丁目	799	1,952
下貝塚 2 丁目	833	1,884
下貝塚 3 丁目	313	786
東国分	772	1,901
東国分 1 丁目	298	678
東国分 2 丁目	474	1,223
東国分 3 丁目	—	—
堀之内	1,260	3,043
堀之内 1 丁目	48	110
堀之内 2 丁目	38	96
堀之内 3 丁目	744	1,726
堀之内 4 丁目	334	860
堀之内 5 丁目	96	251
東浜 1 丁目	—	—
田尻	—	—
田尻	5,128	10,728
田尻 1 丁目	271	722
田尻 2 丁目	296	551
田尻 3 丁目	1,541	3,455
田尻 4 丁目	1,694	3,255
田尻 5 丁目	1,326	2,745
高谷	93	116
高谷	2,038	3,868
高谷 1 丁目	714	1,232
高谷 2 丁目	1,181	2,329
高谷 3 丁目	143	307
高谷新町	11	11

2014.10.1 現在

町 名	世帯数	人口
原本	45	85
原本	4,839	9,548
原本 1 丁目	2,316	4,427
原本 2 丁目	789	1,399
原本 3 丁目	1,536	3,270
原本 4 丁目	198	452
二俣	506	918
二俣	2,190	4,259
二俣 1 丁目	1,079	2,164
二俣 2 丁目	1,111	2,095
二俣新町	－	－
上妙典	5	5
南大野	4,227	10,460
南大野 1 丁目	1,769	4,666
南大野 2 丁目	1,763	4,103
南大野 3 丁目	695	1,691
大野町	5,582	13,098
大野町 1 丁目	1,125	2,619
大野町 2 丁目	1,328	3,196
大野町 3 丁目	1,785	4,082
大野町 4 丁目	1,344	3,201
柏井町	4,180	9,662
柏井町 1 丁目	2,112	4,904
柏井町 2 丁目	1,230	2,779
柏井町 3 丁目	474	1,243
柏井町 4 丁目	364	736
大町	1,920	4,052
奉免町	668	1,599
本行徳	1,369	2,902
加藤新田	185	479
千鳥町	－	－
高浜町	－	－
関ヶ島	743	1,551
伊勢宿	923	1,743
下新宿	684	1,497
河原	524	1,157
下妙典	－	－
妙典	5,960	13,889
妙典 1 丁目	689	1,609
妙典 2 丁目	859	2,306
妙典 3 丁目	1,180	2,404
妙典 4 丁目	888	2,229
妙典 5 丁目	1,304	3,122
妙典 6 丁目	1,040	2,219
押切	781	1,422
湊	703	1,230
湊新田	335	599
湊新田	2,081	3,873
湊新田 1 丁目	1,238	2,415
湊新田 2 丁目	843	1,458
香取	2,462	4,799
香取 1 丁目	1,052	2,099
香取 2 丁目	1,410	2,700
欠真間	3,732	6,696
欠真間 1 丁目	1,032	2,153
欠真間 2 丁目	2,700	4,543
相之川	5,909	10,503
相之川 1 丁目	1,898	4,100

町 名	世帯数	人口
相之川 2 丁目	1,048	1,811
相之川 3 丁目	1,809	2,761
相之川 4 丁目	1,154	1,831
新井	5,246	9,545
新井 1 丁目	1,818	3,641
新井 2 丁目	923	1,644
新井 3 丁目	2,505	4,260
島尻	1,578	4,447
広尾	1,248	2,614
広尾 1 丁目	1,207	2,543
広尾 2 丁目	41	71
南行徳	7,225	13,141
南行徳 1 丁目	1,956	3,293
南行徳 2 丁目	1,776	3,369
南行徳 3 丁目	2,156	3,837
南行徳 4 丁目	1,337	2,642
塩浜	2,796	5,364
塩浜 1 丁目	15	15
塩浜 2 丁目	－	－
塩浜 3 丁目	4	4
塩浜 4 丁目	2,777	5,345
福栄	6,857	13,429
福栄 1 丁目	2,010	3,543
福栄 2 丁目	1,827	3,435
福栄 3 丁目	2,032	4,162
福栄 4 丁目	988	2,289
行徳駅前	6,867	11,688
行徳駅前 1 丁目	1,710	2,482
行徳駅前 2 丁目	1,899	3,003
行徳駅前 3 丁目	1,079	1,928
行徳駅前 4 丁目	2,179	4,275
新浜	1,500	2,983
新浜 1 丁目	1,499	2,982
新浜 2 丁目	1	1
新浜 3 丁目	－	－
入船	907	1,783
日之出	1,345	3,118
末広	2,978	5,873
末広 1 丁目	1,270	2,494
末広 2 丁目	1,708	3,379
本塩	1,390	3,050
富浜	3,474	6,639
富浜 1 丁目	649	1,325
富浜 2 丁目	1,713	3,136
富浜 3 丁目	1,112	2,178
塩焼	5,498	11,524
塩焼 1 丁目	883	1,657
塩焼 2 丁目	1,722	3,589
塩焼 3 丁目	1,046	2,048
塩焼 4 丁目	1,144	2,532
塩焼 5 丁目	703	1,698
宝	2,073	4,183
宝 1 丁目	955	2,085
宝 2 丁目	1,118	2,098
幸	2,612	6,038
幸 1 丁目	1,056	2,452
幸 2 丁目	1,556	3,586

『市川市統計年鑑 平成27年版』より作成

2. 市川市域の商店数および従業者数〔昭和〕（1979-1988）

(1) 1979 (昭和54)年

住居表示	商店数	従業員数
総数	6,113	21,943
国府台	106	261※
国府台 1 丁目	6	8
国府台 2 丁目	7	11
国府台 3 丁目	28	91
国府台 4 丁目	21	35
国府台 5 丁目	43	116
国府台 6 丁目	1	x
市川	620	2,887
市川 1 丁目	397	2,135
市川 2 丁目	70	328
市川 3 丁目	111	289
市川 4 丁目	42	135
市川南	299	719
市川南 1 丁目	220	567
市川南 2 丁目	13	18
市川南 3 丁目	53	113
市川南 4 丁目	13	21
市川南 5 丁目	—	—
真間	196	461
真間 1 丁目	37	152
真間 2 丁目	93	218
真間 3 丁目	12	26
真間 4 丁目	23	51
真間 5 丁目	11	14
新田	304	900
新田 1 丁目	34	80
新田 2 丁目	50	106
新田 3 丁目	50	121
新田 4 丁目	85	202
新田 5 丁目	85	391
平田	120	355
平田 1 丁目	16	65
平田 2 丁目	36	80
平田 3 丁目	28	71
平田 4 丁目	50	139
大洲	114	256
大洲 1 丁目	27	50
大洲 2 丁目	28	74
大洲 3 丁目	23	44
大洲 4 丁目	36	88
大和田	146	304※
大和田 1 丁目	19	81
大和田 2 丁目	17	13
大和田 3 丁目	46	70
大和田 4 丁目	61	140
大和田 5 丁目	3	x
東大和田	48	146
東大和田 1 丁目	38	122
東大和田 2 丁目	10	24
稲荷木	66	165
稲荷木 1 丁目	30	111
稲荷木 2 丁目	9	7
稲荷木 3 丁目	27	47
八幡	613	2,446※
八幡 1 丁目	45	247
八幡 2 丁目	300	1,261
八幡 3 丁目	171	626

住居表示	商店数	従業員数
八幡 4 丁目	52	150
八幡 5 丁目	9	x
八幡 6 丁目	36	162
南八幡	431	1,442
南八幡 1 丁目	45	104
南八幡 2 丁目	21	55
南八幡 3 丁目	124	288
南八幡 4 丁目	158	792
南八幡 5 丁目	83	203
菅野	134	346
菅野 1 丁目	34	130
菅野 2 丁目	7	46
菅野 3 丁目	30	47
菅野 4 丁目	27	54
菅野 5 丁目	8	8
菅野 6 丁目	28	61
東菅野	128	326※
東菅野 1 丁目	44	98
東菅野 2 丁目	31	70
東菅野 3 丁目	29	61
東菅野 4 丁目	22	97
東菅野 5 丁目	2	x
宮久保	152	362※
宮久保 1 丁目	63	188
宮久保 2 丁目	17	35
宮久保 3 丁目	43	97
宮久保 4 丁目	10	15
宮久保 5 丁目	16	27
宮久保 6 丁目	3	x
宮久保町	—	—
鬼越	89	288
鬼越 1 丁目	50	131
鬼越 2 丁目	39	157
鬼高	151	857
鬼高 1 丁目	15	16
鬼高 2 丁目	52	156
鬼高 3 丁目	33	257
鬼高 4 丁目	51	428
高石神	66	250
中山	78	170※
中山 1 丁目	15	28
中山 2 丁目	11	20
中山 3 丁目	5	x
中山 4 丁目	47	122
若宮	148	398
若宮 1 丁目	8	17
若宮 2 丁目	49	123
若宮 3 丁目	91	258
北方	128	346
北方 1 丁目	67	172
北方 2 丁目	42	137
北方 3 丁目	19	37
北方町 4 丁目	26	117
本北方	128	346
本北方 1 丁目	29	85
本北方 2 丁目	41	99
本北方 3 丁目	10	17
国分	92	196※

住居表示	商店数	従業員数
国分 1 丁目	23	58
国分 2 丁目	32	76
国分 3 丁目	6	9
国分 4 丁目	5	10
国分 5 丁目	2	x
国分 6 丁目	14	32
国分 7 丁目	10	11
中国分	52	107※
中国分 1 丁目	6	7
中国分 2 丁目	18	50
中国分 3 丁目	4	x
中国分 4 丁目	12	29
中国分 5 丁目	12	21
北国分	17	32※
北国分 1 丁目	1	x
北国分 2 丁目	9	24
北国分 3 丁目	5	8
北国分 4 丁目	2	x
北国分町	9	22
東国分	21	23※
東国分 1 丁目	18	23
東国分 2 丁目	3	x
東国分 3 丁目	—	—
稲越町	14	24
須和田	54	123
須和田 1 丁目	35	89
須和田 2 丁目	19	34
曾谷	163	439※
曾谷 1 丁目	25	60
曾谷 2 丁目	11	59
曾谷 3 丁目	21	121
曾谷 4 丁目	8	6
曾谷 5 丁目	45	109
曾谷 6 丁目	8	x
曾谷 7 丁目	22	46
曾谷 8 丁目	23	38
下貝塚町	41	123
大野町	81	237
大野町 1 丁目	15	31
大野町 2 丁目	7	9
大野町 3 丁目	29	95
大野町 4 丁目	30	102
柏井町	28	48※
柏井町 1 丁目	10	33
柏井町 2 丁目	9	8
柏井町 3 丁目	5	7
柏井町 4 丁目	4	x
大町	28	79
奉免町	5	7
田尻	55	462
田尻 1 丁目	11	99
田尻 2 丁目	5	106
田尻 3 丁目	11	190
田尻 4 丁目	13	33
田尻 5 丁目	15	34
田尻	—	—
原本	38	56※
原本 1 丁目	13	11

1979.6.1 現在

住居表示	商店数	従業員数
原木 2 丁目	12	21
原木 3 丁目	10	24
原木 4 丁目	3	x
原木	2	x
高谷	57	114※
高谷 1 丁目	31	42
高谷 2 丁目	24	72
高谷 3 丁目	2	x
高谷	7	9
高谷新町	—	—
二俣	9	9※
二俣 1 丁目	3	x
二俣 2 丁目	6	9
二俣	4	x
二俣新町	2	x
東浜 1 丁目	1	x
本行徳	62	163
河原	10	18
上妙典	—	—
下妙典	1	x
妙典	27	27
妙典 1 丁目	16	21
妙典 2 丁目	—	—
妙典 3 丁目	11	6
下新宿	15	97
加藤新田	—	—
関ヶ島	25	91
伊勢宿	18	26
千鳥町	—	—
高浜町	—	—
塩浜	1	x
塩浜 1 丁目	—	—
塩浜 2 丁目	1	x
塩浜 3 丁目	—	—
塩浜 4 丁目	—	—
宝	9	11
宝 1 丁目	—	—
宝 2 丁目	9	11
幸	13	14
幸 1 丁目	5	5
幸 2 丁目	8	9
本塩	36	73
富浜	32	66※
富浜 1 丁目	1	x
富浜 2 丁目	12	19
富浜 3 丁目	19	47
塩焼	8	x
塩焼 1 丁目	—	—
塩焼 2 丁目	4	x
塩焼 3 丁目	3	x
塩焼 4 丁目	—	—
塩焼 5 丁目	1	x
押切	20	27
湊	33	82
湊新田	42	113
湊新田 1 丁目	25	59
湊新田 2 丁目	17	54
湊新田	6	9

住居表示	商店数	従業員数
末広	31	113※
末広 1 丁目	28	113
末広 2 丁目	3	x
行徳駅前	325	1,204
行徳駅前 1 丁目	40	92
行徳駅前 2 丁目	225	962
行徳駅前 3 丁目	14	15
行徳駅前 4 丁目	46	135
入船	4	x
日之出	13	14
香取	66	113
香取 1 丁目	38	61
香取 2 丁目	28	52
新浜	8	14
新浜 1 丁目	8	14
新浜 2 丁目	—	—
福栄	58	83※
福栄 1 丁目	30	46
福栄 2 丁目	10	21
福栄 3 丁目	13	16
福栄 4 丁目	5	x
欠真間	52	129
欠真間 1 丁目	27	65
欠真間 2 丁目	25	64
相之川	74	206※
相之川 1 丁目	49	152
相之川 2 丁目	11	7
相之川 3 丁目	12	47
相之川 4 丁目	2	x
南行徳	32	25※
南行徳 1 丁目	9	5
南行徳 2 丁目	10	11
南行徳 3 丁目	5	x
南行徳 4 丁目	8	9
広尾	5	59※
広尾 1 丁目	2	x
広尾 2 丁目	3	59
新井	74	163
新井 1 丁目	23	43
新井 2 丁目	11	16
新井 3 丁目	40	104
島尻	—	—

『市川市統計年鑑 昭和55年版』より作成

(2) 1982(昭和57)年

住居表示	商店数	従業員数
総数	6,683	24,147
国府台	100	329※
国府台 1 丁目	6	x
国府台 2 丁目	7	14
国府台 3 丁目	28	92
国府台 4 丁目	20	87
国府台 5 丁目	37	136
国府台 6 丁目	2	x
市川	620	2,681
市川 1 丁目	406	1,960
市川 2 丁目	70	301
市川 3 丁目	103	273
市川 4 丁目	41	147
市川南	315	842
市川南 1 丁目	228	544
市川南 2 丁目	15	35
市川南 3 丁目	60	156
市川南 4 丁目	12	107
市川南 5 丁目	—	—
真間	182	549
真間 1 丁目	41	156
真間 2 丁目	90	278
真間 3 丁目	13	33
真間 4 丁目	25	53
真間 5 丁目	13	29
新田	294	887
新田 1 丁目	29	106
新田 2 丁目	48	104
新田 3 丁目	48	123
新田 4 丁目	86	209
新田 5 丁目	83	345
平田	123	369
平田 1 丁目	17	90
平田 2 丁目	35	82
平田 3 丁目	30	72
平田 4 丁目	41	125
大洲	117	410
大洲 1 丁目	30	53
大洲 2 丁目	34	135
大洲 3 丁目	20	125
大洲 4 丁目	33	97
大和田	147	455
大和田 1 丁目	21	135
大和田 2 丁目	17	43
大和田 3 丁目	42	103
大和田 4 丁目	62	154
大和田 5 丁目	5	20
東大和田	48	197
東大和田 1 丁目	35	114
東大和田 2 丁目	13	83
稲荷木	68	219
稲荷木 1 丁目	35	144
稲荷木 2 丁目	10	26
稲荷木 3 丁目	23	49
八幡	661	2,672
八幡 1 丁目	51	128
八幡 2 丁目	301	1,370
八幡 3 丁目	213	860

統計

住居表示	商店数	従業員数
八幡 4 丁目	49	136
八幡 5 丁目	8	21
八幡 6 丁目	39	157
南八幡	502	1,812
南八幡 1 丁目	37	98
南八幡 2 丁目	33	171
南八幡 3 丁目	161	466
南八幡 4 丁目	181	872
南八幡 5 丁目	90	205
菅野	138	482
菅野 1 丁目	37	115
菅野 2 丁目	10	63
菅野 3 丁目	31	149
菅野 4 丁目	23	68
菅野 5 丁目	9	15
菅野 6 丁目	28	72
東菅野	124	253※
東菅野 1 丁目	47	119
東菅野 2 丁目	29	66
東菅野 3 丁目	26	68
東菅野 4 丁目	20	x
東菅野 5 丁目	2	x
宮久保	142	373
宮久保 1 丁目	53	167
宮久保 2 丁目	17	36
宮久保 3 丁目	41	111
宮久保 4 丁目	10	16
宮久保 5 丁目	16	36
宮久保 6 丁目	5	7
宮久保町	—	—
鬼越	75	276
鬼越 1 丁目	44	107
鬼越 2 丁目	31	169
鬼高	152	840
鬼高 1 丁目	14	32
鬼高 2 丁目	61	183
鬼高 3 丁目	27	164
鬼高 4 丁目	50	461
高石神	57	202
中山	68	176
中山 1 丁目	14	41
中山 2 丁目	9	24
中山 3 丁目	5	12
中山 4 丁目	40	99
若宮	135	406
若宮 1 丁目	6	10
若宮 2 丁目	45	120
若宮 3 丁目	84	276
北方	121	447
北方 1 丁目	56	214
北方 2 丁目	42	133
北方 3 丁目	23	100
北方町 4 丁目	36	199
本北方	89	255
本北方 1 丁目	29	98
本北方 2 丁目	47	118
本北方 3 丁目	13	39
国分	88	228※

住居表示	商店数	従業員数
国分 1 丁目	25	67
国分 2 丁目	31	81
国分 3 丁目	6	20
国分 4 丁目	5	12
国分 5 丁目	2	x
国分 6 丁目	13	31
国分 7 丁目	6	17
中国分	63	224
中国分 1 丁目	9	21
中国分 2 丁目	19	53
中国分 3 丁目	4	19
中国分 4 丁目	14	35
中国分 5 丁目	17	96
北国分	14	27※
北国分 1 丁目	1	x
北国分 2 丁目	8	22
北国分 3 丁目	4	5
北国分 4 丁目	1	x
北国分町	11	37
東国分	22	x
東国分 1 丁目	20	x
東国分 2 丁目	2	x
東国分 3 丁目	—	—
稲越町	15	35
須和田	54	146
須和田 1 丁目	35	90
須和田 2 丁目	19	56
曾谷	180	691
曾谷 1 丁目	26	117
曾谷 2 丁目	12	69
曾谷 3 丁目	20	186
曾谷 4 丁目	12	25
曾谷 5 丁目	56	167
曾谷 6 丁目	7	24
曾谷 7 丁目	26	64
曾谷 8 丁目	21	39
下貝塚	40	94※
下貝塚 1 丁目	28	94
下貝塚 2 丁目	10	x
下貝塚 3 丁目	2	x
下貝塚町	1	x
大野町	121	474
大野町 1 丁目	20	65
大野町 2 丁目	28	113
大野町 3 丁目	38	116
大野町 4 丁目	35	180
柏井町	37	157
柏井町 1 丁目	9	49
柏井町 2 丁目	15	38
柏井町 3 丁目	8	19
柏井町 4 丁目	5	51
大町	33	90
奉免町	7	33
田尻	60	448
田尻 1 丁目	8	88
田尻 2 丁目	3	64
田尻 3 丁目	14	193
田尻 4 丁目	14	49

住居表示	商店数	従業員数
田尻 5 丁目	21	54
田尻	1	x
原本	44	136
原本 1 丁目	14	33
原本 2 丁目	14	31
原本 3 丁目	13	63
原本 4 丁目	3	9
原本	—	—
高谷	58	51※
高谷 1 丁目	33	51
高谷 2 丁目	24	x
高谷 3 丁目	1	x
高谷	7	72
高谷新町	—	—
二俣	11	x
二俣 1 丁目	5	x
二俣 2 丁目	6	x
二俣	13	66
二俣新町	2	x
東浜 1 丁目	—	—
本行徳	53	141
河原	10	39
上妙典	—	—
下妙典	1	x
妙典	28	90
妙典 1 丁目	14	47
妙典 2 丁目	—	—
妙典 3 丁目	14	43
下新宿	16	106
加藤新田	—	—
関ヶ島	22	89
伊勢宿	20	31
千鳥町	1	x
高浜町	—	—
塩浜	23	50※
塩浜 1 丁目	—	—
塩浜 2 丁目	8	x
塩浜 3 丁目	4	x
塩浜 4 丁目	11	50
宝	12	x
宝 1 丁目	1	x
宝 2 丁目	11	x
幸	14	25
幸 1 丁目	4	6
幸 2 丁目	10	19
本塩	34	94
富浜	49	107※
富浜 1 丁目	1	x
富浜 2 丁目	22	x
富浜 3 丁目	26	107
塩焼	47	181※
塩焼 1 丁目	1	x
塩焼 2 丁目	18	61
塩焼 3 丁目	15	99
塩焼 4 丁目	9	21
塩焼 5 丁目	4	x
押切	19	84
湊	35	112

1982.6.1 現在

住居表示	商店数	従業員数
湊新田	55	160
湊新田 1 丁目	28	102
湊新田 2 丁目	27	58
湊新田	5	12
末広	49	180
末広 1 丁目	42	165
末広 2 丁目	7	15
行徳駅前	395	1,483
行徳駅前 1 丁目	86	263
行徳駅前 2 丁目	230	1010
行徳駅前 3 丁目	27	82
行徳駅前 4 丁目	52	128
入船	13	76
日之出	17	31
香取	66	129
香取 1 丁目	41	74
香取 2 丁目	25	55
新浜	18	45
新浜 1 丁目	18	45
新浜 2 丁目	—	—
新浜 3 丁目	—	—
福栄	95	239
福栄 1 丁目	40	63
福栄 2 丁目	25	56
福栄 3 丁目	16	64
福栄 4 丁目	14	56
欠真間	82	241
欠真間 1 丁目	31	74
欠真間 2 丁目	51	167
相之川	157	736
相之川 1 丁目	45	145
相之川 2 丁目	19	88
相之川 3 丁目	24	130
相之川 4 丁目	69	373
南行徳	53	157
南行徳 1 丁目	21	50
南行徳 2 丁目	15	68
南行徳 3 丁目	9	10
南行徳 4 丁目	8	29
広尾	16	✕
広尾 1 丁目	13	✕
広尾 2 丁目	3	✕
新井	82	268
新井 1 丁目	25	83
新井 2 丁目	15	39
新井 3 丁目	42	146

『市川市統計年鑑 昭和60年版』より作成

(3) 1988 (昭和63)年

住居表示	商店数	従業員数
総数	4,305	23,060
国府台	69	285※
国府台1丁目	4	45
国府台2丁目	2	✕
国府台3丁目	19	65
国府台4丁目	15	40
国府台5丁目	26	129
国府台6丁目	3	6
市川	407	2,391
市川1丁目	282	1,816
市川2丁目	43	257
市川3丁目	60	230
市川4丁目	22	88
市川南	145	649
市川南1丁目	99	357
市川南2丁目	8	25
市川南3丁目	12	92
市川南4丁目	9	134
市川南5丁目	17	41
真間	122	469
真間1丁目	27	151
真間2丁目	57	230
真間3丁目	7	18
真間4丁目	19	43
真間5丁目	12	27
新田	156	661
新田1丁目	21	112
新田2丁目	26	64
新田3丁目	31	76
新田4丁目	36	134
新田5丁目	42	275
平田	77	316
平田1丁目	12	94
平田2丁目	20	55
平田3丁目	20	95
平田4丁目	25	72
大洲	53	270
大洲1丁目	25	104
大洲2丁目	16	119
大洲3丁目	12	47
大洲4丁目	—	—
大和田	91	473
大和田1丁目	8	119
大和田2丁目	11	53
大和田3丁目	24	57
大和田4丁目	38	147
大和田5丁目	10	97
東大和田	21	117
東大和田1丁目	16	101
東大和田2丁目	5	16
稲荷木	46	223
稲荷木1丁目	26	159
稲荷木2丁目	7	31
稲荷木3丁目	13	33
八幡	434	1987
八幡1丁目	26	70
八幡2丁目	214	1,050
八幡3丁目	131	602

住居表示	商店数	従業員数
八幡4丁目	27	94
八幡5丁目	5	17
八幡6丁目	31	154
南八幡	220	1,142
南八幡1丁目	15	87
南八幡2丁目	20	137
南八幡3丁目	59	321
南八幡4丁目	86	432
南八幡5丁目	40	165
菅野	96	439
菅野1丁目	30	89
菅野2丁目	6	61
菅野3丁目	19	134
菅野4丁目	15	79
菅野5丁目	6	12
菅野6丁目	20	64
東菅野	92	347
東菅野1丁目	41	124
東菅野2丁目	15	55
東菅野3丁目	16	66
東菅野4丁目	15	88
東菅野5丁目	5	14
宮久保	104	341
宮久保1丁目	40	168
宮久保2丁目	13	36
宮久保3丁目	31	85
宮久保4丁目	4	9
宮久保5丁目	12	38
宮久保6丁目	4	5
鬼越	51	262
鬼越1丁目	28	98
鬼越2丁目	23	164
鬼高	111	1377
鬼高1丁目	9	37
鬼高2丁目	29	176
鬼高3丁目	25	208
鬼高4丁目	48	956
高石神	38	165
中山	44	129
中山1丁目	12	38
中山2丁目	4	11
中山3丁目	5	14
中山4丁目	23	66
若宮	94	313
若宮1丁目	4	7
若宮2丁目	32	89
若宮3丁目	58	217
北方	80	392
北方1丁目	39	174
北方2丁目	29	104
北方3丁目	12	114
北方町4丁目	34	192
本北方	53	146
本北方1丁目	16	31
本北方2丁目	31	98
本北方3丁目	6	17
国分	64	245
国分1丁目	21	74

統 計

1988.7.1 現在

住居表示	商店数	従業員数
国分2丁目	19	91
国分3丁目	4	12
国分4丁目	5	11
国分5丁目	4	38
国分6丁目	7	14
国分7丁目	4	5
中国分	50	156
中国分1丁目	6	26
中国分2丁目	17	48
中国分3丁目	4	23
中国分4丁目	8	22
中国分5丁目	15	37
北国分	12	25※
北国分1丁目	1	x
北国分2丁目	7	16
北国分3丁目	3	9
北国分4丁目	1	x
北国分町	9	36
東国分	14	38
東国分1丁目	10	22
東国分2丁目	4	16
東国分3丁目	—	—
稲越町	11	34
須和田	38	106
須和田1丁目	26	65
須和田2丁目	12	41
曾谷	124	731
曾谷1丁目	21	108
曾谷2丁目	7	68
曾谷3丁目	11	211
曾谷4丁目	8	17
曾谷5丁目	37	178
曾谷6丁目	9	49
曾谷7丁目	15	43
曾谷8丁目	16	57
下貝塚	25	148
下貝塚1丁目	15	55
下貝塚2丁目	7	80
下貝塚3丁目	3	13
南大野	66	477
南大野1丁目	22	172
南大野2丁目	31	147
南大野3丁目	13	158
大野町	88	391
大野町1丁目	8	27
大野町2丁目	23	99
大野町3丁目	23	112
大野町4丁目	34	153
柏井町	29	156
柏井町1丁目	7	43
柏井町2丁目	15	54
柏井町3丁目	3	7
柏井町4丁目	4	52
大町	24	91
奉免町	2	11
田尻	44	535
田尻1丁目	6	80

住居表示	商店数	従業員数
田尻2丁目	3	106
田尻3丁目	13	254
田尻4丁目	12	38
田尻5丁目	10	57
田尻	—	—
原木	23	121※
原木1丁目	4	23
原木2丁目	10	26
原木3丁目	8	72
原木4丁目	1	x
原木	2	x
高谷	23	136
高谷1丁目	9	44
高谷2丁目	14	92
高谷3丁目	—	—
高谷	11	87
高谷新町	1	x
二俣	8	40
二俣1丁目	5	34
二俣2丁目	3	6
二俣	14	124
二俣新町	4	107
東浜1丁目	—	—
本行徳	38	157
河原	7	25
上妙典	—	—
下妙典	1	x
妙典	27	141
妙典1丁目	12	28
妙典2丁目	—	—
妙典3丁目	15	113
下新宿	14	102
加藤新田	—	—
関ヶ島	18	110
伊勢宿	7	26
千鳥町	1	x
高浜町	—	—
塩浜	21	361
塩浜1丁目	—	—
塩浜2丁目	7	185
塩浜3丁目	6	126
塩浜4丁目	8	50
宝	15	76
宝1丁目	6	27
宝2丁目	9	49
幸	11	31
幸1丁目	4	5
幸2丁目	7	26
本塩	25	93
富浜	34	182※
富浜1丁目	2	x
富浜2丁目	18	81
富浜3丁目	14	101
塩焼	44	275
塩焼1丁目	3	8
塩焼2丁目	18	52
塩焼3丁目	12	113

住居表示	商店数	従業員数
塩焼4丁目	7	58
塩焼5丁目	4	44
押切	11	74
湊	18	87
湊新田	27	241
湊新田1丁目	15	173
湊新田2丁目	12	68
湊新田	4	10
末広	31	186
末広1丁目	26	150
末広2丁目	5	36
行徳駅前	245	1,571
行徳駅前1丁目	43	446
行徳駅前2丁目	141	859
行徳駅前3丁目	21	77
行徳駅前4丁目	40	189
入船	8	57
日之出	7	29
香取	35	162
香取1丁目	23	116
香取2丁目	12	46
新浜	9	24
新浜1丁目	9	24
新浜2丁目	—	—
新浜3丁目	—	—
福栄	42	337
福栄1丁目	17	80
福栄2丁目	7	51
福栄3丁目	9	51
福栄4丁目	9	155
欠真間	40	180
欠真間1丁目	17	59
欠真間2丁目	23	121
相之川	95	603
相之川1丁目	37	181
相之川2丁目	19	148
相之川3丁目	13	62
相之川4丁目	26	212
南行徳	71	524
南行徳1丁目	30	159
南行徳2丁目	17	123
南行徳3丁目	17	190
南行徳4丁目	7	52
広尾	5	48※
広尾1丁目	2	x
広尾2丁目	3	48
新井	69	345
新井1丁目	22	97
新井2丁目	18	84
新井3丁目	29	164
島尻	—	—

『市川市統計年鑑 平成2年版』より作成

『市川市統計年鑑』によれば、「x」は該当数字はあるが、発表を差し控えたもの。「—」は事実がない、または該当数字がないもの。
※は概数のため、確定数とは異なる場合がある。

3. 市川市域の商店数〔平成〕(1991-2007)

(1) 1991(平成3)年

住居表示	商店数	住居表示	商店数	住居表示	商店数	住居表示	商店数
総数	4,424	八幡4丁目	27	国分2丁目	24	田尻3丁目	11
国府台	68	八幡5丁目	5	国分3丁目	3	田尻4丁目	12
国府台1丁目	3	八幡6丁目	28	国分4丁目	7	田尻5丁目	11
国府台2丁目	3	南八幡	217	国分5丁目	5	田尻	-
国府台3丁目	19	南八幡1丁目	18	国分6丁目	10	原木	31
国府台4丁目	14	南八幡2丁目	19	国分7丁目	3	原木1丁目	6
国府台5丁目	26	南八幡3丁目	62	中国分	43	原木2丁目	13
国府台6丁目	3	南八幡4丁目	77	中国分1丁目	4	原木3丁目	10
市川	397	南八幡5丁目	41	中国分2丁目	14	原木4丁目	2
市川1丁目	270	菅野	95	中国分3丁目	3	原木	1
市川2丁目	46	菅野1丁目	28	中国分4丁目	7	高谷	21
市川3丁目	61	菅野2丁目	7	中国分5丁目	15	高谷1丁目	9
市川4丁目	20	菅野3丁目	21	北国分	10	高谷2丁目	11
市川南	138	菅野4丁目	14	北国分1丁目	1	高谷3丁目	1
市川南1丁目	96	菅野5丁目	5	北国分2丁目	5	高谷	7
市川南2丁目	8	菅野6丁目	20	北国分3丁目	3	高谷新町	2
市川南3丁目	24	東菅野	98	北国分4丁目	1	二俣	6
市川南4丁目	9	東菅野1丁目	43	北国分町	11	二俣1丁目	4
市川南5丁目	1	東菅野2丁目	16	東国分	14	二俣2丁目	2
真間	118	東菅野3丁目	18	東国分1丁目	11	二俣	15
真間1丁目	32	東菅野4丁目	15	東国分2丁目	3	二俣新町	5
真間2丁目	54	東菅野5丁目	6	東国分3丁目	-	東浜1丁目	-
真間3丁目	4	宮久保	97	稲越町	11	本行徳	37
真間4丁目	16	宮久保1丁目	36	須和田	32	河原	10
真間5丁目	12	宮久保2丁目	14	須和田1丁目	21	上妙典	-
新田	165	宮久保3丁目	30	須和田2丁目	11	下妙典	-
新田1丁目	19	宮久保4丁目	3	曾谷	120	妙典	30
新田2丁目	28	宮久保5丁目	11	曾谷1丁目	17	妙典1丁目	12
新田3丁目	32	宮久保6丁目	3	曾谷2丁目	5	妙典2丁目	-
新田4丁目	41	鬼越	49	曾谷3丁目	13	妙典3丁目	18
新田5丁目	45	鬼越1丁目	27	曾谷4丁目	8	下新宿	14
平田	75	鬼越2丁目	22	曾谷5丁目	39	加藤新田	-
平田1丁目	13	鬼高	209	曾谷6丁目	11	関ヶ島	16
平田2丁目	18	鬼高1丁目	103	曾谷7丁目	13	伊勢宿	10
平田3丁目	21	鬼高2丁目	31	曾谷8丁目	14	千鳥町	1
平田4丁目	23	鬼高3丁目	26	下貝塚	26	高浜町	-
大洲	60	鬼高4丁目	49	下貝塚1丁目	15	塩浜	27
大洲1丁目	14	高石神	37	下貝塚2丁目	6	塩浜1丁目	-
大洲2丁目	18	中山	42	下貝塚3丁目	5	塩浜2丁目	5
大洲3丁目	11	中山1丁目	12	南大野	84	塩浜3丁目	9
大洲4丁目	17	中山2丁目	3	南大野1丁目	26	塩浜4丁目	13
大和田	94	中山3丁目	5	南大野2丁目	36	宝	21
大和田1丁目	9	中山4丁目	22	南大野3丁目	22	宝1丁目	12
大和田2丁目	14	若宮	85	大野町	86	宝2丁目	9
大和田3丁目	26	若宮1丁目	3	大野町1丁目	9	幸	10
大和田4丁目	36	若宮2丁目	29	大野町2丁目	20	幸1丁目	3
大和田5丁目	9	若宮3丁目	53	大野町3丁目	25	幸2丁目	7
東大和田	21	北方	74	大野町4丁目	32	本塩	20
東大和田1丁目	15	北方1丁目	37	柏井町	36	富浜	39
東大和田2丁目	6	北方2丁目	24	柏井町1丁目	11	富浜1丁目	4
稲荷木	45	北方3丁目	13	柏井町2丁目	15	富浜2丁目	17
稲荷木1丁目	25	北方町4丁目	28	柏井町3丁目	5	富浜3丁目	18
稲荷木2丁目	8	本北方	49	柏井町4丁目	5	塩焼	51
稲荷木3丁目	12	本北方1丁目	17	大町	25	塩焼1丁目	5
八幡	413	本北方2丁目	22	奉免町	3	塩焼2丁目	19
八幡1丁目	25	本北方3丁目	10	田尻	47	塩焼3丁目	15
八幡2丁目	198	国分	74	田尻1丁目	7	塩焼4丁目	6
八幡3丁目	130	国分1丁目	22	田尻2丁目	6	塩焼5丁目	6

統計

1991.7.1 現在

住居表示	商店数
押切	9
湊	17
湊新田	25
湊新田 1 丁目	13
湊新田 2 丁目	12
湊新田	5
末広	40
末広 1 丁目	29
末広 2 丁目	11
行徳駅前	254
行徳駅前 1 丁目	53
行徳駅前 2 丁目	143
行徳駅前 3 丁目	17
行徳駅前 4 丁目	41
入船	9
日之出	6
香取	35
香取 1 丁目	20
香取 2 丁目	15
新浜	13
新浜 1 丁目	13
新浜 2 丁目	—
新浜 3 丁目	—
福栄	46
福栄 1 丁目	17
福栄 2 丁目	7
福栄 3 丁目	11
福栄 4 丁目	11
欠真間	41
欠真間 1 丁目	15
欠真間 2 丁目	26
相之川	111
相之川 1 丁目	32
相之川 2 丁目	20
相之川 3 丁目	15
相之川 4 丁目	44
南行徳	82
南行徳 1 丁目	34
南行徳 2 丁目	17
南行徳 3 丁目	21
南行徳 4 丁目	10
広尾	3
広尾 1 丁目	—
広尾 2 丁目	3
新井	57
新井 1 丁目	12
新井 2 丁目	15
新井 3 丁目	30
島尻	1

『市川市統計年鑑 平成7年版』より作成

(2) 1997 (平成9) 年

住居表示	商店数
総数	4,009
国府台	57
国府台 1 丁目	3
国府台 2 丁目	2
国府台 3 丁目	19
国府台 4 丁目	9
国府台 5 丁目	21
国府台 6 丁目	3
市川	406
市川 1 丁目	293
市川 2 丁目	44
市川 3 丁目	48
市川 4 丁目	21
市川南	122
市川南 1 丁目	80
市川南 2 丁目	7
市川南 3 丁目	25
市川南 4 丁目	9
市川南 5 丁目	1
真間	100
真間 1 丁目	26
真間 2 丁目	43
真間 3 丁目	4
真間 4 丁目	16
真間 5 丁目	11
新田	149
新田 1 丁目	19
新田 2 丁目	24
新田 3 丁目	27
新田 4 丁目	39
新田 5 丁目	40
平田	67
平田 1 丁目	18
平田 2 丁目	18
平田 3 丁目	15
平田 4 丁目	16
大洲	49
大洲 1 丁目	9
大洲 2 丁目	13
大洲 3 丁目	11
大洲 4 丁目	16
大和田	78
大和田 1 丁目	8
大和田 2 丁目	12
大和田 3 丁目	22
大和田 4 丁目	26
大和田 5 丁目	10
東大和田	16
東大和田 1 丁目	12
東大和田 2 丁目	4
稲荷木	40
稲荷木 1 丁目	20
稲荷木 2 丁目	10
稲荷木 3 丁目	10
八幡	379
八幡 1 丁目	20

住居表示	商店数
八幡 2 丁目	185
八幡 3 丁目	121
八幡 4 丁目	25
八幡 5 丁目	3
八幡 6 丁目	25
南八幡	186
南八幡 1 丁目	14
南八幡 2 丁目	14
南八幡 3 丁目	53
南八幡 4 丁目	67
南八幡 5 丁目	38
菅野	81
菅野 1 丁目	23
菅野 2 丁目	7
菅野 3 丁目	18
菅野 4 丁目	12
菅野 5 丁目	7
菅野 6 丁目	14
東菅野	90
東菅野 1 丁目	41
東菅野 2 丁目	16
東菅野 3 丁目	17
東菅野 4 丁目	8
東菅野 5 丁目	8
宮久保	86
宮久保 1 丁目	33
宮久保 2 丁目	13
宮久保 3 丁目	25
宮久保 4 丁目	3
宮久保 5 丁目	10
宮久保 6 丁目	2
鬼越	36
鬼越 1 丁目	24
鬼越 2 丁目	12
鬼高	197
鬼高 1 丁目	99
鬼高 2 丁目	25
鬼高 3 丁目	27
鬼高 4 丁目	46
高石神	36
中山	37
中山 1 丁目	9
中山 2 丁目	3
中山 3 丁目	4
中山 4 丁目	21
若宮	65
若宮 1 丁目	2
若宮 2 丁目	19
若宮 3 丁目	44
北方	62
北方 1 丁目	28
北方 2 丁目	26
北方 3 丁目	8
本北方	39
本北方 1 丁目	14
本北方 2 丁目	17

住居表示	商店数
本北方 3 丁目	8
北方町 4 丁目	26
国分	59
国分 1 丁目	16
国分 2 丁目	18
国分 3 丁目	3
国分 4 丁目	6
国分 5 丁目	5
国分 6 丁目	8
国分 7 丁目	3
中国分	38
中国分 1 丁目	4
中国分 2 丁目	9
中国分 3 丁目	4
中国分 4 丁目	6
中国分 5 丁目	15
北国分町	—
北国分	10
北国分 1 丁目	2
北国分 2 丁目	4
北国分 3 丁目	3
北国分 4 丁目	1
須和田	23
須和田 1 丁目	13
須和田 2 丁目	10
稲越町	10
曾谷	108
曾谷 1 丁目	16
曾谷 2 丁目	4
曾谷 3 丁目	14
曾谷 4 丁目	6
曾谷 5 丁目	34
曾谷 6 丁目	8
曾谷 7 丁目	14
曾谷 8 丁目	12
下貝塚	20
下貝塚 1 丁目	12
下貝塚 2 丁目	5
下貝塚 3 丁目	3
東国分	14
東国分 1 丁目	11
東国分 2 丁目	3
東国分 3 丁目	—
堀之内	12
堀之内 1 丁目	5
堀之内 2 丁目	2
堀之内 3 丁目	2
堀之内 4 丁目	2
堀之内 5 丁目	1
東浜 1 丁目	1
田尻	—
田尻	52
田尻 1 丁目	8
田尻 2 丁目	9
田尻 3 丁目	12
田尻 4 丁目	13

住居表示	商店数
田尻 5 丁目	10
高谷	10
高谷	19
高谷 1 丁目	10
高谷 2 丁目	8
高谷 3 丁目	1
高谷新町	3
原本	1
原本	32
原本 1 丁目	7
原本 2 丁目	12
原本 3 丁目	10
原本 4 丁目	3
二俣	10
二俣	10
二俣 1 丁目	9
二俣 2 丁目	1
二俣新町	5
上妙典	－
南大野	78
南大野 1 丁目	21
南大野 2 丁目	29
南大野 3 丁目	28
大野町	86
大野町 1 丁目	11
大野町 2 丁目	24
大野町 3 丁目	24
大野町 4 丁目	27
柏井町	35
柏井町 1 丁目	14
柏井町 2 丁目	12
柏井町 3 丁目	5
柏井町 4 丁目	4
大町	19
奉免町	2
本行徳	28
加藤新田	－
千鳥町	1
高浜町	－
関ヶ島	14
伊勢宿	6
下新宿	13
河原	9
下妙典	1
上妙典	－
妙典	23
妙典 1 丁目	10
妙典 2 丁目	－
妙典 3 丁目	13
押切	13
湊	15
湊新田	3
湊新田	21
湊新田 1 丁目	13
湊新田 2 丁目	8
香取	27

住居表示	商店数
香取 1 丁目	14
香取 2 丁目	13
欠真間	34
欠真間 1 丁目	14
欠真間 2 丁目	20
相之川	109
相之川 1 丁目	25
相之川 2 丁目	16
相之川 3 丁目	19
相之川 4 丁目	49
新井	52
新井 1 丁目	13
新井 2 丁目	17
新井 3 丁目	22
烏尻	1
広尾	6
広尾 1 丁目	3
広尾 2 丁目	3
南行徳	75
南行徳 1 丁目	37
南行徳 2 丁目	17
南行徳 3 丁目	16
南行徳 4 丁目	5
塩浜	25
塩浜 1 丁目	－
塩浜 2 丁目	8
塩浜 3 丁目	10
塩浜 4 丁目	7
福栄	39
福栄 1 丁目	15
福栄 2 丁目	5
福栄 3 丁目	11
福栄 4 丁目	8
行徳駅前	245
行徳駅前 1 丁目	60
行徳駅前 2 丁目	126
行徳駅前 3 丁目	15
行徳駅前 4 丁目	44
新浜	15
新浜 1 丁目	15
新浜 2 丁目	－
新浜 3 丁目	－
入船	8
日之出	6
末広	34
末広 1 丁目	25
末広 2 丁目	9
本塩	13
富浜	36
富浜 1 丁目	3
富浜 2 丁目	16
富浜 3 丁目	17
塩焼	44
塩焼 1 丁目	4
塩焼 2 丁目	18
塩焼 3 丁目	11

1997.7.1 現在

住居表示	商店数
塩焼 4 丁目	7
塩焼 5 丁目	4
宝	20
宝 1 丁目	8
宝 2 丁目	12
幸	11
幸 1 丁目	3
幸 2 丁目	8

『市川市統計年鑑 平成12年版』より作成

(3) 2002 (平成14) 年

住居表示	商店数
総数	3,572
国府台	40
国府台 1 丁目	3
国府台 2 丁目	2
国府台 3 丁目	10
国府台 4 丁目	8
国府台 5 丁目	15
国府台 6 丁目	2
市川	352
市川 1 丁目	252
市川 2 丁目	39
市川 3 丁目	43
市川 4 丁目	18
市川南	110
市川南 1 丁目	73
市川南 2 丁目	5
市川南 3 丁目	22
市川南 4 丁目	9
市川南 5 丁目	1
真間	82
真間 1 丁目	23
真間 2 丁目	32
真間 3 丁目	4
真間 4 丁目	15
真間 5 丁目	8
新田	120
新田 1 丁目	20
新田 2 丁目	15
新田 3 丁目	22
新田 4 丁目	30
新田 5 丁目	33
平田	59
平田 1 丁目	13
平田 2 丁目	15
平田 3 丁目	16
平田 4 丁目	15
大洲	42
大洲 1 丁目	11
大洲 2 丁目	15
大洲 3 丁目	8
大洲 4 丁目	8
大和田	59
大和田 1 丁目	6
大和田 2 丁目	11
大和田 3 丁目	18
大和田 4 丁目	16
大和田 5 丁目	8
東大和田	11
東大和田 1 丁目	7
東大和田 2 丁目	4
稲荷木	25
稲荷木 1 丁目	14
稲荷木 2 丁目	4
稲荷木 3 丁目	7
八幡	345
八幡 1 丁目	17

住居表示	商店数	住居表示	商店数	住居表示	商店数	住居表示	商店数
八幡 2丁目	172	本北方 3丁目	7	高谷	6	香取 1丁目	14
八幡 3丁目	109	北方町 4丁目	22	高谷	14	香取 2丁目	14
八幡 4丁目	23	国分	45	高谷 1丁目	7	欠真間	26
八幡 5丁目	2	国分 1丁目	12	高谷 2丁目	6	欠真間 1丁目	12
八幡 6丁目	22	国分 2丁目	16	高谷 3丁目	1	欠真間 2丁目	14
南八幡	165	国分 3丁目	2	高谷新町	3	相之川	87
南八幡 1丁目	15	国分 4丁目	6	原木	2	相之川 1丁目	20
南八幡 2丁目	11	国分 5丁目	3	原木	30	相之川 2丁目	17
南八幡 3丁目	44	国分 6丁目	4	原木 1丁目	5	相之川 3丁目	12
南八幡 4丁目	62	国分 7丁目	2	原木 2丁目	13	相之川 4丁目	38
南八幡 5丁目	33	中国分	29	原木 3丁目	9	新井	52
菅野	69	中国分 1丁目	1	原木 4丁目	3	新井 1丁目	8
菅野 1丁目	18	中国分 2丁目	6	二俣	5	新井 2丁目	15
菅野 2丁目	7	中国分 3丁目	3	二俣	9	新井 3丁目	29
菅野 3丁目	17	中国分 4丁目	5	二俣 1丁目	8	島尻	1
菅野 4丁目	13	中国分 5丁目	14	二俣 2丁目	1	広尾	9
菅野 5丁目	6	北国分	8	二俣新町	2	広尾 1丁目	6
菅野 6丁目	8	北国分 1丁目	2	南大野	81	広尾 2丁目	3
東菅野	79	北国分 2丁目	4	南大野 1丁目	28	南行徳	88
東菅野 1丁目	38	北国分 3丁目	2	南大野 2丁目	22	南行徳 1丁目	29
東菅野 2丁目	11	北国分 4丁目	0	南大野 3丁目	31	南行徳 2丁目	33
東菅野 3丁目	14	須和田	21	大野町	81	南行徳 3丁目	17
東菅野 4丁目	9	須和田 1丁目	14	大野町 1丁目	11	南行徳 4丁目	9
東菅野 5丁目	7	須和田 2丁目	7	大野町 2丁目	18	塩浜	29
宮久保	56	稲越町	9	大野町 3丁目	21	塩浜 1丁目	2
宮久保 1丁目	20	曾谷	92	大野町 4丁目	31	塩浜 2丁目	11
宮久保 2丁目	9	曾谷 1丁目	12	柏井町	33	塩浜 3丁目	9
宮久保 3丁目	17	曾谷 2丁目	4	柏井町 1丁目	12	塩浜 4丁目	7
宮久保 4丁目	3	曾谷 3丁目	11	柏井町 2丁目	10	福栄	32
宮久保 5丁目	6	曾谷 4丁目	5	柏井町 3丁目	5	福栄 1丁目	12
宮久保 6丁目	1	曾谷 5丁目	29	柏井町 4丁目	6	福栄 2丁目	2
鬼越	32	曾谷 6丁目	8	大町	18	福栄 3丁目	13
鬼越 1丁目	18	曾谷 7丁目	13	奉免町	3	福栄 4丁目	5
鬼越 2丁目	14	曾谷 8丁目	10	本行徳	21	行徳駅前	196
鬼高	210	下貝塚	24	加藤新田	—	行徳駅前 1丁目	56
鬼高 1丁目	116	下貝塚 1丁目	11	千鳥町	7	行徳駅前 2丁目	99
鬼高 2丁目	22	下貝塚 2丁目	4	高浜町	1	行徳駅前 3丁目	10
鬼高 3丁目	31	下貝塚 3丁目	9	関ヶ島	10	行徳駅前 4丁目	31
鬼高 4丁目	41	東国分	13	伊勢宿	4	新浜	11
高石神	29	東国分 1丁目	10	下新宿	13	新浜 1丁目	11
中山	31	東国分 2丁目	3	河原	8	新浜 2丁目	—
中山 1丁目	9	東国分 3丁目	0	下妙典	—	新浜 3丁目	—
中山 2丁目	2	堀之内	33	妙典	68	入船	6
中山 3丁目	4	堀之内 1丁目	3	妙典 1丁目	6	日之出	7
中山 4丁目	16	堀之内 2丁目	2	妙典 2丁目	3	未広	26
若宮	53	堀之内 3丁目	26	妙典 3丁目	8	未広 1丁目	17
若宮 1丁目	2	堀之内 4丁目	1	妙典 4丁目	10	未広 2丁目	9
若宮 2丁目	14	堀之内 5丁目	1	妙典 5丁目	38	本塩	13
若宮 3丁目	37	東浜 1丁目	1	妙典 6丁目	3	富浜	44
北方	53	田尻	1	押切	9	富浜 1丁目	13
北方 1丁目	19	田尻	38	湊	10	富浜 2丁目	13
北方 2丁目	26	田尻 1丁目	8	湊新田	3	富浜 3丁目	18
北方 3丁目	8	田尻 2丁目	6	湊新田	21	塩焼	43
本北方	33	田尻 3丁目	6	湊新田 1丁目	11	塩焼 1丁目	8
本北方 1丁目	15	田尻 4丁目	9	湊新田 2丁目	10	塩焼 2丁目	20
本北方 2丁目	11	田尻 5丁目	9	香取	28	塩焼 3丁目	7

2002.6.1 現在

住居表示	商店数
塩焼 4 丁目	4
塩焼 5 丁目	4
宝	15
宝 1 丁目	8
宝 2 丁目	7
幸	6
幸 1 丁目	3
幸 2 丁目	3

『市川市統計年鑑 平成17年版』より作成

(4) 2007 (平成19)年

住居表示	商店数
総数	2,948
国府台	43
国府台 1 丁目	3
国府台 2 丁目	2
国府台 3 丁目	15
国府台 4 丁目	6
国府台 5 丁目	14
国府台 6 丁目	3
市川	303
市川 1 丁目	229
市川 2 丁目	30
市川 3 丁目	30
市川 4 丁目	14
市川南	64
市川南 1 丁目	36
市川南 2 丁目	3
市川南 3 丁目	18
市川南 4 丁目	7
市川南 5 丁目	－
真間	57
真間 1 丁目	18
真間 2 丁目	23
真間 3 丁目	2
真間 4 丁目	10
真間 5 丁目	4
新田	103
新田 1 丁目	19
新田 2 丁目	11
新田 3 丁目	21
新田 4 丁目	30
新田 5 丁目	22
平田	40
平田 1 丁目	9
平田 2 丁目	11
平田 3 丁目	13
平田 4 丁目	7
大洲	33
大洲 1 丁目	10
大洲 2 丁目	11
大洲 3 丁目	6
大洲 4 丁目	6
大和田	52
大和田 1 丁目	5
大和田 2 丁目	10
大和田 3 丁目	16
大和田 4 丁目	14
大和田 5 丁目	7
東大和田	6
東大和田 1 丁目	4
東大和田 2 丁目	2
稲荷木	15
稲荷木 1 丁目	9
稲荷木 2 丁目	1
稲荷木 3 丁目	5
八幡	277
八幡 1 丁目	10

住居表示	商店数
八幡 2 丁目	155
八幡 3 丁目	75
八幡 4 丁目	14
八幡 5 丁目	2
八幡 6 丁目	21
南八幡	139
南八幡 1 丁目	16
南八幡 2 丁目	7
南八幡 3 丁目	34
南八幡 4 丁目	61
南八幡 5 丁目	21
菅野	51
菅野 1 丁目	14
菅野 2 丁目	6
菅野 3 丁目	11
菅野 4 丁目	10
菅野 5 丁目	4
菅野 6 丁目	6
東菅野	55
東菅野 1 丁目	25
東菅野 2 丁目	6
東菅野 3 丁目	13
東菅野 4 丁目	7
東菅野 5 丁目	4
宮久保	50
宮久保 1 丁目	22
宮久保 2 丁目	8
宮久保 3 丁目	14
宮久保 4 丁目	－
宮久保 5 丁目	5
宮久保 6 丁目	1
鬼越	22
鬼越 1 丁目	12
鬼越 2 丁目	10
鬼高	215
鬼高 1 丁目	121
鬼高 2 丁目	19
鬼高 3 丁目	37
鬼高 4 丁目	38
高石神	22
中山	26
中山 1 丁目	10
中山 2 丁目	3
中山 3 丁目	3
中山 4 丁目	10
若宮	44
若宮 1 丁目	－
若宮 2 丁目	14
若宮 3 丁目	30
北方	39
北方 1 丁目	17
北方 2 丁目	17
北方 3 丁目	5
本北方	23
本北方 1 丁目	7
本北方 2 丁目	8

住居表示	商店数
本北方 3 丁目	8
北方町 4 丁目	14
国分	39
国分 1 丁目	9
国分 2 丁目	15
国分 3 丁目	2
国分 4 丁目	6
国分 5 丁目	2
国分 6 丁目	4
国分 7 丁目	1
中国分	20
中国分 1 丁目	－
中国分 2 丁目	4
中国分 3 丁目	3
中国分 4 丁目	3
中国分 5 丁目	10
北国分	6
北国分 1 丁目	1
北国分 2 丁目	4
北国分 3 丁目	1
北国分 4 丁目	－
須和田	15
須和田 1 丁目	10
須和田 2 丁目	5
稲越町	8
曾谷	77
曾谷 1 丁目	13
曾谷 2 丁目	4
曾谷 3 丁目	7
曾谷 4 丁目	2
曾谷 5 丁目	23
曾谷 6 丁目	8
曾谷 7 丁目	8
曾谷 8 丁目	12
下貝塚	19
下貝塚 1 丁目	10
下貝塚 2 丁目	2
下貝塚 3 丁目	7
東国分	12
東国分 1 丁目	9
東国分 2 丁目	3
東国分 3 丁目	－
堀之内	35
堀之内 1 丁目	3
堀之内 2 丁目	2
堀之内 3 丁目	29
堀之内 4 丁目	1
堀之内 5 丁目	－
東浜 1 丁目	1
田尻	1
田尻	33
田尻 1 丁目	8
田尻 2 丁目	6
田尻 3 丁目	5
田尻 4 丁目	8
田尻 5 丁目	6

2007.6.1 現在

住居表示	商店数	住居表示	商店数	住居表示	商店数
高谷	1	湊新田 2丁目	9	塩焼 1丁目	7
高谷	12	香取	18	塩焼 2丁目	16
高谷 1丁目	5	香取 1丁目	8	塩焼 3丁目	9
高谷 2丁目	5	香取 2丁目	10	塩焼 4丁目	6
高谷 3丁目	2	欠真間	20	塩焼 5丁目	2
高谷新町	1	欠真間 1丁目	11	宝	12
原本	7	欠真間 2丁目	9	宝 1丁目	8
原本	23	相之川	70	宝 2丁目	4
原本 1丁目	7	相之川 1丁目	13	幸	5
原本 2丁目	8	相之川 2丁目	13	幸 1丁目	2
原本 3丁目	5	相之川 3丁目	8	幸 2丁目	3
原本 4丁目	3	相之川 4丁目	36	『市川市統計年鑑 平成22年 版』より作成	
二俣	8	新井	36		
二俣	8	新井 1丁目	8		
二俣 1丁目	6	新井 2丁目	13		
二俣 2丁目	2	新井 3丁目	15		
二俣新町	4	島尻	1		
上妙典	－	広尾	5		
南大野	72	広尾 1丁目	5		
南大野 1丁目	27	広尾 2丁目	－		
南大野 2丁目	17	南行徳	82		
南大野 3丁目	28	南行徳 1丁目	27		
大野町	74	南行徳 2丁目	34		
大野町 1丁目	9	南行徳 3丁目	14		
大野町 2丁目	17	南行徳 4丁目	7		
大野町 3丁目	18	塩浜	25		
大野町 4丁目	30	塩浜 1丁目	2		
柏井町	25	塩浜 2丁目	6		
柏井町 1丁目	6	塩浜 3丁目	9		
柏井町 2丁目	8	塩浜 4丁目	8		
柏井町 3丁目	6	福栄	25		
柏井町 4丁目	5	福栄 1丁目	10		
大町	15	福栄 2丁目	2		
奉免町	2	福栄 3丁目	12		
本行徳	17	福栄 4丁目	1		
加藤新田	－	行徳駅前	158		
千鳥町	9	行徳駅前 1丁目	50		
高浜町	2	行徳駅前 2丁目	78		
関ヶ島	7	行徳駅前 3丁目	9		
伊勢宿	3	行徳駅前 4丁目	21		
下新宿	11	新浜	12		
河原	7	新浜 1丁目	12		
下妙典	－	新浜 2丁目	－		
妙典	65	新浜 3丁目	－		
妙典 1丁目	4	入船	4		
妙典 2丁目	－	日之出	6		
妙典 3丁目	10	末広	19		
妙典 4丁目	11	末広 1丁目	14		
妙典 5丁目	37	末広 2丁目	5		
妙典 6丁目	3	本塩	9		
押切	10	富浜	30		
湊	11	富浜 1丁目	8		
湊新田	2	富浜 2丁目	10		
湊新田	16	富浜 3丁目	12		
湊新田 1丁目	7	塩焼	40		

4. 都市公園一覧

公 園 名	所 在 地	開設年
(1) 街区公園		
相之川公園	相之川 2 丁目	1970
相之川西公園	相之川 1 丁目	1977
相之川前公園	相之川 1 丁目	1989
アイリス公園	市川南 3 丁目	1981
あおき公園	曾谷 4 丁目	1978
あおぎり公園	市川 2 丁目	1965
あかがし公園	曾谷 4 丁目	1979
あかしや公園	鬼高 3 丁目	1974
あかとんぼ公園	菅野 4 丁目	2001
あさがお公園	田尻 3 丁目	1975
あざみ公園	高谷 2 丁目	1974
あじさい公園	香取 2 丁目	1977
あすなろ公園	南行徳 4 丁目	1980
あせび公園	新田 2 丁目	1987
あたご公園	北国分 1 丁目	1987
アベリア公園	二俣 2 丁目	1979
アヤメ公園	田尻 3 丁目	1982
新井公園	新井 1 丁目	1980
あらかし公園	田尻 1 丁目	2002
池ノ台公園	国府台 5 丁目	1998
石橋上公園	国分 3 丁目	1994
石橋下公園	国分 2 丁目	1976
市川駅南公園(大洲公園)	大洲 4 丁目	1979
市川児童交通公園	東菅野 2 丁目	1970
市川南第 1 公園	市川南 3 丁目	1987
市川南第 2 公園	市川南 1 丁目	2014
市川南第 3 公園	市川南 3 丁目	2016
いちょう公園	宮久保 5 丁目	1973
稲越公園	稲越町	2014
稲越町坂下公園	稲越町	2015
いなりざく公園	北国分 3 丁目	1994
今井橋公園	相之川 1 丁目	1978
今島田公園	柏井町 1 丁目	1978
馬坂公園	曾谷 3 丁目	1980
エンジュ公園	広尾 1 丁目	1981
おおさき公園	南大野 3 丁目	1982
大芝原公園	八幡 3 丁目	1997
大洲北公園	新田 4 丁目	1991
大堤公園	鬼高 2 丁目	1980
大堤南公園	鬼高 2 丁目	1980
大野公園	大野町 2 丁目	1967
大野第 2 公園	大野町 4 丁目	1995
大野町 2 丁目公園	大野町 2 丁目	2014
大野町 4 丁目公園	大野町 4 丁目	2011
大野みどり公園	南大野 1 丁目	1982
おおばこ公園	北方 2 丁目	1980
大町中里公園	大町	1994
大和田公園	大和田 1 丁目	1992
大和田 4 丁目公園	大和田 4 丁目	2003
大割公園	北方町 4 丁目	1988
奥谷原公園	東菅野 5 丁目	1994
押切公園	押切	1973

公 園 名	所 在 地	開設年
和尚の池公園	曾谷 3 丁目	1973
小田山公園	宮久保 6 丁目	1984
鬼越公園	鬼越 1 丁目	1978
鬼高公園	鬼高 3 丁目	1983
鬼高西公園	鬼高 3 丁目	1996
鬼高東公園	鬼高 3 丁目	1997
カイドウ公園	菅野 5 丁目	1980
かえで公園	宮久保 4 丁目	1976
かきつばた公園	南行徳 2 丁目	1982
欠真間公園	欠真間 2 丁目	1970
柏井第 1 公園	柏井町 3 丁目	1974
柏井第 2 公園	柏井町 3 丁目	1972
柏井ひだまり公園	柏井町 1 丁目	2008
柏井みどり公園	柏井町 1 丁目	2008
かすみそう公園	南大野 1 丁目	1988
桂の木公園	鬼高 4 丁目	2000
蟹田公園	新井 2 丁目	1969
かのえ塚公園	曾谷 2 丁目	1979
上浅間きずな公園	八幡 6 丁目	2014
上道公園	本塩	1970
かもめ公園	福栄 4 丁目	1979
からたち公園	塩焼 4 丁目	1982
川端公園	下貝塚 3 丁目	1985
香取公園	香取 1 丁目	1969
北方児童公園	北方 1 丁目	1962
北方第 2 公園	北方 2 丁目	1962
北方の丘西公園	北方 3 丁目	1999
北方の丘東公園	北方 3 丁目	2000
北国分第 2 公園	北国分 4 丁目	1994
北国分公園	北国分 4 丁目	1968
北国分 2 丁目公園	北国分 2 丁目	2010
北浜公園	新井 3 丁目	1970
ぎほうし公園	南行徳 1 丁目	1983
行徳児童公園	本行徳	1964
行徳南部公園	幸 2 丁目	1974
行徳水辺の杜公園	加藤新田	2012
きんせんか公園	日之出	1978
くすのき公園	鬼高 2 丁目	1978
くちなし公園	曾谷 3 丁目	1981
くろまつ公園	南大野 2 丁目	1982
けいとう公園	大洲 3 丁目	1984
けやき公園	欠真間 1 丁目	1979
庚申前公園	中国分 2 丁目	2017
庚塚公園	大野町 2 丁目	1993
国府台児童公園	国府台 5 丁目	1962
こがね公園	市川 2 丁目	1979
こごと南公園	南大野 2 丁目	1982
コスモス公園	南八幡 3 丁目	1974
こでまり公園	八幡 5 丁目	1981
こぶし公園	南大野 2 丁目	1981
駒形公園	大野町 4 丁目	1971
小松公園	菅野 3 丁目	1978
小宮山公園	妙典 5 丁目	2001

統 計

公 園 名	所 在 地	開設年
小宮山第2公園	妙典6丁目	2010
胡録公園	湊新田1丁目	1970
権現原公園	堀之内3丁目	2000
幸中央公園	幸1丁目	1980
境川クロマツ公園	八幡5丁目	2016
さくら公園	原木3丁目	1981
さくら堤公園	市川南3丁目	2001
桜場公園	福栄1丁目	1974
桜見公園	八幡6丁目	2013
ささ舟公園	本北方2丁目	2014
さざんか公園	市川南3丁目	1975
サルビア公園	塩焼2丁目	1979
さわら公園	北国分1丁目	1974
三町畑公園	本塩	1974
山王公園	曾谷5丁目	1970
しいのき公園	稲荷木1丁目	1981
塩の花公園	塩焼1丁目	1981
塩浜公園	塩浜4丁目	1981
塩浜第2公園	塩浜3丁目	1987
島尻公園	島尻	1970
島尻第2公園	島尻	2001
島尻第3公園	島尻	2006
島尻西公園	島尻	2006
島尻東公園	島尻	2004
下沼公園	東大和田1丁目	1996
下道公園	宝1丁目	1981
しゃくなげ公園	南八幡4丁目	1975
しゃくやく公園	本北方1丁目	1974
常夜灯公園	本行徳	2009
白樺公園	中国分3丁目	1972
白鷺公園	福栄4丁目	1979
白幡天神公園	菅野1丁目	1970
白妙公園	富浜1丁目	1979
しろばら公園	南八幡5丁目	1977
新川上公園	鬼高2丁目	1993
新川公園	鬼高2丁目	1973
新川第2公園	鬼高2丁目	1993
新川第3公園	鬼高2丁目	2000
新宿前公園	河原	1972
新田公園	新田1丁目	1968
新田南公園	新田3丁目	1980
新田2丁目公園	新田2丁目	2009
信篤公園	高谷2丁目	2005
新場山公園	塩焼4丁目	1982
すいせん公園	富浜2丁目	1976
菅野児童公園	東菅野1丁目	1962
菅野5丁目公園	菅野5丁目	2010
菅野西公園	菅野6丁目	2010
菅野南公園	菅野3丁目	2002
すぎな公園	中国分1丁目	1974
すずかけ公園	市川南2丁目	1982
すすき公園	幸2丁目	1978
すずらん公園	市川南3丁目	1980

公 園 名	所 在 地	開設年
すみれ公園	原木3丁目	1974
須和田第2公園	須和田1丁目	1995
須和田第3公園	須和田1丁目	2006
千足公園	北方町4丁目	1978
千足第2公園	北方町4丁目	1989
千足第3公園	北方町4丁目	1991
せんりょう公園	幸2丁目	1981
総武台公園	稲越町	1968
曾谷台公園	曾谷1丁目	1985
高石神公園	高石神	1980
田尻3丁目公園	田尻3丁目	2004
田尻第1公園	田尻3丁目	1987
田尻第2公園	田尻5丁目	1989
田尻第3公園	田尻4丁目	1995
田尻ゆうあい公園	田尻3丁目	1999
辰の口公園	曾谷7丁目	1985
たつこの公園	妙典2丁目	2000
タブノキ公園	南八幡5丁目	1999
ダリア公園	富浜3丁目	1984
たんぼぼ公園	柏井町1丁目	1975
千鳥公園	福栄4丁目	1979
チューリップ公園	新井3丁目	1982
塚田公園	国分1丁目	1970
塚の上公園	宮久保2丁目	1972
つきみそう公園	行徳駅前1丁目	1981
つくし公園	中国分1丁目	1971
つつじ公園	南行徳1丁目	1987
つばき公園	塩焼3丁目	1987
つめくさ公園	北方町4丁目	1982
つゆくさ公園	国府台5丁目	1981
つわぶき公園	幸2丁目	1982
寺町公園	本行徳	1972
稲荷木第1公園	稲荷木1丁目	1989
稲荷木2丁目公園	稲荷木2丁目	2010
東昌台公園	柏井町1丁目	1992
戸崎公園	曾谷4丁目	1993
トチノキ公園	南八幡5丁目	1998
殿内公園	大野町4丁目	1991
中江川添公園	南行徳3丁目	1979
中国分公園	中国分5丁目	1971
中国分1丁目公園	中国分1丁目	2007
中国分みずき公園	中国分3丁目	2011
中山公園	中山2丁目	1980
中山3丁目公園	中山3丁目	2017
中山東公園	中山4丁目	1996
なずな公園	南行徳4丁目	1979
なでしこ公園	福栄3丁目	1975
なのはな公園	中国分5丁目	1994
新浜公園	福栄3丁目	1980
西ノ下公園	宮久保1丁目	1979
新浜公園	新浜1丁目	1977
根通公園	関ヶ島	1987
子の神中央公園	本北方2丁目	1970

公 園 名	所 在 地	開設年
子の神西公園	本北方 1 丁目	1968
子の神東公園	本北方 2 丁目	1968
ねむのき公園	新井 1 丁目	1981
のぎく公園	福栄 1 丁目	1977
はこべ公園	相之川 1 丁目	1983
八反割公園	堀之内 3 丁目	2000
はなみずき公園	田尻 3 丁目	2001
はなやつ公園	若宮 3 丁目	1970
はぼたん公園	富浜 3 丁目	1976
はまなす公園	福栄 4 丁目	1976
浜道公園	塩焼 2 丁目	1978
はまゆう公園	原木 1 丁目	1981
原木橋公園	原木 4 丁目	1978
原木第 2 公園	原木 1 丁目	1988
原木第 3 公園	原木 1 丁目	1988
原木橋西公園	原木	1992
原木西浜公園	原木	2008
原木東浜公園	原木	1974
ひいらぎ公園	田尻 4 丁目	1973
東大和田公園	東大和田 2 丁目	1972
東大和田第 2 公園	東大和田 2 丁目	1988
東沖公園	末広 1 丁目	1977
東国分公園	東国分 2 丁目	1987
東国分第 2 公園	東国分 2 丁目	1994
東菅野公園	東菅野 3 丁目	1982
東菅野 5 丁目公園	東菅野 5 丁目	2006
東菅野第 2 公園	東菅野 4 丁目	2001
東菅野第 3 公園	東菅野 4 丁目	2002
東根公園	行徳駅前 4 丁目	1978
東場公園	福栄 1 丁目	1977
東浜公園	入船	1977
東堀下公園	鬼高 3 丁目	1996
ひだまり公園	妙典 3 丁目	2001
ひなぎく公園	新田 2 丁目	1976
ひなげし公園	若宮 2 丁目	1974
ひのき公園	北国分 1 丁目	1974
ひまわり公園	南八幡 1 丁目	1973
平田公園	平田 4 丁目	1980
広尾公園	広尾 1 丁目	1970
ふかまち公園	北方 3 丁目	2002
富貴島公園	八幡 6 丁目	1974
富貴島第 2 公園	八幡 6 丁目	2016
福栄公園	福栄 4 丁目	1981
二俣公園	二俣	1987
二俣第 2 公園	二俣 2 丁目	1992
二俣の風公園	二俣 2 丁目	2000
府中橋公園	菅野 6 丁目	2005
弁天池公園	曾谷 2 丁目	1982
弁天公園	行徳駅前 2 丁目	1972
ほうせんか公園	大野町 1 丁目	1979
奉免公園	奉免町	1981
奉免第 2 公園	奉免町	2007
ほおずき公園	相之川 3 丁目	1980

公 園 名	所 在 地	開設年
ぼたん公園	二俣 1 丁目	1984
ぼっけ富士見台公園	北方町 4 丁目	1996
堀之内公園	堀之内 3 丁目	2000
堀之内緑地公園	堀之内 3 丁目	2001
前耕地公園	平田 3 丁目	1997
前田北公園	柏井町 1 丁目	2008
前田南公園	柏井町 1 丁目	2008
松風公園	柏井町 2 丁目	1981
郭沫若記念公園	真間 5 丁目※	2002
真間 1 丁目公園	真間 1 丁目	2016
真間台公園	真間 4 丁目	1983
まゆみ公園	田尻 4 丁目	1975
満世公園	南行徳 2 丁目	1978
まんりょう公園	幸 2 丁目	1981
みかど公園	大野町 3 丁目	1979
みこし公園（神輿公園）	塩焼 3 丁目	1978
美里苑公園	東菅野 4 丁目	1990
みちのく公園	平田 2 丁目	1975
御手浜公園	南行徳 1 丁目	1974
みとめ公園	原木 4 丁目	1970
南沖公園	行徳駅前 3 丁目	1977
湊新田公園	福栄 2 丁目	1979
南大野公園	南大野 1 丁目	1988
南大野第 2 公園	南大野 3 丁目	1993
南根公園	行徳駅前 1 丁目	1975
南場公園	末広 2 丁目	1981
南浜公園	日之出	1977
南八幡公園	南八幡 2 丁目	1972
南八幡第 2 公園	南八幡 2 丁目	1987
南濃輪公園	本北方 3 丁目	1979
宮久保公園	宮久保 3 丁目	1967
妙典第 1 緑道	妙典 6 丁目、5 丁目	1999
迎米公園	大野町 1 丁目	2010
迎山公園	奉免町	1992
向根公園	柏井町 1 丁目	2008
ムクゲ公園	相之川 1 丁目	1982
もくせい公園	行徳駅前 4 丁目	1976
モクレン公園	関ヶ島	1982
モッコク公園	塩焼 4 丁目	1980
もときたかた公園	本北方 3 丁目	1969
もときたかた第 2 公園	本北方 1 丁目	2001
本北方第 3 公園	本北方 1 丁目	2015
元新田公園	妙典 1 丁目	1972
本八幡公園	南八幡 4 丁目	1980
やすらぎ公園	田尻 3 丁目	1998
谷津公園	国府台 4 丁目	2007
柳形公園	欠真間 2 丁目	1980
やなぎ公園	南行徳 3 丁目	1977
ヤブツバキ公園	曾谷 5 丁目	1998
山桜公園	市川南 3 丁目	1979
やまびこ公園	新田 5 丁目	1974
やまぶき公園	南行徳 3 丁目	1976
やまぼうし公園	東菅野 3 丁目	2003

公園名	所在地	開設年
やまもも公園	幸2丁目	1978
やまゆり公園	南行徳2丁目	1977
八幡5丁目大和橋公園	八幡5丁目	2017
八幡5丁目クロマツ公園	八幡5丁目	2016
八幡児童公園	南八幡3丁目	1962
八幡野公園	須和田1丁目	1970
八幡東公園	八幡5丁目	2013
八幡前公園	宝2丁目	1977
ゆうがお公園	市川南1丁目	1980
ゆうづる公園	八幡1丁目	1974
ゆきやなぎ公園	北国分4丁目	1980
百合台公園	曾谷3丁目	1969
ゆりのき公園	鬼高3丁目	2003
横塚公園	北国分2丁目	1979
よもぎ公園	国分4丁目	1973
ライラック公園	南大野1丁目	1988
梨風公園	大野町1丁目	1968
梨風東公園	大野町1丁目	1979
りんどう公園	二俣1丁目	1975
れんげ公園	入船	1988
若宮いずみ公園	若宮1丁目	1983
若宮児童公園	若宮3丁目	1962
若宮つどの公園	若宮2丁目	2014

(2) 近隣公園		
こごと北公園	南大野2丁目	1982
妙典公園	妙典6丁目	2002
駅前公園	湊新田2丁目	1973
塩焼中央公園	塩焼5丁目	1981
塩浜中央公園	塩浜4丁目	1987
原木公園	原木	1984
行徳中央公園	富浜3丁目	1974
須和田公園	須和田2丁目	1956
東海面公園	南行徳4丁目	1979
南行徳公園	相之川4丁目	1971
大洲防災公園	大洲1丁目	2004
下妙典公園	下妙典	2017

(3) 地区公園		
里見公園	国府台3丁目※	1958
小塚山公園	北国分1丁目※	1979
広尾防災公園	広尾2丁目	2010

(4) 総合公園		
大町公園	大町	1987

(5) 運動公園		
国府台公園	国府台1丁目	1956
塩浜1号公園	塩浜4丁目	1976

(6) 歴史公園		
姥山貝塚公園	柏井町1丁目	1979
国分尼寺跡公園	国分4丁目	1970
堀之内貝塚公園	堀之内2丁目	1975

公園名	所在地	開設年
(7) 都市緑地		
あかしで緑地	北国分2丁目	1991
市川4丁目緑地	市川4丁目※	2003
姥山緑地	柏井1丁目	2013
江戸川河川敷緑地		1966
大柏川第一調節池緑地	北方町4丁目	2007
大野第2緑地	大野町2丁目	1990
大野町第2緑地	大野町3丁目	2002
大野町緑地	大野町3丁目	2002
大野町2丁目緑地	大野町2丁目	2006
大野緑地	大野町2丁目	1990
大町緑地	大町	2002
柏井町1丁目緑地	柏井町1丁目	2007
柏井町2丁目緑地	柏井町2丁目	1988
柏井緑地	柏井町2丁目	1991
北国分第1緑地	北国分4丁目	1982
北国分第2緑地	北国分4丁目	1981
北国分第3緑地	北国分4丁目	1990
北国分第4緑地	北国分4丁目	1994
北国分第5緑地	北国分4丁目	2001
北国分2丁目緑地	北国分2丁目	2015
倉沢緑地	柏井町2丁目	1994
国府台3丁目緑地	国府台3丁目	2015
国府台緑地	国府台4丁目※	2013
国府台4丁目第5緑地	国府台4丁目	2006
国府台1丁目緑地	国府台1丁目※	2003
国府台東桜陣緑地	国府台3丁目	2003
国分川調節池緑地	東国分3丁目	2014
国分2丁目緑地	国分2丁目	2015
国分4丁目緑地	国分4丁目	2003
小塚山緑地	北国分1丁目	2015
山王緑地	曾谷5丁目	1982
蓼菜池緑地	中国分4丁目	1981
曾谷3丁目緑地	曾谷3丁目	2010
曾谷2丁目緑地	曾谷2丁目	1988
曾谷4丁目緑地	曾谷4丁目	2007
曾谷第2緑地	曾谷4丁目	1992
曾谷第3緑地	曾谷3丁目	1991
曾谷緑地	曾谷4丁目	1983
中国分5丁目緑地	中国分5丁目	2000
中国分緑地	中国分5丁目	2015
堀之内緑地	堀之内3丁目	2015
前畑緑地	大野町1丁目※	2003
真間山緑地	真間4丁目※	2003
宮前緑地	平田2丁目	1985
妙典河川敷緑地	妙典2丁目	2016
梨風東緑地	大野町1丁目	2015
梨風緑地	大野町1丁目	1991
若宮第1緑地	若宮3丁目	1987
若宮第2緑地	若宮3丁目	1987

※は所在地の一部を示している
水と緑の部公園緑地課「都市公園一覧（平成29年4月1日現在）」より作成

5. 主要農産物作付面積および生産量（1975-2005）

単位：作付面積ha、生産量t

年 度	区分	水稻	レンコン	なし	いちご	だいこん	ねぎ	枝豆
1975(昭和50)年度	作付面積	131.4	48.0	204.0	5.0	115.0	158.0	52.0
	生 産 量	512.5	624.0	6525.0	34.0	5,582.0	5,486.0	539.0
1980(昭和55)年度	作付面積	96.8	15.0	237.4	6.4	51.2	119.8	38.4
	生 産 量	378.0	195.0	6,257.0	96.0	2,304.0	4,193.0	500.0
1985(昭和60)年度	作付面積	35.2	5.3	237.1	5.1	35.8	97.0	34.3
	生 産 量	147.8	58.3	4,847.0	96.9	1,611.0	2,716.0	445.9
1990(平成2)年度	作付面積	21.3		268.0	…	22.7	55.3	
	生 産 量	82.4		5,336.0	…	1,194.0	1,819.4	
1995(平成7)年度	作付面積	10		277	1	34	92	
	生 産 量	39		6,860	27	1,870	2,670	
2000(平成12)年度	作付面積	5		280	1	32	90	
	生 産 量	19		7,900	29	1,790	2,510	
2005(平成17)年度	作付面積	4		272	1	28	76	
	生 産 量	18		7,180	29	1,550	1,980	

「…」は統計欄はあるが数値がない。空欄は統計項目として存在しない
『市川市統計年鑑』各年度より作成

単位：作付面積ha、生産量t

年 度	区分	キャベツ	かぶ	ほうれん草	きゅうり	はくさい	なす	とまと
1975(昭和50)年度	作付面積	55.0	55.0	50.0	43.0	12.0	28.0	15.0
	生 産 量	2,464.0	1,968.0	766.0	1624.0	584.0	1042.0	972.0
1980(昭和55)年度	作付面積	41.2	22.0	30.2	14.3	5.5	9.8	7.8
	生 産 量	1,730.0	9,24.0	619.0	808.0	303.0	412.0	546.0
1985(昭和60)年度	作付面積	37.9	18.3	29.0	9.4	5.8	6.7	5.8
	生 産 量	1,895.0	1,098.0	522.0	1128.0	249.4	804.0	522.0
1990(平成2)年度	作付面積	26.4		15.3	…	…	…	…
	生 産 量	1,248.7		260.1	…	…	…	…
1995(平成7)年度	作付面積	31		29	6	3	4	11
	生 産 量	1,520		498	330	132	142	737
2000(平成12)年度	作付面積	23		27	8	3	3	10
	生 産 量	1,180		472	431	132	129	751
2005(平成17)年度	作付面積	21		31	6	2	1	11
	生 産 量	1,030		529	307	82	29	771

「…」は統計欄はあるが数値がない。空欄は統計項目として存在しない
『市川市統計年鑑』各年度より作成

6. 一日平均乗車人員

単位：人

西暦（和暦）	総武鉄道・国鉄・JR線					
	市川	本八幡	下総中山	市川大野	市川塩浜	二俣新町
1896（明治29）	281	－	176	－	－	－
1900（明治33）	402	－	312	－	－	－
1905（明治38）	420	－	272	－	－	－
1910（明治43）	540	－	355	－	－	－
1915（大正4）	406	－	433	－	－	－
1920（大正9）	722	－	401	－	－	－
1925（大正14）	2,361	－	966	－	－	－
1930（昭和5）	3,074	－	1,215	－	－	－
1935（昭和10）	5,660	572	2,234	－	－	－
1940（昭和15）	*	*	*	－	－	－
1945（昭和20）	*	*	*	－	－	－
1950（昭和25）	18,989	12,969	11,357	－	－	－
1955（昭和30）	23,825	17,759	13,616	－	－	－
1960（昭和35）	33,342	25,702	13,991	－	－	－
1965（昭和40）	48,650	40,635	18,567	－	－	－
1970（昭和45）	49,793	46,321	19,538	－	－	－
1975（昭和50）	56,777	51,414	21,222	－	－	－
1980（昭和55）	56,348	50,220	19,442	3,113	－	－
1985（昭和60）	57,600	49,815	18,288	5,997	－	－
1990（平成2）	62,771	59,782	20,893	10,567	2,384	2,575
1995（平成7）	59,659	60,777	21,507	11,789	3,369	4,161
2000（平成12）	56,955	56,875	21,720	10,888	3,907	4,617
2005（平成17）	57,349	57,366	22,835	11,269	4,969	4,676
2010（平成22）	58,979	57,429	23,325	11,238	6,047	5,119
2015（平成27）	59,909	58,835	22,902	11,750	7,546	4,897

1940・1945年は資料を欠く

1896年は『千葉県治一斑』、1950年は『新市町村建設資料・第二輯』、他は『千葉県統計書』『千葉県統計年鑑』より作成

7. 一日平均貨物取扱量

単位：トン

西暦（和暦）	市 川		下総中山	
	発送	到着	発送	到着
1900（明治33）	2.1	2.8	17.2	3.3
1905（明治38）	1.8	6.1	2.8	2.4
1910（明治43）	2.8	13.8	3.4	12.6
1915（大正4）	4.8	10.8	7.3	18.8
1920（大正9）	11.2	89.4	9.9	47.1
1925（大正14）	38.5	162.6	15.2	44.4
1930（昭和5）	31.8	164.1	12.8	78.8
1935（昭和10）	40.5	245.6	11.4	118.0
1940（昭和15）	*	*	*	*
1945（昭和20）	*	*	*	*
1950（昭和25）	*	*	*	*
1955（昭和30）	44	363	11	153
1960（昭和35）	94	32	29	103
1965（昭和40）	128	294	58	96
1970（昭和45）	1	2	－	－

1940・1945・1950年は資料を欠く

『千葉県統計書』『千葉県統計年鑑』より作成

8. 私鉄線 一日平均乗車人員

単位：人

西暦(和暦)	京成線						
	国府台	市川 真間	菅野	京成 八幡	(旧) 八幡	鬼越	京成 中山
1938(昭和13)	1,704	1,956	406	371	393	332	
1955(昭和30)	4,998	4,502	2,339	5,702	－	2,401	
1960(昭和35)	6,689	5,083	2,484	6,330	－	2,478	3,617
1965(昭和40)	6,625	6,109	2,553	8,076	－	2,760	4,768
1970(昭和45)	10,771	10,826	3,911	15,161	－	4,677	4,658
1975(昭和50)	11,656	8,658	3,622	14,418	－	4,114	3,535
1980(昭和55)	10,102	7,828	2,574	13,296	－	3,257	3,412
1985(昭和60)	9,157	7,347	2,391	12,068	－	2,601	3,001
1990(平成2)	9,341	7,280	2,429	14,765	－	2,733	2,896
1995(平成7)	7,514	6,392	2,531	18,909	－	2,705	2,666
2000(平成12)	6,369	5,154	2,195	16,630	－	2,258	2,011
2005(平成17)	5,560	4,116	2,238	15,712	－	2,293	1,995
2010(平成22)	5,863	3,751	2,055	15,551	－	2,424	1,837
2015(平成27)	6,022	3,644	2,078	16,447	－	2,549	1,874

単位：人

西暦(和暦)	北総線				営団地下鉄・東京地下鉄線				都営線
	矢切	北国分	松飛台	大町	南行徳	行徳	妙典	原木 中山	本八幡
1970(昭和45)	－	－	－	－	－	3,839	－	4,328	－
1975(昭和50)	－	－	－	－	－	12,488	－	4,556	－
1980(昭和55)	－	－	－	－	15,779	29,030	－	5,940	－
1985(昭和60)	－	－	－	－	18,415	31,868	－	7,668	－
1990(平成2)	7,044	3,007	1,677	892	24,038	40,451	－	10,835	19,880
1995(平成7)	3,167	2,043	1,291	711	25,130	41,683	－	11,318	29,419
2000(平成12)	3,331	3,119	1,734	773	24,725	29,341	16,220	11,009	29,917
2005(平成17)	3,085	3,405	1,983	757	23,953	26,279	21,159	10,520	31,465
2010(平成22)	3,489	3,798	2,032	790	24,932	26,475	22,769	11,365	34,412
2015(平成27)	3,825	3,972	2,378	810	26,243	27,614	24,369	12,872	36,225

1938年は『市川市要覧』、1955年は『市勢要覧』、1960～70年は『市川市統計年鑑』（京成中山駅は、1938年は『船橋市々勢要覧』、1955～1970年は『船橋市統計書』）、1980年の営団地下鉄各駅は『市川市統計年鑑』昭和57年版、他は『千葉県統計年鑑』より作成
『市川市統計年鑑』『船橋市統計書』において定期利用者は乗降の合計値となっているため、定期外乗車人員に定期乗降人員の半数を加算している

9. 市川市域交通事故発生状況

西暦(和暦)	事故数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	西暦(和暦)	事故数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
1955(昭和30)	180	10	150	1993(平成5)	2,499	31	3,043
1956(昭和31)	186	14	153	1994(平成6)	2,277	23	2,837
1957(昭和32)	193	9	185	1995(平成7)	1,909	25	2,289
1958(昭和33)	321	15	281	1996(平成8)	1,738	16	1,997
1959(昭和34)	588	16	421	1997(平成9)	1,838	17	2,159
1960(昭和35)	738	18	534	1998(平成10)	1,717	17	2,020
1961(昭和36)	659	16	502	1999(平成11)	1,980	18	2,368
1962(昭和37)	762	24	555	2000(平成12)	2,187	17	2,683
1963(昭和38)	693	30	566	2001(平成13)	2,324	9	2,809
1964(昭和39)	835	21	663	2002(平成14)	2,345	14	2,849
1965(昭和40)	851	14	645	2003(平成15)	2,359	16	2,803
1966(昭和41)	1,000	31	876	2004(平成16)	2,376	12	2,831
1967(昭和42)	1,003	22	1,266	2005(平成17)	2,293	16	2,721
1968(昭和43)	1,255	29	1,554	2006(平成18)	2,083	13	2,410
1969(昭和44)	1,381	26	1,830	2007(平成19)	1,916	9	2,245
1970(昭和45)	1,196	32	1,568	2008(平成20)	1,533	9	1,764
1971(昭和46)	1,130	30	1,400	2009(平成21)	1,468	8	1,719
1972(昭和47)	1,048	27	1,354	2010(平成22)	1,260	6	1,469
1973(昭和48)	839	25	1,070	2011(平成23)	1,159	3	1,336
1974(昭和49)	723	31	899	2012(平成24)	1,150	5	1,345
1975(昭和50)	657	14	816	2013(平成25)	1,074	6	1,248
1976(昭和51)	897	19	1,098	2014(平成26)	873	12	1,031
1977(昭和52)	934	20	1,125	2015(平成27)	897	4	1,015
1978(昭和53)	1,007	11	1,240	2016(平成28)	890	9	1,066
1979(昭和54)	1,085	21	1,301	平成6年までは浦安地区の件数も合算されている 千葉県警察本部「方面別・警察署別交通事故発生状況（発生件数）」より作成			
1980(昭和55)	1,260	11	1,580				
1981(昭和56)	1,475	15	1,735				
1982(昭和57)	1,177	21	1,436				
1983(昭和58)	1,144	18	1,397				
1984(昭和59)	1,029	26	1,249				
1985(昭和60)	1,237	24	1,529				
1986(昭和61)	1,633	26	2,000				
1987(昭和62)	1,614	23	2,024				
1988(昭和63)	1,688	25	2,135				
1989(平成1)	2,037	26	2,553				
1990(平成2)	2,106	24	2,549				
1991(平成3)	2,072	31	2,614				
1992(平成4)	2,258	35	2,733				

10. 市川市立小学校教職員数および児童数

年 度	学 校 数	学 級 数	教員数(人)			職員数(人)			児童数(人)			学校医・ 歯科医・ 薬剤師
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
1964(昭和39)年度	17	350	398	160	238	183	46	137	14,617	7,499	7,118	140
1969(昭和44)年度	19	484	572	207	365	229	60	169	18,689	9,664	9,025	184
1974(昭和49)年度	24	656	248	568	295	46	249	242	26,306	13,550	12,756	242
1979(昭和54)年度	30	886	324	782	344	44	300	314	34,833	18,007	16,826	314
1984(昭和59)年度	37	920	1,180	374	806	393	39	354	36,053	18,381	17,672	355
1989(平成元)年度	38	869	1,138	344	794	373	29	344	30,721	15,834	14,887	343
1994(平成6)年度	38	777	1,045	291	754	378	35	343	25,966	13,485	12,481	343
1999(平成11)年度	39	690	961	266	695	339	32	307	21,811	11,218	10,593	347
2004(平成16)年度	39	712	1,020	301	719	259	35	224	22,515	11,502	11,013	333
2009(平成21)年度	39	777	1,056	332	724	196	27	169	23,399	11,998	11,401	334
2014(平成26)年度	39	758	1,041	358	683	145	15	130	22,477	11,457	11,020	331

『市川市統計年鑑』各年度より作成

11. 私立小学校教職員数および児童数

年 度	学 校 数	学 級 数	教員数(人)			職員数(人)			児童数(人)			学校医・ 歯科医・ 薬剤師
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
1964(昭和39)年度	3	33	46	15	31	5	2	3	1,360	529	831	11
1969(昭和44)年度	3	36	58	22	36	9	3	6	1,444	510	934	13
1974(昭和49)年度	3	37	62	23	39	7	3	4	1,415	502	913	13
1979(昭和54)年度	3	42	54	19	35	13	4	9	1,728	589	1,139	14
1984(昭和59)年度	3	42	57	26	31	8	2	6	1,578	640	938	15
1989(平成元)年度	3	39	56	28	28	5	1	4	1,675	679	996	16
1994(平成6)年度	3	48	68	32	36	4	—	4	2,032	742	1,290	16
1999(平成11)年度	3	48	70	34	36	5	—	5	1,939	715	1,224	17
2004(平成16)年度	3	48	75	34	41	4	—	4	1,793	658	1,135	17
2009(平成21)年度	3	48	77	33	44	3	—	3	1,754	623	1,131	17
2014(平成26)年度	3	48	87	42	45	5	1	4	1,615	627	988	15

『市川市統計年鑑』各年度より作成

12. 市川市立幼稚園教職員数および園児数

年 度	園 数	組 数	教員数(人)			職員数(人)			園児数(人)		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1974(昭和49)年度	3	11	19	3	16	—	—	—	418	221	197
1979(昭和54)年度	7	45	67	3	64	10	4	6	1,744	858	886
1984(昭和59)年度	8	48	73	4	69	8	1	7	1,772	908	864
1989(平成元)年度	8	44	71	4	67	8	2	6	1,565	778	787
1994(平成6)年度	8	43	73	3	70	8	2	6	1,370	686	684
1999(平成11)年度	8	44	63	3	60	8	—	8	1,288	659	629
2004(平成16)年度	8	47	78	3	75	8	—	8	1,416	722	694
2009(平成21)年度	8	39	75	5	70	7	—	7	1,293	656	637
2014(平成26)年度	7	33	71	2	69	7	—	7	1,007	535	472

『市川市統計年鑑』各年度より作成

13. 私立幼稚園教職員数および園児数

年 度	園 数	組 数	教員数(人)			職員数(人)			園児数(人)		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1974(昭和49)年度	32	211	327	36	291	54	24	30	8,289	4,263	4,026
1979(昭和54)年度	36	227	313	27	286	72	27	45	7,405	3,841	3,564
1984(昭和59)年度	36	210	269	21	248	72	31	41	5,969	3,092	2,877
1989(平成元)年度	34	196	264	18	246	54	24	30	5,735	2,912	2,823
1994(平成6)年度	32	193	266	13	253	51	27	24	5,286	2,682	2,604
1999(平成11)年度	32	199	283	14	269	44	21	23	5,432	2,801	2,631
2004(平成16)年度	32	213	329	21	308	49	26	23	6,111	3,130	2,981
2009(平成21)年度	32	204	323	21	302	59	32	27	5,627	2,784	2,843
2014(平成26)年度	32	192	318	23	295	52	32	20	4,914	2,521	2,393

『市川市統計年鑑』各年度より作成

14. 図書館別蔵書および利用状況

年度	図書館	蔵書冊数(冊)	利用者(人)	館外貸出冊数(冊)
1968(昭和43)年度	市立図書館本館	52,148	214,901	110,515
	市立図書館分館	9,167	17,707	16,637
1973(昭和48)年度	市立図書館本館	75,364	210,817	136,099
	市立図書館分館	17,178	16,499	11,874
1978(昭和53)年度	市立図書館本館	104,687	270,528	213,829
	行徳図書館	24,987	25,447	48,765
	移動図書館	26,075	—	134,637
	信篤図書館	13,842	9,636	10,186
1983(昭和58)年度	市立図書館本館	136,727	187,626	203,361
	行徳図書館	31,447	96,757	195,488
	移動図書館	38,492	—	156,432
	信篤図書館	27,333	43,957	61,606
	南行徳図書館	7,597	12,789	22,855
	公民館等図書室 (7館2校分)	75,901	140,616	208,967
1988(昭和63)年度	市立図書館本館	117,898	82,064	232,135
	行徳図書館	62,159	62,616	213,833
	移動図書館	30,779	30,117	113,294
	信篤図書館	37,403	25,531	86,742
	南行徳図書館	29,650	25,248	87,948
	平田図書室	11,319	16,457	53,718
	公民館等図書室 (6館4校分)	138,790	160,735	241,181
1993(平成5)年度	市立図書館本館	113,093	145,025	350,796
	行徳図書館	133,411	189,115	468,595
	移動図書館	36,328	31,873	129,645
	信篤図書館	39,136	33,322	101,501
	南行徳図書館	42,478	30,271	102,111
	平田図書室	30,324	28,124	87,033
	公民館等図書室 (6館4校分)	171,422	119,649	134,929
1998(平成10)年度	中央図書館	486,373	455,341	1,844,436
	行徳図書館	180,253	158,086	601,233
	自動車図書館	22,667	9,756	55,986
	信篤図書館	57,979	32,103	114,708
	南行徳図書館	48,435	26,281	112,471
	平田図書室	38,854	28,434	111,662
	公民館等図書室 (7館4校分)	176,379	84,425	93,246
2003(平成15)年度	中央図書館	616,539	445,613	1,811,995
	行徳図書館	160,303	158,950	598,728
	自動車図書館	19,036	5,822	31,354
	信篤図書館	62,780	32,306	115,860
	南行徳図書館	46,646	25,599	107,864
	平田図書室	40,420	30,940	118,025
	公民館等図書室 (7館4校分)	168,141	112,160	151,024
2008(平成20)年度	中央図書館	724,491	418,570	1,808,740
	行徳図書館	155,799	175,501	654,751
	自動車図書館	19,110	7,627	36,982
	信篤図書館	62,785	34,169	119,665
	南行徳図書館	43,168	30,026	121,616
	平田図書室	41,109	33,571	127,895
	公民館等図書室 (7館4校分)	170,942	149,764	219,977
2013(平成25)年度	中央図書館	751,345	352,590	1,432,031
	行徳図書館	162,185	164,681	621,029
	信篤図書館	66,973	32,705	111,152
	南行徳図書館	47,339	28,984	111,906
	市川駅南口図書館	82,381	198,485	548,863
	平田図書室	42,958	24,326	86,983
	自動車図書館	16,277	6,565	29,291
	公民館等図書室 (7館4校分)	180,251	110,684	193,058

『市川市統計年鑑』各年度より作成

15. 各公民館利用状況

公民館	年度	総数		市主催共催		貸与した場合	
		回数	人員	回数	人員	回数	人員
中央公民館	1983(昭和58)年度	1,029	24,898	193	7,680	836	17,218
	1988(昭和63)年度	1,051	23,889	134	5,584	917	18,305
	1993(平成5)年度	3,771	68,880	171	5,238	3,600	63,642
	1998(平成10)年度	4,487	52,879	157	5,740	4,330	47,139
	2003(平成15)年度	4,872	44,230	103	2,946	4,769	41,284
	2008(平成20)年度	5,730	47,687	126	3,212	5,604	44,475
	2013(平成25)年度	5,447	43,722	73	2,773	5,374	40,949
鬼高公民館	1983(昭和58)年度	1,138	26,957	74	1,728	1,064	25,229
	1988(昭和63)年度	1,644	32,378	91	3,185	1,553	29,193
	1993(平成5)年度	1,719	26,046	71	3,373	1,648	22,673
	1998(平成10)年度	2,699	30,210	104	4,096	2,595	26,114
	2003(平成15)年度	2,855	30,632	84	3,167	2,771	27,465
	2008(平成20)年度	2,828	31,357	103	3,992	2,725	27,365
	2013(平成25)年度	3,151	25,440	100	3,045	3,051	22,395
信篤公民館	1983(昭和58)年度	1,402	22,300	110	2,212	1,292	20,088
	1988(昭和63)年度	2,660	52,272	107	2,532	2,553	49,740
	1993(平成5)年度	3,896	69,068	114	5,684	3,782	63,384
	1998(平成10)年度	3,191	53,376	99	5,005	3,092	48,371
	2003(平成15)年度	4,327	58,345	112	4,923	4,215	53,422
	2008(平成20)年度	4,952	64,354	96	8,216	4,856	56,138
	2013(平成25)年度	4,859	61,438	110	6,139	4,749	55,299
東部公民館	1983(昭和58)年度	2,835	58,482	237	5,820	2,598	52,662
	1988(昭和63)年度	3,725	117,140	348	8,344	3,377	108,796
	1993(平成5)年度	3,342	78,923	299	6,999	3,043	71,924
	1998(平成10)年度	3,548	56,392	325	8,782	3,223	47,610
	2003(平成15)年度	4,524	65,113	247	6,375	4,277	58,738
	2008(平成20)年度	4,936	77,015	235	6,807	4,701	70,208
	2013(平成25)年度	4,721	64,710	191	5,056	4,530	59,654
柏井公民館	1983(昭和58)年度	725	10,528	150	2,137	575	8,391
	1988(昭和63)年度	897	20,941	118	2,582	779	18,359
	1993(平成5)年度	1,201	25,219	196	4,125	1,005	21,094
	1998(平成10)年度	754	7,814	54	1,640	700	6,174
	2003(平成15)年度	1,000	13,290	92	2,817	908	10,473
	2008(平成20)年度	1,195	14,140	88	2,547	1,107	11,593
	2013(平成25)年度	1,989	21,547	65	2,115	1,924	19,432
大野公民館	1983(昭和58)年度	1,376	27,671	77	1,459	1,299	26,212
	1988(昭和63)年度	1,966	55,286	80	1,315	1,886	53,971
	1993(平成5)年度	1,909	53,518	83	6,284	1,826	47,234
	1998(平成10)年度	3,027	47,970	60	2,288	2,967	45,682
	2003(平成15)年度	3,606	58,302	65	3,155	3,541	55,147
	2008(平成20)年度	3,874	63,026	86	3,075	3,788	59,951
	2013(平成25)年度	2,548	33,927	58	976	2,490	32,951
若宮公民館	1988(昭和63)年度	1,789	30,978	154	3,602	1,635	27,376
	1993(平成5)年度	1,847	36,655	87	3,220	1,760	33,435
	1998(平成10)年度	2,226	32,295	90	3,776	2,136	28,519
	2003(平成15)年度	2,050	24,822	77	2,681	1,973	22,141
	2008(平成20)年度	2,223	27,199	96	3,214	2,127	23,985
	2013(平成25)年度	2,221	28,301	82	3,725	2,139	24,576
	1993(平成5)年度	7,015	100,502	210	5,913	6,805	94,589
市川公民館	1998(平成10)年度	7,930	114,413	214	10,447	7,716	103,966
	2003(平成15)年度	9,480	122,047	222	7,727	9,258	114,320
	2008(平成20)年度	8,955	113,841	157	5,917	8,798	107,924
	2013(平成25)年度	8,078	107,454	111	5,894	7,967	101,560

公民館	年度	総数		市主催共催		貸与した場合	
		回数	人員	回数	人員	回数	人員
西 部 公 民 館	1983(昭和58)年度	3,618	74,321	296	9,323	3,322	64,998
	1988(昭和63)年度	3,034	90,700	273	10,274	2,761	80,426
	1993(平成5)年度	3,517	98,331	219	6,067	3,298	92,264
	1998(平成10)年度	3,769	51,739	351	7,633	3,418	44,106
	2003(平成15)年度	3,640	51,479	387	11,023	3,253	40,456
	2008(平成20)年度	3,682	49,284	230	5,103	3,452	44,181
	2013(平成25)年度	3,756	47,347	218	4,700	3,538	42,647
市川駅南公民館	1983(昭和58)年度	3,829	70,857	459	11,235	3,370	59,622
	1988(昭和63)年度	3,276	68,007	242	9,002	3,034	59,005
	1993(平成5)年度	2,767	64,860	224	5,449	2,543	59,411
	1998(平成10)年度	3,540	49,583	209	5,221	3,331	44,362
	2003(平成15)年度	4,134	60,213	172	4,743	3,962	55,470
	2008(平成20)年度	4,286	68,372	149	5,246	4,137	63,126
	2013(平成25)年度	4,213	60,984	133	3,449	4,080	57,535
曾 谷 公 民 館	1983(昭和58)年度	2,036	44,760	54	2,055	1,982	42,705
	1988(昭和63)年度	3,576	108,784	144	8,932	3,432	99,852
	1993(平成5)年度	5,170	130,334	251	9,219	4,919	121,115
	1998(平成10)年度	5,273	79,972	210	5,511	5,063	74,461
	2003(平成15)年度	5,553	108,254	167	6,959	5,386	101,295
	2008(平成20)年度	6,612	130,545	193	6,937	6,419	123,608
	2013(平成25)年度	5,871	101,378	138	5,968	5,733	95,410
行 徳 公 民 館	1983(昭和58)年度	5,798	142,389	148	7,471	5,650	134,918
	1988(昭和63)年度	6,410	150,807	131	7,877	6,279	142,930
	1993(平成5)年度	7,862	222,399	210	22,262	7,652	200,137
	1998(平成10)年度	11,269	197,343	215	10,369	11,054	186,974
	2003(平成15)年度	11,252	174,835	264	8,189	10,988	166,646
	2008(平成20)年度	11,762	153,514	147	6,358	11,615	147,156
	2013(平成25)年度	10,719	134,932	113	6,657	10,606	128,275
本 行 徳 公 民 館	1983(昭和58)年度	448	16,696	20	598	428	16,098
	1988(昭和63)年度	652	27,475	86	2,447	566	25,028
	1993(平成5)年度	757	40,028	92	3,189	665	36,839
	1998(平成10)年度	1,004	16,704	107	3,858	897	12,846
	2003(平成15)年度	981	14,585	89	3,061	892	11,524
	2008(平成20)年度	1,085	16,564	96	4,306	989	12,258
	2013(平成25)年度	983	18,429	106	8,768	877	9,661
幸 公 民 館	1998(平成10)年度	1,934	30,403	101	3,649	1,833	26,754
	2003(平成15)年度	2,213	33,053	77	2,871	2,136	30,182
	2008(平成20)年度	1,951	30,479	101	3,556	1,850	26,923
	2013(平成25)年度	2,958	25,022	62	2,265	2,896	22,757
	1993(平成5)年度	1,652	33,760	100	3,176	1,552	30,584
南 行 徳 公 民 館	1993(平成5)年度	5,464	121,529	216	9,153	5,248	112,376
	1998(平成10)年度	5,622	78,960	256	5,676	5,366	73,284
	2003(平成15)年度	5,679	81,702	145	6,220	5,534	75,482
	2008(平成20)年度	4,719	61,846	96	3,779	4,623	58,067
	2013(平成25)年度	5,021	57,595	100	2,569	4,921	55,026
菅 野 公 民 館	2008(平成20)年度	1,741	18,756	30	614	1,711	18,142
	2013(平成25)年度	3,001	31,013	58	1,288	2,943	29,725

菅野公民館には中央公民館菅野分室(2008年度)のデータを含む
『市川市統計年鑑』各年度より作成